

津市

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和 4 年度版三重県市町要覧及び令和 3 年度版森林・林業統計書による）

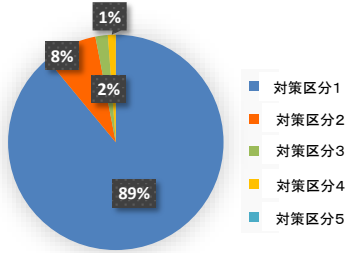
市町名	津市	三重県
人口（人）	271,090	1,755,415
年少人口割合（％）＊ 1	11.9%	11.8%
森林面積(ha)	41,532.42	372,030.12
民有林面積(ha)＊ 2	40,791.91	348,559.79
森林率(%)	58.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	7.8	10.6

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	1	津市林地残材搬出促進事業	34,934,300	34,934,257	34,934,257				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	8,165,769	2,041,443		2,041,443			
3	2	竹林整備支援事業	1,085,700	1,085,700		1,085,700			
4	3	津市森林環境教育事業	477,400	477,400			477,400		
5	3	美里水源の森「林業体験」事業	252,100	250,000			250,000		
6	4	子育て支援センターにおける木育環境整備事業	464,200	464,200				464,200	
計			45,379,469	39,253,000	34,934,257	3,127,143	727,400	464,200	0

3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	92.30ha	45,002,100	45,000,000	特定水源地域の森林の調整伐
森林再生力強化対策事業	4,306m	3,651,745	3,651,745	獣害防護柵設置
災害からライフラインを守る事前伐採事業	伐採252本 植栽210本	8,165,769	2,041,442	ライフラインを寸断する恐れのある立木の伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	・本市の森林面積は、総面積711km²の58.4%にあたる415km²を占めており、人工林率は82%と古くからスギ、ヒノキの造林が盛んに行われている森林が多い。一方で、高速道路や鉄道、海上アクセスなど交通インフラ、大学や短期大学など高等教育機関、大学病院等の医療機関など県都として都市機能が集積されていることから、流域の上流のみならず、下流の市民の方々も森林の恩恵を受けている。 ・上流から下流の市民の生命と財産を守るため、森林に対して直接県民税を投じて災害に強い森林づくりを図るとともに、下流域の市民の方々をターゲットとした森林環境教育事業、木育環境整備事業等を併せて進めていく。
事業実施により期待される効果	・林地残材の減少により河川への流出危険性が減少し、減災効果が得られた。また、バイオマス発電燃料として未利用材の有効活用が進んだ。 ・直接木に触れることや、森林のはたらきについて学ぶことで、循環可能な資源である木材を利用する意義を知るとともに、森林の持つ公益的機能の理解を深めることができ、森を育む人としてのきっかけづくりの場を提供することができた。
情報発信への取組	・事業実施箇所については、税ののぼり旗により啓発を行った。 ・県民税の活用についてホームページや広報誌等に掲載した。 ・森林環境教育の参加者の募集方法として、「夏休み森と緑の親子塾」「まるごと林業体験」は広報津を活用し、広く募集に関する周知を図った。 ・アンケートを行い、次回以降の取組へ反映する。 ・市町交付金事業のパネルを市役所庁舎及び県津庁舎に掲示し、PRを行った。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	58,421	58,421
2	② 意向調査	23,012	23,012
3	③ 私有林整備	44,172	44,172
4	③ 私有林整備	6,074	6,074
5	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	1,200	1,200
6	⑩ 専門員の雇用	3,389	3,389
7	⑰ 基金積立（森林整備等）	2,170	2,170
8			
9			
10			
	合計	138,438	138,438

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事 業 費	34,934,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			34,934,257	0	43

1. 事業の目的

間伐等で発生する林地残材等が豪雨時に河川を閉塞させる流木の発生原因となることを防ぐため、採算の合いにくい林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することにより林地残材の減少を図り、河川等へ流出を防ぐことで流木を出さない災害に強い森林づくりを進める。

また、搬出された林地残材については、津市バイオマス産業都市構想に位置付けられている木質バイオマス事業へ有効活用し、再生可能エネルギーの推進を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

間伐施業地から山土場まで、及び、山土場からチップ工場までの搬出経費の一部を支援する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者

【実施箇所及び箇所数】

中勢森林組合 津市白山町家城地内ほか
木原造林株式会社美杉事務所 津市美杉町下之川地内
大河内林産 津市美杉町奥津地内
woodjob株式会社 津市美杉町下多気地内

【事業量】

林地残材搬出量	7,716 t	中勢森林組合	6,226 t
		木原造林(株)美杉事務所	1,300 t
		大河内林産	170 t
		woodjob(株)	20 t

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

林地残材の減少を図ることにより、河川等に林地残材が流出する危険性が減少し、また、認定事業者や森林所有者の山をきれいにしようとする意識の向上が期待できる。併せて、放置された間伐材等の林地残材の有効利用が図られるとともに、再生可能エネルギーの利用が促進される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

流木を出さない災害に強い森林づくりが目的であるため、事業者には可能な限り、河川や沢に近い箇所を重点的に搬出するよう、口頭にてお願いしている。

【新たな対策・視点及び改善点】

より一層多くの業者が本事業に取り組むよう、ホームページやチラシを作成し、事業の周知に努める。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	津市林地残材搬出促進事業				
事 業 費	34,934,300 円	(財源内訳)	当年度交付金 34,934,257	市町基金 0	その他 43

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	その他	定額補助	間伐施業地→山土場上限5,120円/t 山土場→チップ工場上限960円/t	津市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者15者

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

間伐材を適正に仕分け及び証明等を行うことができる、木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者を補助対象者としている。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	森林所有者及び下流域の住民
期待する波及効果	林地残材を搬出して整理することにより巡視等が行いやすくなり、森林管理の意欲向上に繋がるのが期待できる。このことにより、将来的に森林の有する多面的機能の発揮を促すことができる。

【公的関与の必要性】

林内に残される林地残材を放置することにより想定される林野災害を防止するためには、事業負担の軽減を図る必要があり、地域住民の不安解消という観点においても非常に重要な取り組みである。

また、津市バイオマス都市構想におけるバイオマスエネルギー原料として有効活用している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	県民税の活用及び事業内容について掲載
のぼり設置	実施中	林地残材を搬出している現場に設置した。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

津市バイオマス産業都市構想に合致する取り組みである。

森林所有者や事業者から、本事業を行ったことで山がきれいになった、災害を防ぐ為に続けていく必要がある、との意見をいただいている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市
事業名	津市林地残材搬出促進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
林地残材搬出	間伐施業地→チップ工場	t	3,886.30	6,080	23,628,700	中勢森林組合
	山土場→チップ工場	t	2,340.00	960	2,246,400	中勢森林組合
	間伐施業地→チップ工場	t	1,300.00	6,080	7,904,000	木原造林(株)美杉事業所
	間伐施業地→チップ工場	t	170.00	6,080	1,033,600	大河内林産
	間伐施業地→チップ工場	t	20.00	6,080	121,600	woodjob株式会社
		合計			34,934,300	

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
2. 暮らしに身近な森林づくり
3. 森を育む人づくり
4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	----	---------	----

事業名	津市林地残材搬出促進事業
-----	--------------

7 の（1）. 写真



写真1

林地残材除去後の森林



写真2

林地残材集積状況



写真3

林地残材の積込状況（山土場）

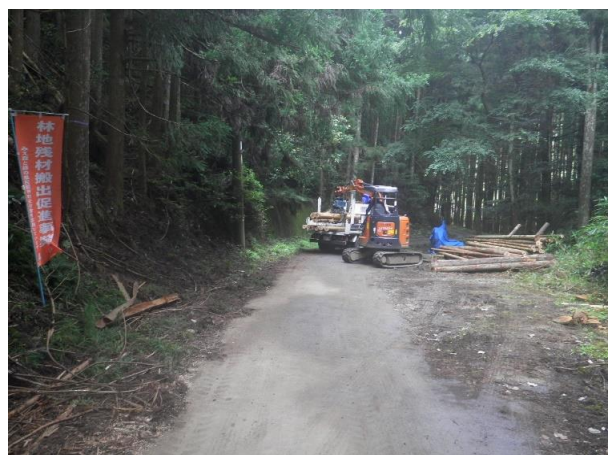


写真4

林地残材の積込状況（山土場）



写真5

林地残材の積込状況（山土場）



写真6

林地残材の搬入状況（チップ工場）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
事業名	津市林地残材搬出促進事業				
7の(2). その他資料					

林地残材搬出促進事業

間伐等で発生する林地残材等について、再生可能エネルギーである木質バイオマスエネルギー利用を図るため林地からの搬出・運搬に関し、間伐施業地から山土場、山土場からチップ工場への搬出経費を支援することで、森林所有者・林業事業者への意識啓発、取組拡大、利用量の増加を図りました。また、林地残材の減少を図り、河川等への流出を防ぐことで流木を出さない森林づくりを行いました。



- ・津市HPの「みえ森と緑の県民税」のページに、本事業について掲載
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1497253376618/index.html>)



- ・津のいま・みらい～津市政策集～に、本事業について掲載
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1466587747231/index.html>)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	8,165,769 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,041,443	0	6,124,326

1. 事業の目的

台風等で発生した倒木による配電線の断線等による停電は、市民生活や行政の防災機能に大きな支障を及ぼし、災害後の処理作業には多大な労力とコスト、危険が伴うことから、ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、未然に災害防止策を講じることを目的としている。

2. 事業実績概要

【事業内容】

津市美杉町八知地内における電線路を寸断の恐れがある立木の伐倒整理

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

津市

【実施箇所及び箇所数】

1 箇所 (美杉町八知地内) 約0.21ha

【事業量】

伐採 2 5 2 本

植栽 2 1 0 本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行うことで、ライフラインを守り、安全・安心の暮らしを確保する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

県道の通行止めを行わなければならなかったため、事前に地元自治会の連合会議に出席し事業説明をし、また、自治会ごとに通行止めに関する文書を発送して、地元の方々の御理解、御協力を求めた。

【新たな対策・視点及び改善点】

当初の予定では、美杉町川上地内においても実施する計画であったが、森林所有者から承諾を得ることができず、見送りとなった。事業の意義や効果等を丁寧に伝える等の森林所有者を説得する工夫が必要である。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	8,165,769 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,041,443	0	6,124,326

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	林業事業者	補助事業ではない		ライフライン事業者1/2、みえ森と緑の県民税市町交付金（防災枠）1/4、みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）1/4

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札による選定（伐採等の事業を安全かつ確実に完遂できる、林業の専門的な知識と高い技術が求められることから、津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者の内、認定林業事業者の3者を指名。）

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	事業実施箇所の周辺住民
期待する波及効果	台風時における倒木を起因とする停電の未然防止、

【公的関与の必要性】

当該事業は住民の生活に密着したライフラインを保全する地域密着型の事業であることから、津市が事業主体となり、県、市、ライフライン事業者の三者で協議して、事前伐採に取り組む。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

規制は設けていないが、森林所有者が引き続き適切な管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・中・後	本事業が県民税を活用して実施していることを周知した。
のぼり設置	実施中	事業実施箇所において、税ののぼり旗により啓発を行った。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置した。
アンケート実施	実施中	当該事業に係る文書を美杉地域の自治会に送付

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元の方々から、断線の恐れが軽減された、見栄えが良くなったとの声をいただいている。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採施工	伐採252本	本	252	30,468	7,678,000	植栽本数252本
立木補償	スギ248本、ヒノキ4本	本	252	1,936	487,769	森林所有者 1 名
		合計			8,165,769	

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
2. 暮らしに身近な森林づくり
3. 森を育む人づくり
4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施前)



写真2

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施中)



写真3

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施中)



写真4

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施後)



写真5

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施後)



写真6

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(美杉町八知地内 実施後)

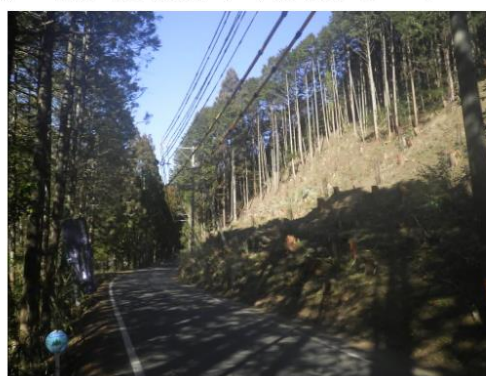
第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				

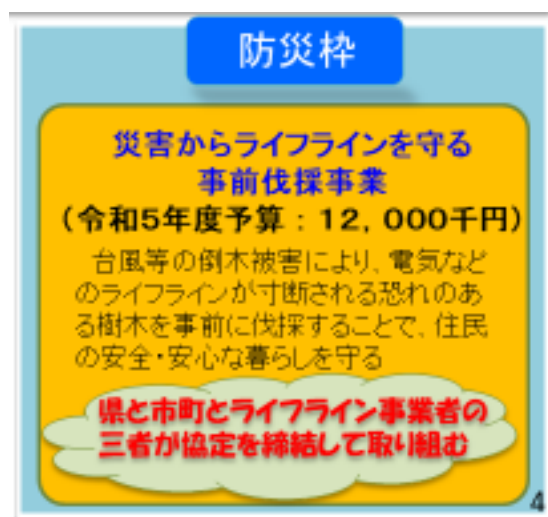
7 の（2）. その他資料

災害からライフラインを守る事前伐採事業

ライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行ったことで、台風等で発生する倒木による配電線の断線に伴う停電に対して、未然に防止策を講じました。



- ・津市HPの「みえ森と緑の県民税」のページにて、本事業について掲載
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1497253376618/index.html>)



- ・津のいま・みらい～津市政策集～に、本事業について掲載
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1466587747231/index.html>)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	竹林整備支援事業				
事 業 費	1,085,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,085,700	0	0

1. 事業の目的
「暮らしに身近な森林づくり」として、里山整備を促進するため竹破砕機を購入し地元自治会や里山保全団体等に貸し出すことで、森林の有する多面的機能の発揮を促すともに、地元の里山を保全する意欲向上を図る。
2. 事業実績概要
【事業内容】 小型竹破砕機を購入し、地元自治会等を対象に貸出事業を行う。 【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 津市 【実施個所及び箇所数】 小型竹破砕機 1 台 【事業量】 小型竹破砕機 1 台
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】
【事業実施により期待される効果】 小型竹破砕機を購入し、貸出しして地元の里山保全意欲を高めることにより、森林の有する多面的機能の発揮が期待できる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 多くの方に小型竹破砕機の貸出事業について認知していただくため、津市ホームページにおいて竹破砕機のページを設けて周知を図っている。 【新たな対策・視点及び改善点】 竹林整備に関する補助事業は限られているため、小型竹破砕機の貸出という補助と異なる視点から支援を行っていく。貸出に関しては、津市ホームページで周知を行っている。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	竹林整備支援事業				
事 業 費	1,085,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,085,700	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

指名競争入札による選定（津市競争入札参加資格者名簿に登録されている業者を指名。）

【主な経費内訳】

（別紙のとおり）

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地元自治会、竹林の近隣の住民等（不特定）
期待する波及効果	森林所有者の竹林管理の意欲向上

【公的関与の必要性】

近年、竹林の荒廃が進行しているが対象となる補助事業が少なく、また、林業事業体が整備しない部分であるため、小型竹破砕機の貸出を行い、竹林の所有者が自己管理する意識を高めていく必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

貸出時は、借入者が津市竹破砕機貸出事業実施要領の遵守事項に遵守する必要がある。それ以外は津市が管理を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施中	竹破砕機の貸出に関して周知
のぼり設置	実施中	里山整備している現場に設置する。
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

納品日（R4.8.16）からR5.3.31までに4団体へ貸出を行った。（延べ日数73日間）

借用した方から、伐採した竹が片付くので助かった、等の声をいただいている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市
事業名	竹林整備支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
備品購入費	小型竹破碎機	台	1	1,085,700	1,085,700	
		合計			1,085,700	

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
2. 暮らしに身近な森林づくり
3. 森を育む人づくり
4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	----	---------	----

事業名	竹林整備支援事業
-----	----------

7 の（１）．写真



写真1

納品状況



写真2

納品状況



写真3

小型竹破砕機 使用状況



写真4

小型竹破砕機 使用状況



写真5

小型竹破砕機 使用状況



写真6

写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
事業名	竹林整備支援事業				

7 の（2）. その他資料

トップページ > 仕事・産業 > 農林水産 > 林業 > 竹破碎機を貸し出します

検索キーワードを入力

検索

竹破碎機の貸し出し

ツイート

いいね! 0

印刷用ページを表示する

登録日: 2020年1月31日

公共施設などに隣接して繁茂している竹林などの竹木を処理することにより、里山の保全を図るため、竹破碎機の貸し出しを行っています。

借用できる人

- ・ 津市の自治会
- ・ 国、地方公共団体、その他公共の団体
- ・ その他の団体

貸し出し期間

2週間以内

注意事項

- ・ 竹破碎機の貸し出しについて、津市HPで周知を行っている
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1488348238154/index.html>)

森林所有者が自らの山から木を出荷する取組や、竹林の整備に対して支援し、自分の山を自分で整備する意識づけを図る。



竹破碎機貸出事業

竹林整備により発生した竹を破碎する機械を貸出することにより、里山の保全を図る

自治会等の里山整備をする団体を対象に貸出

なお、みえ森と緑の県民税市町交付金(基本枠)を活用し、令和4年度に小型竹破碎機を追加で1台導入

3

- ・ 津のいま・みらい～津市政策集～に、破碎機の導入について掲載
(<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1466587747231/index.html>)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	津市森林環境教育事業				
事 業 費	477,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			477,400	0	0

1. 事業の目的

【森と緑の親子塾】市内在住・在学の小学生と保護者を対象に、森林や木材について学び、ふれあう場を提供して、木のぬくもりや良さを知ってもらう。

【まるごと林業体験】一般の方を対象に森林や林業について現場での体験を通して正しく理解してもらい、森林に携わる人材を育てていく。

2. 事業実績概要

【事業内容】

【森と緑の親子塾】木工体験（プランター・本立て等）、林業体験（丸太切り・丸太皮むき）

【まるごと林業体験】高性能林業機械による搬出間伐の現場見学、間伐体験

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

津市

【実施個所及び箇所数】

森と緑の親子塾：1 回

まるごと林業体験：1 回

【事業量】

森と緑の親子塾：1 回、22 名

まるごと林業体験：1 回、7 名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

参加者が森林環境教育を通じて、森林・林業に興味を持ち理解を深めることで、将来的に森林を支える一員として寄与することが期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

広報誌を活用して、イベント開催の周知を図った。また、イベント時には、みえ森づくりサポートセンターより「森のはたらき」パネルを借用し、森林への理解を深めることを図った。

【新たな対策・視点及び改善点】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮し、夏休み森と緑の親子塾は54名の応募があったが、抽選により少人数に絞って開催した。令和5年度以降は、世間の状況に応じて人数を考慮する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	津市森林環境教育事業				
事 業 費	477,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			477,400	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		親子塾：美杉木材協同組合 まると：中勢森林組合

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

夏休み森と緑の親子塾：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、「三重県木材業者・製材業者会員名簿」に登録されている3者から選定。

まると林業体験：津市競争入札参加資格者名簿において森林に関する希望を出している者のうち、認定林業事業体である2者から選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者（29名）
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者家族への波及効果が期待される。）

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林が身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解してもらう上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	実施箇所に設置。
広報誌掲載	実施前	「広報つ」に県民税の活用及び募集案内を掲載。
HP掲載	実施前・後	県民税の活用事業、募集案内、実施報告を掲載。
アンケート実施	実施後	参加者アンケートを実施。
パネル展示	実施前・中	サポートセンターからパネルを借り、会場に展示。
啓発物品配布	実施中	クリアファイル、リーフレット、副読本を配布。
TV（行政チャンネル等）	実施前	まると林業体験の開催について告知を実施。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

アンケートを実施した結果、概ね良い評価をいただいた。（別紙、参考資料のとおり）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
事業名	津市森林環境教育事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
夏休み森と緑の親子塾	人件費	人	6.80	19,886	135,226	
	木工キット	セット	14.00	1,639	22,946	
	間接費	式	1.00	20,028	20,028	保険料等
まるごと林業体験	人件費	人	8.00	27,176	217,405	
	資材費	式	1.00	40,898	40,898	
	間接費	式	1.00	40,897	40,897	保険料等
		合計			477,400	

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
2. 暮らしに身近な森林づくり
3. 森を育む人づくり
4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
事業名	津市森林環境教育事業				

7 の（１）．写真



写真1

親子塾：パネル展示状況



写真2

親子塾：木工体験



写真3

親子塾：丸太切り体験

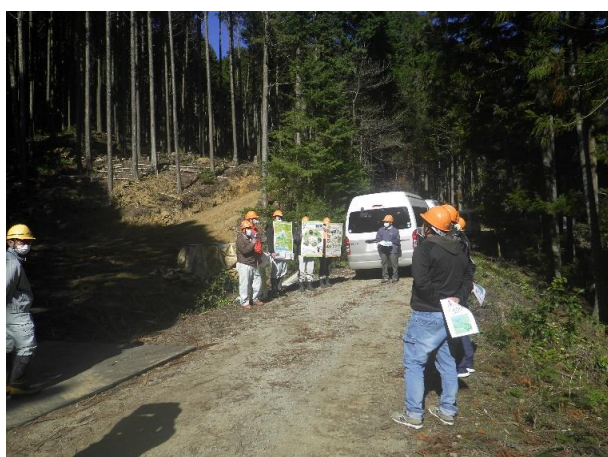


写真4

まるごと：搬出間伐の現場見学

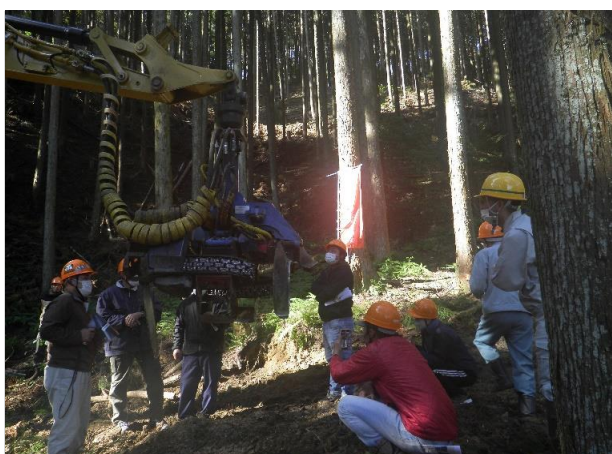


写真5

まるごと：搬出間伐の現場見学



写真6

まるごと：間伐体験

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	津市森林環境教育事業
-----	------------

7の(2). その他資料

令和4年度 夏休み森と緑の親子塾アンケート回答集約	令和4年度 まるごと林業体験アンケート回答集約
回収 18名/22名	回収 7名/7名
Q1「木工細工」はどうでしたか？	Q1「高性能林業機械の現場見学」はどうでしたか？
よかった 18人	よかった 7人
ふつう 0人	ふつう 0人
よくなかった 0人	よくなかった 0人
Q2(木工細工)何がよかった(よくなかった)ですか？	Q2(現場見学)何がよかった(よくなかった)ですか？
別紙のとおり	別紙のとおり
Q3「林業体験」はどうでしたか？	Q3「マイ箸づくり」はどうでしたか？
よかった 17人	よかった 5人
ふつう 1人	ふつう 2人
よくなかった 0人	よくなかった 0人
Q4(林業体験)何がよかった(よくなかった)ですか？	Q4(マイ箸づくり)何がよかった(よくなかった)ですか？
別紙のとおり	別紙のとおり
Q5「森林の役割や林業」について、理解できましたか？	Q5「間伐体験」はどうでしたか？
わかった 9人	よかった 6人
なんとなく 9人	ふつう 1人
わからなかった 0人	よくなかった 0人
Q6「木づくり」について、これからも木を使いたいと思いますか？	Q6(間伐体験)何がよかった(よくなかった)ですか？
おもう 17人	
なんとなく 1人	Q7.「森林・林業」について、もっと知りたいと思いますか？
おもわない 0人	おもう 6人
	なんとなく 1人
	おもわない 0人

- ・ アンケートを実施し、次回以降の森林教室の参考資料としている。

夏休み森と緑の親子塾を開催しました！

📍 ツイート 📌 いいね！ 🖨️ 印刷用ページを表示する

登録日:2022年8月17日

令和4年8月7日に津市美加町上多美地区の津市木材処理加工施設で、令和4年度夏休み森と緑の親子塾を開催しました。
次世代を担う子どもたちや保護者の皆さんが、直接木に触れる体験をすることにより、木が持つぬくもりや、森の良さを知ってもらい、森林への興味や関心を持っていただくことを目的としています。
当日は、22人の皆さんが参加しました。

木工細工

くぎや電動のこぎりなどを使用して、美加町のスギ材を利用して、マガシクラック、木製掛時計、本立て、ランブレードを作成しました。保護者と協力しながら、一生懸命に木を打ち込んだり、電動のこぎりを使って、木を加工する楽しさや、木の質感や手ごたえを感じていただきました。



まるごと林業体験を開催しました！

📍 ツイート 📌 いいね！ 🖨️ 印刷用ページを表示する

登録日:2023年1月12日

令和4年11月19日に津市白山町境内地の森林でまるごと林業体験を開催しました。
まるごと林業体験は、木の伐採、集材、利用などの林業体験をすることにより、参加者の皆さんが森林や林業について理解を深めたり、興味を持っていただくことを目的としています。
当日は7人が参加していただきました。



- ・ 津市HPに、イベントの様子について掲載

夏休み森と緑の親子塾 (<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1502087435794/index.html>)

まるごと林業体験 (<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1485924348133/index.html>)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名					
5	美里水源の森「林業体験」事業					
事 業 費	252,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			250,000	0	2,100	

1. 事業の目的

美里水源の森の水源涵養林等を活かしながら、自然や環境保全を学べる場として市内の小学生を対象に、野外体験や林業体験を通して自然や森林・林業の魅力を感じてもらい、森林に対しての理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

平成26年度から平成30年度にかけて市町交付金を活用して整備した美里水源の森をフィールドとして自然に親しむ市民の憩いの場、青少年の自然・環境体験学習の場として、市内在学の小学生を対象に、林業体験（シイタケ菌打ち、カゴ作り体験）を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

長野川流域環境保全協議会

【実施個所及び箇所数】

美里水源の森「林業体験」：1回 「シイタケ菌打ち体験」3月12日開催

【事業量】

美里水源の森「林業体験」：1回 市内在学の小学生と保護者4組9名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

シイタケ菌打ち：菌打ち体験を通じて、森のはたらきや、森と人との関わり、林業や産業への理解を深めることができた。また藤の蔓を利用した「カゴ作り」も実施し、山の植物に触れ生活の関わりについて考えることができた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

市内の小学校すべてに案内を行い、幅広く参加者を募集している。

【新たな対策・視点及び改善点】

美里水源の森の自然環境に触れることができるような森林環境教育を今後も実施する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	美里水源の森「林業体験」事業				
事 業 費	252,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			250,000	0	2,100

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
負担金	その他	補助事業ではない		長野川流域環境保全協議会

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

協議会が主体となって行う森林環境教育事業の費用を市が一部負担して、協議会が実施することで、水源の森の活用を進めてきており、令和 4 年度においても、同様に実施した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	参加者（9 人）
期待する波及効果	森林・林業に対する理解を深める効果（参加者の家族への波及効果が期待できる。）

【公的関与の必要性】

森林の公益的価値や機能を学ぶ森林環境教育は、人材育成だけでなく、国土の2/3を占める森林を身近で大切な資産であり、守り育てることの大切さを理解していただく上で、非常に重要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

体験学習の開催であり、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	市内の小学 4、5 年生の児童の保護者へチラシを配布し、イベント開催の周知を図る。
のぼり設置	実施中	のぼりを設置し、県民税事業を啓発する。
HP掲載	実施後	美里水源の森専用の HP を作成し、事業の P R を行う。
広報誌掲載	実施後	地域広報誌でイベントの内容について掲載した。
パネル展示	実施後	市町交付金事業のパネルを庁舎（白山）に掲示し、P R を行っている。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加者からは、普段できない体験で楽しかった。また機会があれば、ぜひ参加したい。との声をいただいている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市
事業名	美里水源の森「林業体験」事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
美里水源の森「林業体験」 シイタケ菌打ち体験	講師謝金	式	1.00	60,000	60,000	林業体験指導
	資材費	式	1.00	187,764	187,764	原木、駒菌等
	諸経費	式	1.00	4,336	4,336	切手代、保険代
		合計			252,100	

1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
2. 暮らしに身近な森林づくり
3. 森を育む人づくり
4. 森と人をつなぐ学びの場づくり
5. 地域の身近な水や緑の環境づくり

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	津市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	----	---------	----

事業名	美里水源の森「林業体験」事業
-----	----------------

7の(1). 写真



写真1

シイタケ菌打ち体験



写真2

シイタケ菌打ち体験



写真3

シイタケ菌打ち体験



写真4

カゴ作り体験



写真5

カゴ作り体験



写真6

カゴ作り体験

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	464, 200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			464, 200		

1. 事業の目的

安濃子育て支援センターに木製遊具や木製本棚を導入し、みえ森林教育ステーション整備支援事業と連携して、0歳から就園前の子どもと保護者が木のぬくもりや質感を学べる場を創出することを図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

安濃子育て支援センターに木製遊具や木製本棚を導入。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

津市

【実施個所及び箇所数】

安濃子育て支援センター

【事業量】

木製遊具 1 台、木製本棚 1 台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

安濃子育て支援センターにおいて親子で木に触れ合っていただくことで、木のぬくもりや質感を感じ、木に興味をもっていただくことが期待できる。また、みえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受けて、来場者の親子を対象に、木育活動が継続的に行われることが期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

安濃子育て支援センターでは、10月のイベントを「木木 (もくもく) イベント」として、みえ森づくりサポートセンターから大型遊具を借用し、親子で木に触れながら遊べるイベントを開催。また、日々の運営の中で実施している手遊び、読み聞かせの時間に、木や森等をテーマとしたものを定期的の実施することで、本事業で導入した遊具等と合わせて、木に対して興味を持ってもらえるよう取り組む。

【新たな対策・視点及び改善点】

今年度事業を実施した安濃子育て支援センターと合わせ、桜橋子育て支援センターでもみえ森林教育ステーション整備支援事業の認定を受け、二つの子育て支援センターで木育を実施する環境づくりを行い、より多くの未就園児と保護者を対象とした木育を進めていく。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法 (委託 (請負) 先、補助対象者及びその選定理由)】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	--	-----	----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				
事 業 費	464,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			464,200		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当該物品は、「津の木と遊び、津の木と育つ」をコンセプトに、学校法人高田学苑高田短期大学で、保育を学ぶ学生たちが保育園・幼稚園などで使う遊具として自由な発想でデザインした、乳幼児の木育に適切な物品であり、使用する木材は全て三重県産材であるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	安濃子育て支援センターを利用する親子（不特定） 参考：R4年4月～10月の利用者数（月平均）576.9人
期待する波及効果	支援センターでの木育により個々の家庭への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

導入した物品については市のHPに掲載することで周知を図り、また日々の手遊びの時間や、毎月のイベントなどでも県民税を活用し導入された物品として紹介することで、利用率向上を目指している。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

導入した物品には県民税のシールを貼り、森林教育ステーションに設置しており、転用や目的外使用は想定されない。また森林教育ステーションとしての活動として、年に1回の木育イベント、日々の手遊び等の時間に木や森等をテーマとしたものを定期的実施することとしている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	木製品を導入後、HPで導入したことをPR
ロゴマーク掲示	実施後	木製品に県民税のシールを掲示
パネル展示	実施前・中・後	市庁舎や県庁舎で県民税による取組に関するパネルを設置する。
その他	実施後	日々の手遊び時間やイベント開催時に木製品導入について県民税を活用した取組であることをアナウンスした。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

導入された木製品は、利用者に非常に好評で、設置した森林教育ステーションエリアの利用が増加している状況。小さなお子さんが、導入された木製遊具で遊ぶ姿がよくみられ、保護者の中には、家庭でも木製品のDIYを始めたとお話される方もあった。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市
------	-------------------	-----	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
安濃子育て支援センター	木製遊具	式	1.00	209,000	209,000	地域材使用
安濃子育て支援センター	木製本棚	台	1.00	213,000	213,000	地域材使用
				小計	422,000	
				消費税	42,200	10%
		合計			464,200	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業				

7の(1). 写真



写真1
森林教育ステーションエリアに設置された木製本棚



写真2
森林教育ステーション全景



写真3
木製遊具に貼り付けた県民税のシール



写真4
導入された遊具で遊ぶ親子と支援者



写真5
森をテーマとしたパネルシアター



写真6
みんなでのこ体操

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	津市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	----	---------	----

事業名	子育て支援センターにおける木育環境整備事業
-----	-----------------------

7 の（2）. その他資料

- ・ 津市HPにて県民税を活用した木製本棚・遊具の導入について掲載（以下の 2 つのページにて）

子育て支援センターにでかけてみませんか

PC向け： <https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1465279288997/index.html>

子育て支援センターからのお知らせページ

PC向け： <https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/contents/1620705477695/index.html>

【掲載例】

New! 安濃子育て支援センターのみえ森林教育ステーションに、木製遊具を設置しました！



みえ森林教育ステーションとは森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりの実現に向け、森林や木、木材の魅力に触れていただける施設として三重県が認定を行う制度です。

写真の大型の木製遊具や本棚は、「みえ森と緑の県民税」を活用し、「森と人をつなぐ学びの場づくり」として子育て支援センターに設置されました。

「津の木と遊び、津の木と育つ。」をコンセプトに、高田短期大学で保育を学ぶ学生たちが保育園・幼稚園などで使う遊具として自由な発想でデザインした、「津の木」を使った木製遊具です。

ぜひお子さんと一緒に、木のぬくもりや質感を楽しみに来てください！



お問い合わせ：安濃子育て支援センター 電話 268-5832

松阪市

第 1 1 号様式（評価委員会資料）

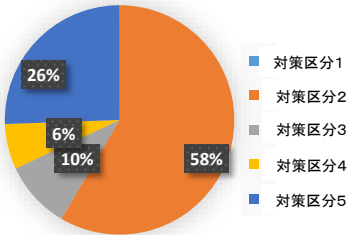
令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版市町要覧による）

市町名	松阪市	三重県
人口（人）	159,145	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.7%	12.4%
森林面積(ha)	42,802.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	41,341.00	348,833.49
森林率(%)	69.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	7.23	10.1

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5	
1	2	里山の森林安全安心対策事業	13,376,000	13,286,700		13,286,700				
2	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	20,114,954	5,000,000		5,000,000				
3	3	森林環境学習事業	2,852,300	2,852,300			2,852,300			
4	3	松阪の木魅力発信活動事業	436,207	145,000			145,000			
5	4	保育園木育推進事業	3,030,500	2,000,000				2,000,000		
6	5	都市公園整備事業	4,062,300	4,000,000					4,000,000	
7	5	文化財センター施設整備事業	6,279,900	4,000,000					4,000,000	
計			50,152,161	31,284,000	0	18,286,700	2,997,300	2,000,000	8,000,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.03ha	4,207,500	4,207,500	間伐12.77ha、現地調査7箇所
森林再生力強化対策事業	8,394m	4,721,673	4,721,673	防護柵補助8,394m
災害からライフラインを守る事前伐採事業	1.95ha	20,114,954	5,000,000	危険木伐採1,103本

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	松阪市は海から山まで、市街地から過疎地まで、一つの自治体の中で風土、地域性が多岐に亘っており、当該交付金の活用については「普く、上流域から下流域まで、如何に有効活用するか」「市民に当事者意識と主体性を如何に促すか」といった両側面において、多様な地域性に応じた事業展開のデザインと創意工夫が求められるところであります。加えて、近年の異常気象に起因する自然災害に対応すべく、粛々と森林整備を行うことと同時に、森と緑を育む人づくりを図るため、市民に森林や林業についての学びとふれあいの機会を提供する事も極めて重要であると考えられます。 令和4年度は合計7事業について、当該交付金のPRに努めつつ、海から山まで、普く持続可能な施策を展開し、森と緑と市民の関係を一層深められるよう注力いたしました。
事業実施により期待される効果	里山の森林安全安心対策事業及び災害からライフラインを守る事前伐採事業については、自助努力により対応できない箇所について、配電事業者や地域と連携しながら実施したことにより、物理的な安全安心の確保に加え森林所有者による事業実施後の管理意識の向上に繋がった。森林環境学習については、小学校の従来のカリキュラムである清掃工場における環境学習に加え当該事業を実施したことにより、飛躍的に森林の公益的機能の理解が定着すると好評を得ている。
情報発信への取組	森林整備・都市公園整備遂行にあたり、地域住民への回覧等による情報伝達時に併せて県民税のPRチラシ配布し積極的な啓発を行っている。森林環境学習については、報道機関へ情報提供を行い、新聞紙上やテレビ放映において、情報を発信した。

＊評価の参考として、別紙「森林環境譲与税事業の実績」を添付すること。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	78,632	78,632
2	⑥ 林道・林専道の整備等	64,545	11,999
3	⑦ その他（森林整備）	3,360	3,360
4	⑨ 林業就業者の育成	24,426	1,355
5	⑬ 木造公共建築物の整備等	90,582	44,063
6	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	4,095	450
7			
8			
9			
10			
	合計	265,640	139,859

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
1	里山の森林安全安心対策事業						
事 業 費	13,376,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			13,286,700		89,300		

1. 事業の目的

集落や公共施設周辺の森林で、森林の持つ公益的機能が発揮されない状態にある森林を対象に、森林所有者や地域の自治会等と連携し、集落の安全と安心を確保することを目的に森林整備を行う。

2. 事業実績概要

【事業内容】

該当地域において、関係者と連携して現地調査を行い、森林の境界確認・測量及び間伐等の森林整備を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

森林整備箇所17箇所

【事業量】

間伐2箇所（6.26ha）、支障木伐採15箇所（600本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

集落周辺の森林が整備されたことにより、地域住民の生活環境の向上や道路の安全性が確保される。又、地域の自主防災組織や自治会長と連携することにより、地域の里山の在り方を見直す良いきっかけとなり、継続的な取組が可能となる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林所有者の自助努力の底上げを促すべく、アンケート調査等を行うなどPDCAサイクルの構築に繋がっている。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施前、実施時にチラシを配布、ポスター掲示により、みえ森と緑の県民税市町交付金事業のPRと森林、林業の啓発を行う。事業実施後は関係者へのアンケート調査を実施し、事業のフィードバックを行う。またHP等を活用し幅広く情報発信を行う。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	里山の森林安全安心対策事業				
事 業 費	13,376,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			13,286,700		89,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林所有者、認定林業事業体及び市の3者において、長期にわたる森林の機能向上を図るべく「災害に強い森林づくり協定」を締結しているため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益戸数63戸、市道・国県道・公共施設等の受益約20件
期待する波及効果	地域の里山の在り方を見直すきっかけとなる

【公的関与の必要性】

地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者との協定により、適切な維持管理と転用等制限を担保している。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
標識・標柱等設	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
ポスター掲示	実施前・中・後	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
チラシ等配布	実施前	森林のはたらきや当該交付金の主旨説明とPR
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
アンケート実施	実施後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

事業実施後の関係者（自治会、山林所有者）対象のアンケート結果として「近年の異常気象、荒廃森林の増加により市民生活が脅かされている中、懸案箇所の整備により安全安心に繋がった。」「自助の範疇では手に負えない荒廃した森林整備の救済措置として、非常にありがたい事業である。」などの意見が寄せられた。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
事業名	里山の森林安全安心対策事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
測量調査		式	1.00	195,919	195,919	
間伐		式	1.00	2,021,370	2,021,370	2箇所（6.26ha）
支障木伐採		式	1.00	6,107,674	6,107,674	15箇所(600本)
諸経費		式	1.00	3,835,213	3,835,213	
小計					12,160,000	
消費税及び地方税相当額					1,216,000	
		合計			13,376,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	里山の森林安全安心対策事業
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1

支障木伐採(着手前)松阪市飯南町上仁柿地内
国道筋の人家で倒木の恐れがあり、危険であった



写真2

支障木伐採(完成)松阪市飯南町上仁柿地内
事業実施により危険が解消された



写真3

支障木伐採(作業状況)松阪市飯南町上仁柿地内
ラフタークレーン使用



写真4

支障木伐採(作業状況)松阪市飯南町上仁柿地内
高所作業車使用



写真5

みえ森と緑の県民税市町交付金事業PR用標柱設置状況



写真6

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
事業名	里山の森林安全安心対策事業				
7 の（2）. その他資料					

・ アンケート（自治会、山林所有者対象）

🌲 アンケートご協力をお願い 🌲

「みえ森と緑の県民税」は、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるために、平成26年4月から三重県が導入した税金です。

松阪市では、この税を活用して、里山の森林安全安心対策事業を実施しました。
今後の事業実施の参考にするため、この事業の感想と、森林に対する想いを聞かせてください。

里山の森林安全安心対策事業の感想を聞かせてください。

- ① この事業を実施していることを知っていた
・知っていた ☒ 事業実施時に知った ・知らなかった
- ② この事業にこの税を使っていることを知っていた
・知っていた ☒ 事業実施時に知った ・知らなかった
- ③ 台風等の自然災害での被害の心配が軽減された
 そう思う ⇄ そう思わない
 ④ 3 2 1

森林に対する想いを聞かせてください。

- ① 安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う
 そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1
- ② 木を使うことは、森林の手入れにつながると思う
 そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1
- ③ これからは身近な森林（里山）や竹林の手入れをしようと思う（手入れに参加しようと思う）
 そう思う ⇄ そう思わない
 4 3 ② 1
- ④ 災害に強い森林づくりのために、これからは幅広い用途で木材利用をしようと思う。
 そう思う ⇄ そう思わない
 4 ③ 2 1
- ⑤ みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください



自然災害で被害が軽減されたので
事業を継続してほしい。

ご協力ありがとうございました。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業						
事 業 費	20,114,954 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			5,000,000		15,114,954		

1. 事業の目的

松阪市管内において、平成30年に発生した台風21号及び24号時の倒木被害を起因とする、送配電線の断線が多発し、大規模な停電被害をもたらした。また、災害時のライフラインの寸断は、行政の防災機能停滞等、多大な影響を及ぼすことから、被害想定箇所の事前伐採を実施することにより、災害時の防災・減災対策を図り、加えて市民生活の安全安心に繋げる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

送配電事業者が作成した被害想定箇所一覧をベースに、関係者連携のもと現地調査を行い、事業計画を立案し、段階的に事前伐採を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施箇所及び箇所数】

事前伐採箇所：6箇所

【事業量】

事前伐採：1,103本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

事業実施により、ライフラインの寸断防止、停電の抑制が図られることから、市民生活の安全安心に繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

優先度の高い箇所から計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

事前伐採により、停電のリスクが抑制されるとともに、地域と協働で事業を進めることにより、防災意識の向上が図られる。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	20,114,954 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,000,000		15,114,954

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な技術を必要とするため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	受益戸数2,000戸、市道、県道、国道
期待する波及効果	地域と連携して事業を実施することにより、森林整備が推進されることに加え、防災意識の底上げにも繋がる。

【公的関与の必要性】

地域の懸案箇所整備が中心であり、官民協働の横断的な調整が必要であることから公的関与が不可欠である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施後は森林所有者が適正な維持管理を担っているが、地元自治会等協力のもと、再度荒廃することの無いよう働きかける必要がある。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施前・中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
回覧板・掲示板	実施前	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

過去何度も台風時、倒木を起因とする停電があった言わば地域における懸案箇所が当該事業により整備されたことにより「当たり前の日常を取り戻すことができた。」「安全安心に繋がった。」など喜びの声が多数寄せられている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
予備調査		式	1.00	630,432	630,432	
事前伐採	1,3ha、1,103本	式	1.00	17,959,568	17,959,568	6箇所
立木補償	577本	式	1.00	1,524,954	1,524,954	
		事業費			20,114,954	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の（1）. 写真

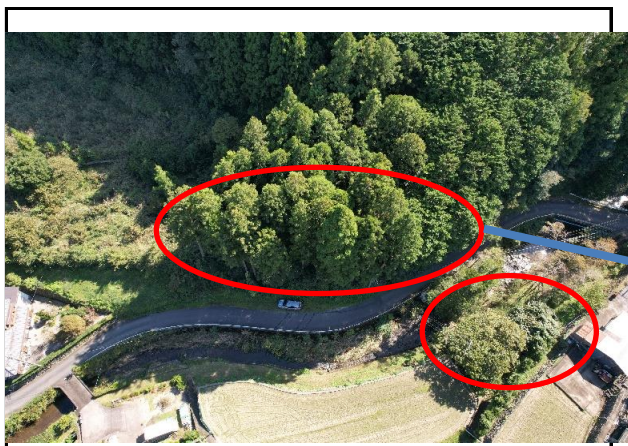


写真1

事前伐採（着手前）松阪市飯南町下仁柿地内



写真2

事前伐採（完成）松阪市飯南町下仁柿地内



写真3

合同安全教育状況



写真4

事前伐採（施工中）電線近接部における高性能林業機械（スイングヤーダ）使用状況



写真5

みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真6

回覧した事業啓発用チラシ

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
3	森林環境学習事業						
事 業 費	2,852,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			2,852,300		0		

1. 事業の目的

森林環境保全や木材利用促進が地域の環境保全等につながることを学ぶことを目的に、市内小学校の児童を対象に体験型の森林環境教育を実施する。また、松阪地域の木材を使用して小学校の内装の一部を木質化し、その空間を体感してもらうことにより、森林管理や林業の「担い手」を育成する機会とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

管内小学生を対象に森林環境保全や森林整備についての森林環境教育を実施する。また、その小学校で松阪地域産の木材を使用し、教室等の木質化を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

市内小学校2校（松阪市立松尾小学校、松阪市立東黒部小学校）

【事業量】

森林環境学習及び、小学校の玄関、図書室の木質化：2校

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林環境学習を実施することにより、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。また、理解や興味を持ったところで、木質化された教室等で学ぶことにより、さらに木材とのふれあいも進むなどの相乗効果が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森林環境学習、製材工場・バイオマス工場等見学、木工教室等複合的なアプローチで事業を実施することにより、効率的な木育に繋がる。

【新たな対策・視点及び改善点】

環境学習実施後のアンケートでは「森のはたらきの大切さが分かった」「丸太切りが楽しかった」など、高評価を得た。さらに、「ウッドピアにまた行ってみたい」という林業・木材への関心の向上も見られた。しかし、事業開始から9年が経過するも、いまだ市内の約半数の学校で事業実施に至っておらず、次世代の担い手育成に繋がる学習・体験ができていない学校が存在する現状であるため、今後も当県民税の周知及びPRを行いたい。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林環境学習事業				
事 業 費	2,852,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,852,300		0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	活動団体	補助事業ではな い		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林・林業に携わる関係者による組織であり、森林・林業に精通し、又、恒常的に小学生を対象とした森林に纏わる学習イベントを開催するなど、適切な教育を実施することができるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	松尾小学校3年生(児童35名)、東黒部小学校3年生、4年生(児童数13名)
期待する波及効果	学習終了後も校舎を木質化することにより学校全体への波及効果が見込める

【公的関与の必要性】

市内小学校と協働し、当市における環境側面のカリキュラムとの相乗効果をはかりながら、森林環境を推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

木質化を行った構造物については、実施した施設にて適正な管理を行うこととしている。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知
のぼり設置	実施中	学習実施時にのぼりを設置し、当該交付金活用事業であることをPR
啓発物品配布	実施後	森林のはたらきをテーマとした絵本を作製し、市内小学校・保育園・幼稚園に配布
アンケート実施	実施後	
ロゴマーク掲示 (シール・プレート)	実施後	校舎の木質化を行った後にプレートを設置し、当該事業活用の取組であることを周知

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

参加者全員対象のアンケート結果として約6割の児童が「森や環境のことがよくわかった。」という意見。加えて約8割が「もっとしたいと思った。あっという間に終わった。」という意見であった。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
事業名	森林環境学習事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
環境学習人件費	講師等	人・日	12.00	15,000	180,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作（材料費）、丸太切り（原木）	式	1.00	280,000	280,000	
環境学習直接経費	移動用大型バス	台	2.00	100,000	200,000	2校実施分
環境学習直接経費	木工工作指導員謝礼	人	10.00	10,000	100,000	指導員5人（2校実施分）
環境学習直接経費	環境学習絵本作成	式	1.00	200,000	200,000	
環境学習直接経費	活動報告書	部	10.00	1,000	10,000	
木質化施工費	木質化施工費	式	1.00	620,000	620,000	玄関、図書館の木質化45㎡程度 (2校実施分)
木質化施工費	杉坂、下地材、金物等	式	1.00	620,000	620,000	
木質化施工費	塗装	式	1.00	160,000	160,000	
木質化施工費	清掃等	式	1.00	100,000	100,000	
諸経費	交通費、通信費	式	1.00	123,000	123,000	
消費税					259,300	
		合計			2,852,300	(税込)

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境学習事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

森林環境学習（製材工場見学）



写真2

森林環境学習（木工教室状況）



写真3

森林環境学習（森林環境教育状況）



写真4

みえ森と緑の県民税のぼり設置によるPR状況



写真5

小学校玄関木質化（完成）



写真6

小学校図書室木質化（完成）

(3) 森林環境学習アンケート結果

森林環境学習を終えて、今後の取組の参考にするために、児童を対象にアンケートを実施した。その結果は次のとおりである。

① 東黒部小学校3年生、4年生

みんなに会えて良かったよ

森林環境学習(しんりんかんきょうがくしゅう)

について答えてね！



小学校 年

※ どれか1つに「○」をつけてね！

こんかいの学習(がくしゅう)について、どうおもいましたか？	森や環境(かんきょう)のことがよくわかった	難(むずか)しいところもあったが楽しかった	よくわからなかった
-------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------

※ どれか1つに「○」をつけてね！

どの学習(がくしゅう)が興味(きょうみ)がわきましたか？	原木(げんぼく)や森林(しんりん)を見たこと	木工工作や丸太(まるた)切りをしたこと	絵本やクイズで学習(がくしゅう)したこと
------------------------------	------------------------	---------------------	----------------------

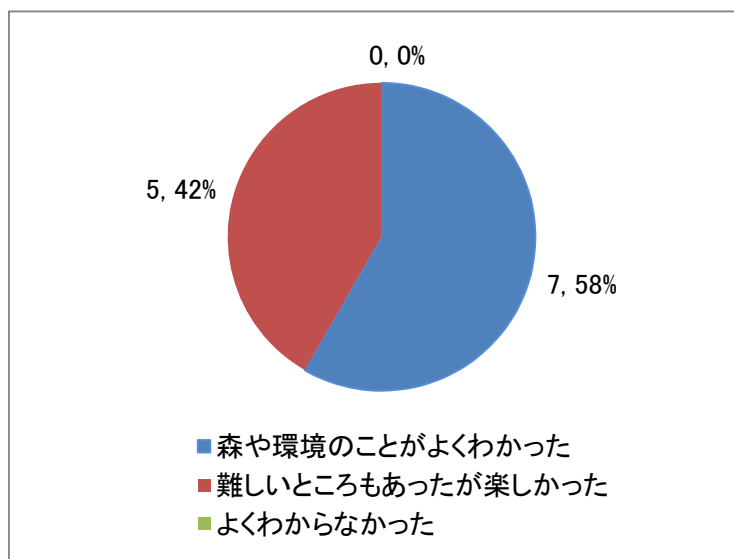
※ どれか1つに「○」をつけてね！

こんかいの学習(がくしゅう)をして、どう思いましたか？	もっとしたいとおもった	あっというまにおわった	ちょうどよかった
-----------------------------	-------------	-------------	----------

※ そうおもったものに、いくつでも「○」をつけてね！

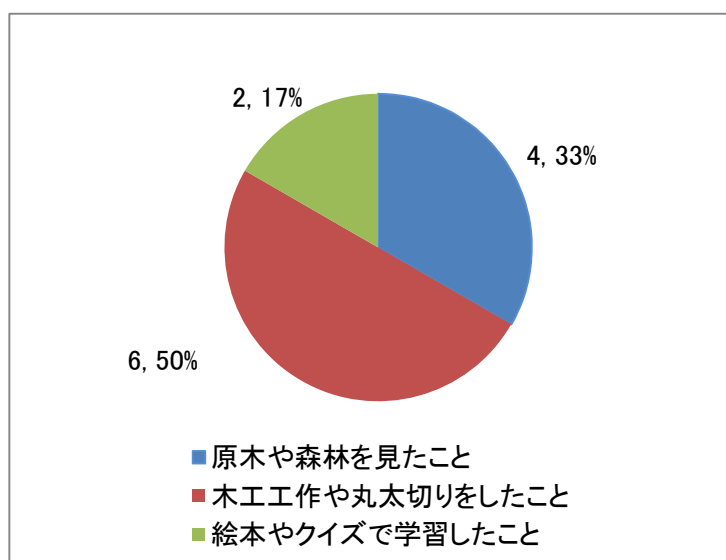
印象(いんしょう)に残っていることはなんですか？	森は災害(さいがい)からまちを守る	森のはたらきは大切	森は体(からだ)をリラックスさせる
	光合成(こうごうせい)	モクちゃん	木と炭素(たんそ)
	森は水を蓄(たくわ)える	三重(みえ)の木	間伐(かんばつ)は大切
	森はきれいな空気をつくる	木をたくさん使う	木の家(いえ)
	森が地球(ちきゅう)の温暖化(おんだんか)をふせぐ	体験(たいけん)	もっと知りたい

〈質問 1〉 森林環境学習についてどう思いましたか？



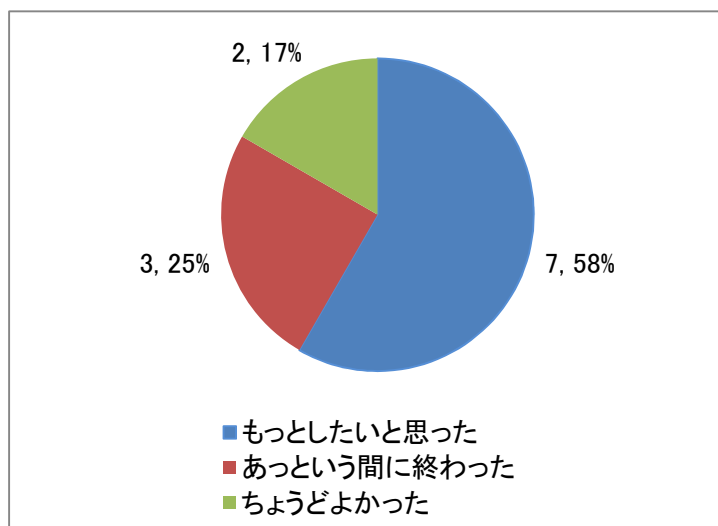
「森や環境のことがよくわかった」と回答した児童の割合が最も多く 58%、次いで「難しいところもあったが楽しかった」と回答した児童の割合が 42%となっている。

〈質問 2〉 どの学習が興味をわきましたか？



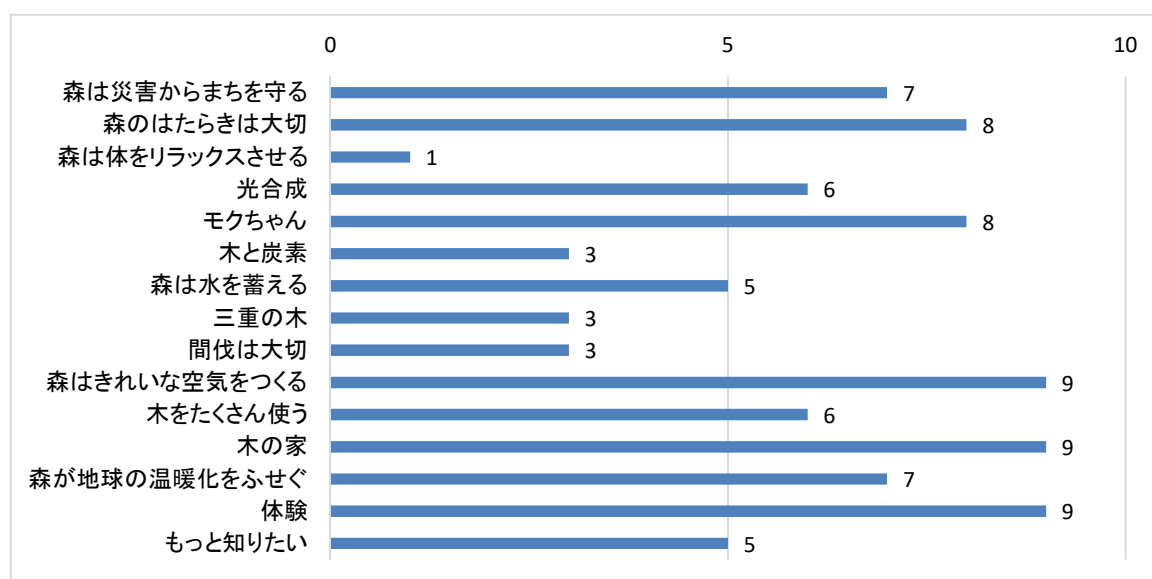
「木工工作や丸太切りをしたこと」と回答した児童の割合が最も多く 50%、次いで「原木や森林を見たこと」が 33%、「絵本やクイズで学習したこと」が 17%となっている。

〈質問3〉 森林環境学習をして、どう思いましたか？



「もっとしたいと思った」と回答した児童の割合が最も多く 58%となっており、次いで「あっという間に終わった」が 25%、「ちょうどよかった」が 17%となっている。

〈質問4〉 森林環境学習で印象に残っていることはなんですか？



「森はきれいな空気をつくる」・「木の家」・「体験」が印象に残った児童が最も多く、次いで「森のはたらきは大切」・「モクちゃん」、「森は災害からまちを守る」・「森が地球の温暖化をふせぐ」などとなっている。

② 松尾小学校 3 年生

みんなに会えて良かったよ 森林環境学習(しんりんかんきょうがくしゅう)

について答えてね！



小学校 年

※ どれか1つに「○」をつけてね！

こんかいの学習(がくしゅう)について、どうおもいましたか？	森や環境(かんきょう)のことがよくわかった	難(むずか)しいところもあったが楽しかった	よくわからなかった
-------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------

※ どれか1つに「○」をつけてね！

どの学習(がくしゅう)が興味(きょうみ)がわきましたか？	原木(げんぼく)や森林(しんりん)を見たこと	木工工作や丸太(まるた)切りをしたこと	絵本やクイズで学習(がくしゅう)したこと
------------------------------	------------------------	---------------------	----------------------

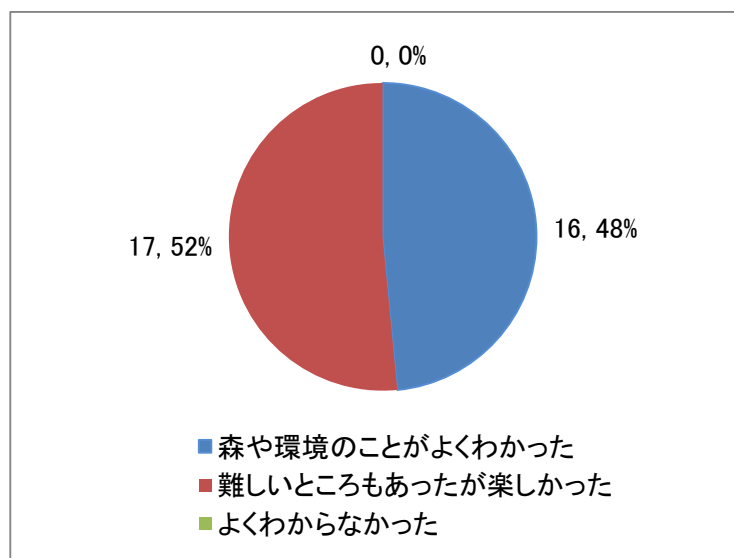
※ どれか1つに「○」をつけてね！

こんかいの学習(がくしゅう)をして、どう思いましたか？	もっとしたいとおもった	あっというまにおわった	ちょうどよかった
-----------------------------	-------------	-------------	----------

※ そうおもったものに いくつでも「○」をつけてね！

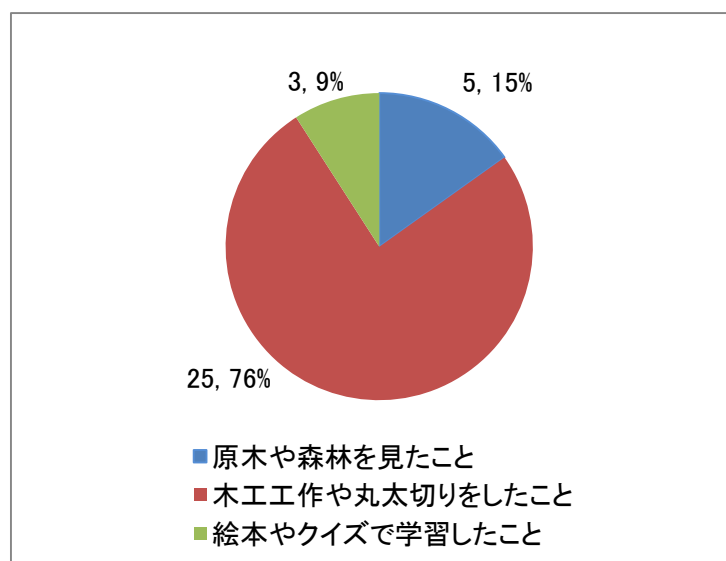
印象(いんしょう)に残っていることはなんですか？	森は災害(さいがい)からまちを守る	森のはたらきは大切	森は体(からだ)をリラックスさせる
	光合成(こうごうせい)	モクちゃん	木と炭素(たんそ)
	森は水を蓄(たくわ)える	三重(みえ)の木	間伐(かんぱつ)は大切
	森はきれいな空気をつくる	木をたくさん使う	木の家(いえ)
	森が地球(ちきゅう)の温暖化(おんだんか)をふせぐ	体験(たいけん)	もっと知りたい

〈質問 1〉 森林環境学習についてどう思いましたか？



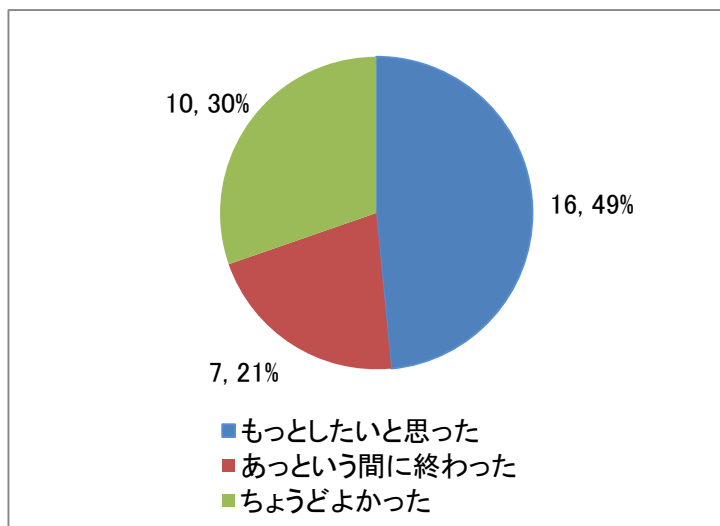
「難しいところもあったが楽しかった」と回答した児童の割合が最も多く 52%、次いで「森や環境のことがよくわかった」と回答した児童の割合が 48%となっている。

〈質問 2〉 どの学習が興味をわきましたか？



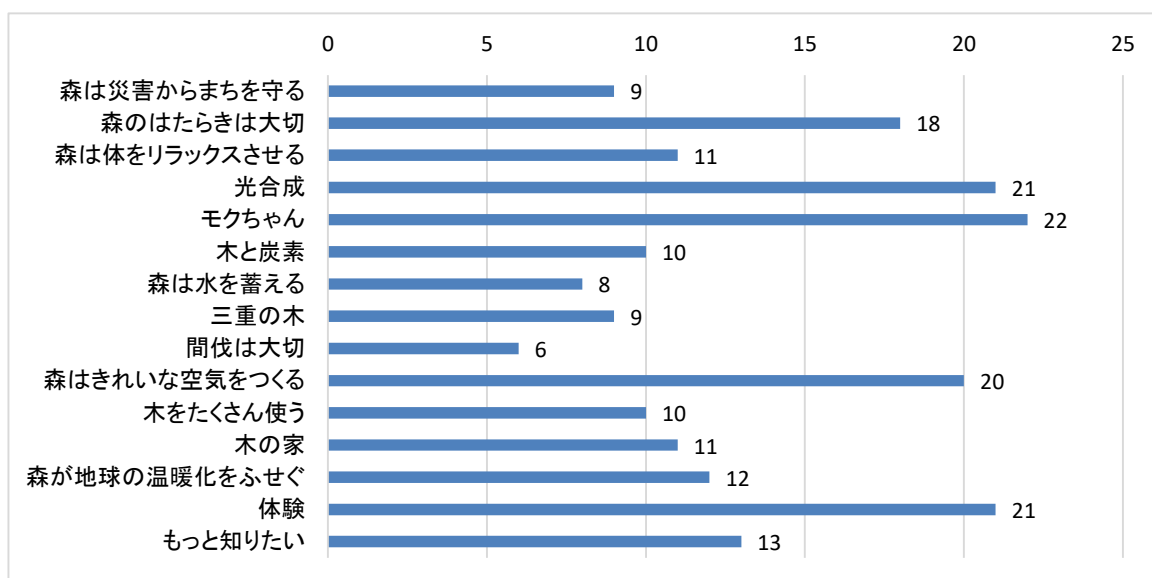
「木工工作や丸太切りをしたこと」と回答した児童の割合が最も多く 76%、次いで「原木や森林を見たこと」が 15%、「絵本やクイズで学習したこと」が 9%となっている。

〈質問3〉 森林環境学習をして、どう思いましたか？



「もっとしたいと思った」と回答した児童の割合が最も多く 49%となっており、次いで「ちょうどよかった」が30%、「あっという間に終わった」が21%となっている。

〈質問4〉 森林環境学習で印象に残っていることはなんですか？



「モクちゃん」が印象に残った児童が最も多く、次いで「光合成」、「体験」、「森はきれいな空気をつくる」、「森のはたらきは大切」、「もっと知りたい」、「森が地球の温暖化をふせぐ」、「森は体をリラックスさせる」、「木の家」、「木と炭素」、「木をたくさん使う」などとなっている。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	-----	-----	---------	--------

番 号	事 業 名				
4	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	436,207 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			145,000		291,207

1. 事業の目的

松阪地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体「松阪地区青和会」主催で現場体験型イベント「松阪フェス木バル 2022」を行い、木と林業・木材産業に携わる人とふれあうことで、森林からの恩恵、木の良さを学ぶと共に地域の林業・木材産業を身近に感じていただくきっかけの場を提供することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

松阪市内小学生高学年親子（定員制）を対象に林業・木材産業の現場体験型のイベント「松阪フェス木バル 2022」を開催する。

場所について、山林編とウッドピア編の 2 カ所に分け、山林編では松阪市飯高町内山林での林業見学・体験に加え森の中での青空教室を行い、森林の持つ多面的機能を学び、ウッドピア編では松阪市木の郷町にあるウッドピア松阪内の木材市場や製材等での見学と木工体験を行う。

同時に、その模様を写真等で撮影し、SNS 等で広く配信する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪地区青和会

【実施個所及び箇所数】

2 箇所（松阪市飯高町内山林、ウッドピア松阪）

【事業量】

WEB方式で動画配信、上棟キット製作材料費一式、丸太イス、PR用チラシ作成

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

親子対象のイベントであることから、各家庭において森林や林業・木材産業への関心を促進させることに繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

集客イベントの開催が困難な中であって、社会情勢にマッチした参加しやすい環境を構築し、森林・林業啓発に繋げることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

アフターコロナを見据えた事業内容に刷新していく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	リニューアル
------	-------------	--	-----	-----	---------	--------

番 号	事 業 名				
4	松阪の木魅力発信活動事業				
事 業 費	436,207 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			145,000		291,207

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	活動団体	その他		③1/3以内

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当該地域の林業・木材産業に携わる若手後継者で構成する団体であり、森林・林業に関する専門的な知識や技術を有しているため

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	対象者約280名
期待する波及効果	参加者の家族や友人への波及効果が期待できる

【公的関与の必要性】

林業・木材産業団体、市内学校等と協働、推進していく事を鑑みると公的関与の必要性大である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
TV（行政チャンネル等）	実施後	報道機関への情報提供を行い、みえ森と緑の県民税を活用した取り組みであることを周知。また、行政チャンネル・YouTubeで放送を行った。
啓発物品配布	実施前	PRチラシを製作し、市内小学校に配布した。
アンケート実施	実施後	好評であった。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

※動画配信サイトURL（青和会チャンネル）<https://www.youtube.com/channel/UC2xL3DIcEaVKnmto1ZM9-Ww>

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市
事業名	松阪の木魅力発信事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
上棟キット製作材料費		棟	1.00	133,100	133,100	
事務費及び広告費		式	1.00	191,730	191,730	
役務費		式	1.00	3,814	3,814	保険料
使用料及び賃借料		式	1.00	62,470	62,470	
報酬費		式	1.00	22,000	22,000	講師報酬
消耗品費		式	1.00	23,363	23,363	軍手、ブルーシート等
				事業費	436,477	(1/3以内)
				補助額	145,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	松阪の木魅力発信事業
-----	------------

7 の（１）．写真



写真1

原木教室



写真2

上棟体験状況



写真3

上棟完了



写真4

間伐体験

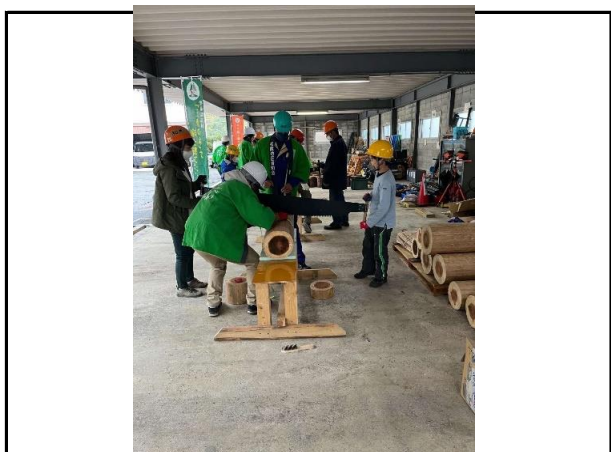


写真5

丸太切体験

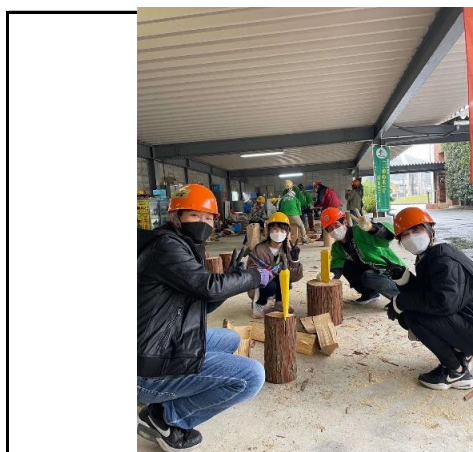


写真6

まき割り体験

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	保育園木育推進事業				
事 業 費	3,030,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,030,500

1. 事業の目的

市内の公立保育園の備品を木質化し、木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の公立保育園の備品を市産材で木質化する。また、森林環境学習の一環として、みえ森と緑の県民税市町交付金事業にて作製した、児童及び園児向けの森林環境学習用絵本の読み聴かせ等を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

公立保育園1園

【事業量】

松阪市立三雲南保育園への木育推進のための木製備品導入一式

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児たちが市産材で木質化された備品に触れることで、木材とのふれあいが進む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を導入するだけでなく、空間整備と併せて森林環境学習用絵本の読み聞かせを行うことで、幼少期からの木育を推進する。

【新たな対策・視点及び改善点】

森林環境学習用絵本の読み聞かせによる木育推進のほか、保育園だよりなど等に森のはたらきや交付金事業活用について記載する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり		市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	保育園木育推進事業				
事 業 費	3,030,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		1,030,500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
物品購入	その他	補助事業ではない		②一般競争入札により決定 ③物品購入

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

一般競争入札を実施する事により公平性の担保と経費削減に繋がることから

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	保育園1園（園児数141名）
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる

【公的関与の必要性】

市の管理施設であるため、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
回覧板・掲示板	実施前・後	保育園関係者や保護者に対して、保育園だより掲載により、当該交付金事業の活用をPR
ロゴマーク掲示 (シール・プレート 等)	実施後	木製備品にシールを貼り付け、当該事業活用の取組であることを周知

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市
------	-------------------	-----	-----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
	木製スタッキングチェア4～5歳児用	脚	60.00	14,500	870,000	
	木製スタッキングテーブル	台	29.00	65,000	1,885,000	
					2,755,000	
				消費税(10%)	275,500	
				合計	3,030,500	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	保育園木育推進事業
-----	-----------

7 の（１）．写真



写真1

木製机納品状況



写真2

木製椅子納品状況



写真3

県民税を活用し、松阪市にて作製した木育用絵本の読み聴かせ状況



写真4

掲示板で「みえ森と緑の県民税」の周知と森林の大切さや必要性を説明



写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	都市公園整備事業				
事 業 費	4,062,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		62,300

1. 事業の目的

公共空間である公園において、市産材の木材利用を促進するとともに、木の魅力を体感してもらう機会を創出することで、木材と市民の関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

都市公園内に市産材の木製東屋を設置。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

1箇所（広陽公園）

【事業量】

東屋1基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

多くの市民が利用される公園において、市産材で東屋を建築することにより、市民が木材とふれあう機会が増え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

スポーツ、遠足の目的地、周辺の工業団地従業員の憩いの場など、多用途で利用されている施設であり、建築に併せてパネル展示等により、森林・林業について幅広く啓発することが可能である。また、今回の整備に併せて、県民税の概要や木材の利用意義を紹介するチラシについて、地域での回覧や施設利用者への配布を行うことで、より効果的な普及啓発に繋げた。

【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民、市民が利用する公園に木製東屋を設置することで、木材に接する機会を増加・強化できる。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
6	都市公園整備事業				
事 業 費	4,062,300 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		62,300

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者約3,000名
期待する波及効果	利用者の家族や友人への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

市が管理者である公園の整備であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
ロゴマーク掲示 (シール・プレート)	実施後	東屋設置後に、ロゴマークのシールの設置を行い、当該交付金活用事業であることをPR
施工看板に掲示	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用のPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

当該箇所において、令和3年度、市産材を利用した木製ベンチを導入したことに続き、特に要望が強かった東屋の設置を行った。グランド利用者から、木材に触れることができる良い施設を建設して頂いたという意見があるなど、木の魅力を体感できる空間の創出に繋がった。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
東屋設置		棟	1.00	4,005,100	4,005,100	
			補助対象事業費		4,005,100	
その他(コンクリート工)		式	1.00	57,200	57,200	
			全体事業費		4,062,300	

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	都市公園整備事業
-----	----------

7 の (1) . 写真



写真1
都市公園整備 東屋
広陽公園



写真2
施工中 啓発用のぼり設置状況



写真3
回覧及び配布した啓発用チラシ



写真4
回覧及び配布した啓発用チラシ

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
7	文化財センター施設整備事業				
事 業 費	6,279,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		2,279,900

1. 事業の目的

松阪市文化財センター収蔵庫建設により移設となるカネボウ跡公園の園路計画に合せ、池や公園樹木との配置を考慮して木製の東屋を建てる。公園という公共空間において、木材を利用することで県民に森林や木材について、学び・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

カネボウ跡公園の一面に、来園者が野鳥の観測や休憩のできる東屋を地域産材で建てる。
HPを中心とした広報活動などにより、森林環境を保護する大切さについて理解促進を図る。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

松阪市

【実施個所及び箇所数】

カネボウ跡公園：東屋 1 棟

【事業量】

東屋 1 棟

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

地域産材で東屋を建設することにより、市民が木材とふれあう機会が増えることに加え、休憩中に樹木や野鳥、池などを眺めることにより、癒しの空間を創出することに加え、木材の活用や森林づくりへの理解が深まる事が見込まれる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

HPで当該交付金や事業内容のPRに努め、工事中や完成後の看板設置などで森林づくり、林業の啓発を行った。

【新たな対策・視点及び改善点】

多くの県民が利用する公園に木製東屋を設置することで、木材に接する機会を増加・強化できる。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
7	文化財センター施設整備事業				
事 業 費	6,279,900 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,000,000		2,279,900

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
工事請負	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

競争入札により、専門的な技術を有する事業者を選定。これにより、公平性の担保と経費の削減にも繋がる。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者約40,000名
期待する波及効果	来館者の家族や友人への波及効果も期待できる。

【公的関与の必要性】

市が管理者である施設であり、公的関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

維持管理は市が主体的に実施する。転用、目的外使用については、公共施設であるため想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前・後	HP等の情報発信により、当該交付金のPR等に努めた
のぼり設置	実施中	みえ森と緑の県民税市町交付金活用を効果的に行える手法でPRした
ロゴマーク掲示 (シール・プレート等)	実施後	東屋建築後に、プレートの設置を行い、当該交付金活用事業であることをPR

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

「度々利用しているが、木製の優しさもあって、東屋の存在をありがたく感じている。」といった声が寄せられるなど、木の魅力を体感できる癒しの空間の創出に繋がった。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市
------	--------------------	-----	-----

事業名	文化財センター施設整備事業
-----	---------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製東屋設置工・PR標柱設置工		棟	1.00	5,724,116	5,724,116	
PR標柱設置		基	1.00	58,584	58,584	
	補助対象事業費				5,782,700	
その他(土工・コンクリート工)		式	1.00	497,200	497,200	
	事業費				6,279,900	

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	松阪市	新規・継続の別	新規
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	文化財センター施設整備事業
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1

東屋整備 着手前



写真2

東屋整備 工事中
ぼりによるPR状況

写真3

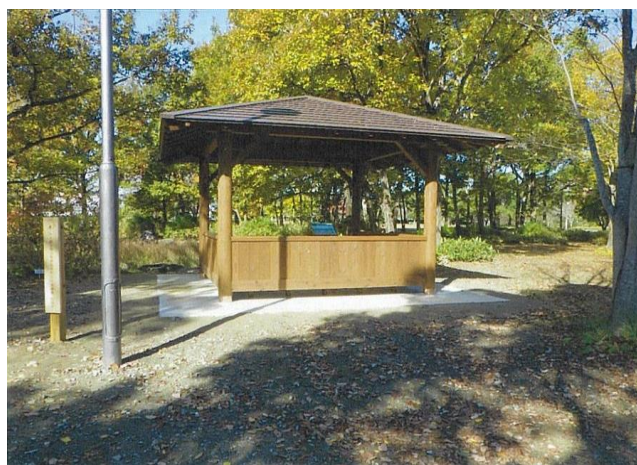
東屋整備 完成
木製プレートの設置状況

写真4

東屋整備 完成

写真5

写真6

写真5

写真6

カネボウ跡公園東屋の新規設置

令和3年度から令和4年度にかけて松阪市文化財センターの新収蔵庫を建築しています。新収蔵庫の建築に伴い、既存の東屋を取り壊すことになったため、新たに東屋を建築設置します。工事は、収蔵庫の工事が完了次第とにかかる予定です。

東屋は、公共空間である公園において、地域産材の木材利用を促進し、ふれあうことで、木材(森)と市民の関係を深めることを目的に、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を利用して建築します。

○工事予定 令和4年10月中旬から12月上旬



建設予定地

多気町

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

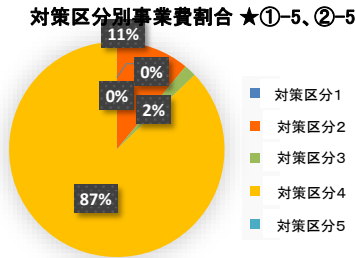
1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	多気町	三重県
人口（人）	14,345	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.8%	12.4%
森林面積(ha)	5,915.33	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	5,915.33	348,833.49
森林率(%)	57.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	23.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	3,740,000	900,000		900,000			
2	3	木とふれあう教育支援事業	150,000	150,000			150,000		
3	4	木とふれあう環境づくり事業	9,060,700	7,114,000				7,114,000	
計			12,950,700	8,164,000	0	900,000	150,000	7,114,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.89ha	3,490,300	3,490,300	
森林再生力強化対策事業	304m	348,537	348,537	
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.05ha	3,740,000	900,000	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	多気町は、三重県のほぼ中央部に位置し、森林面積は約57％を占めている。地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動が実施さるべき人工林等多様な森林構成になっている。しかしながら、森林所有者の高齢化にともない森林の維持管理が難しい状況であり、森林の荒廃が進行している。そのため県民税を利用し、地域住民に木に触れる機会を提供し、森林の役割について理解を促す必要がある。また、地域住民が安心・安全に生活が送れるようライフラインを守る事前伐採事業を実施していく。
事業実施により期待される効果	県産木材を利用した木製備品を小学校、保育園に導入・配置したことにより、木に対する関心が高まり、また多くの地域住民が集まる公共野外施設（勢山荘）に木製遊具を配置したことにより、多くの方に木の素晴らしさを実感してもらうことができる。 危険木を実践に伐採することにより、より安全・安心した住民生活を送ることができる。
情報発信への取組	多くの地域住民の方に、木製備品の素晴らしさを理解してもらい、また危険木の伐採により安全・安心した生活が送れることができるということを広報誌等で情報発信した。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	372	372
2	③ 私有林整備	5,848	5,848
3	⑰ 基金積立（森林整備等）	3,377	3,377
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	9,596	9,596

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	3,740,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			900,000	0	2,840,000

1. 事業の目的

町、県及びライフライン事業者と連携し、大規模な停電を未然に防止し、地域住民の安全・安心な暮らしを守るため、台風等により倒木となり、電線などを寸断する恐れのある樹木をあらかじめ伐採する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

台風等の倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

多気町

【実施箇所及び箇所数】

多気町波多瀬地内 1 箇所、多気町古江地内 1 箇所

【事業量】

皆伐 0.05ha（83本）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

台風等による倒木被害によりライフラインを寸断するおそれなくなり、地域住民の生活環境の向上になる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

危険木を事前に伐採することで、暮らしに身近な森林の整備が進み、安全・安心な生活環境の確保につながる。

【新たな対策・視点及び改善点】

地域住民に対し実施した箇所を周知し、事業の意義を伝えることで、事業の拡大につなげる。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	3,740,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			900,000	0	2,840,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

施業場所が傾斜地や足場の悪い場所もあり、作業上の経験、知識を特に必要になるため、町内の森林整備で実績のある宮川森林組合に委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民（波多瀬地区：503人、古江地区：247人）
期待する波及効果	地域住民のみならず町内全体に森林整備の必要性への理解が広がる。

【公的関与の必要性】

生活に欠かすことができないライフラインを守る取組であり、公的関与の必要性が高い。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採後、森林を適正に管理してもらうように森林所有者に説明する。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施前・中	伐採の前及び施工中に、みえ森と緑の県民税の事業であることをのぼり旗でPRした。
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき4月号」において、事業内容を掲載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

伐採したことで道路に光が入り、視界が良くなったと町民に喜ばれている。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	高所作業車使用	本	83.00	40,963	3,400,000	道路沿い 斜面 誘導員含む
		小計			3,400,000	
		消費税及び地方税相当額			340,000	
		合計			3,740,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1

多気町波多瀬地内（伐採前）



写真2

多気町波多瀬地内（伐採後）



写真3

多気町古江地内（伐採前）



写真4

多気町古江地内（伐採後）

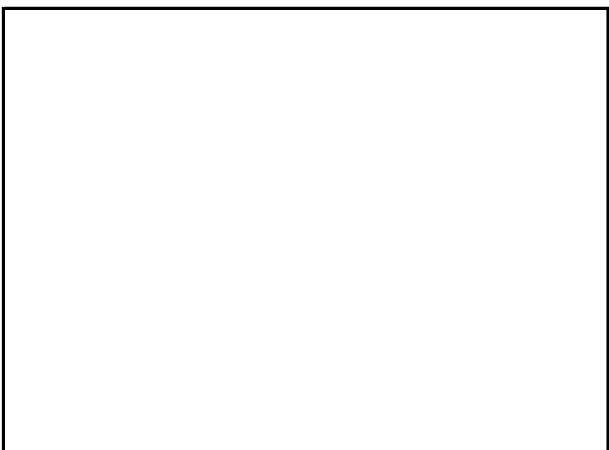


写真5

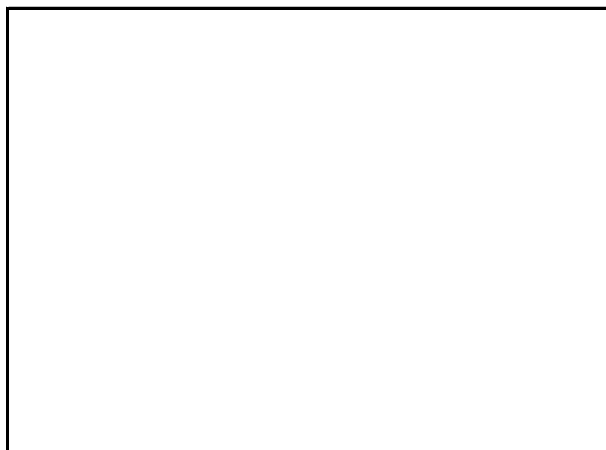


写真6

多気町からのお知らせ

マイナンバーカード専用の休日窓口を行います！

と き：4月22日(土) 午前9時～12時

ところ：多気町役場 町民環境課

内 容：マイナンバーカードの交付申請・カードの受け取り

必 須：カードの受け取りには予約が必要です。

受け取りの3日前までに、下記問い合わせ先にご連絡ください。

※平日の開庁時間内および水曜日の夜間窓口でもマイナンバーカードについて対応します。



問い合わせ先 町民環境課 ☎(38)1113

お知らせ

ごみ収集日程の変更並びに指定ごみ袋
価格の値上げについて4月から、ごみ収集日程ならびに指定ごみ袋の価格が変更となりました。
ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1

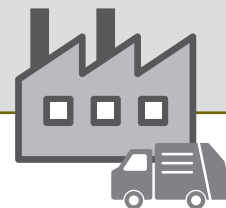
ごみ収集日程の変更

収集日程が変更になった地区があります。
「ごみ収集カレンダー2023」を必ずご確認ください。

2

指定ごみ袋価格の値上げ

1冊 105円 ⇒ 124円

問い合わせ先 町民環境課 ☎(38)1113
香肌奥伊勢資源化広域連合 ☎(49)4311香肌奥伊勢資源化広域連合ごみ処理施設
整備基本構想案への意見を募集します。

香肌奥伊勢資源化広域連合では、整備を予定している新たな可燃ごみ処理施設の、基本構想内容などをまとめた「香肌奥伊勢資源化広域連合ごみ処理施設整備基本構想」の策定を進めています。このたび、基本構想案がまとまりましたので、基本構想に関する意見を募集します。

募集期間：4月1日(土)～5月2日(火)まで(必着)

詳しくは香肌奥伊勢資源化広域連合のホームページをご覧ください。▶▶▶▶



問い合わせ先 香肌奥伊勢資源化広域連合 ☎(49)4311

みえ森と緑の県民税を使って、
電線にかかる立木の伐採を実施

多気町では、災害時に電線に倒木などが起こり、生活に不可欠なライフラインが断絶されることを未然に防ぐため、みえ森と緑の県民税を活用し、令和3年度より電線にかかる立木の事前伐採を行っています。令和4年度は、波多瀬地区と古江地区の二か所において、事業を実施しました。



施業前



施業後

問い合わせ先 農林課 ☎(38)1117

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名					
2	木とふれあう教育支援事業					
事 業 費	150,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			150,000	0	0	

1. 事業の目的

小学生に身近な森林で木を切ったり、木工製作を体験したりすることで、森林に触れ、木の温もりや良さに気づき、木と親しむ機会を提供する。そのような体験の中で、自然の大切さを学び、自然に対する関心を深め、より森林に関心を持つことができる人づくりを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

小学生に対して木に触れてもらう機会を提供するため、木工教室を実施する。また講義中に、森林に関する話なども併せて行った。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

多気町

【実施個所及び箇所数】

津田小学校

【事業量】

木工授業、卒業生記念品製作

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

生徒に森林・環境の大切さや役割を学んでもらい、自ら県産材に触れて木工工作等を体験することで、県産材を身近に感じ、「ものを作る喜び」を知ってもらうことができる。体験を通して自然の大切さを学び、自然に対する理解を深め、より森林に関心を持つきっかけとなる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

杉と桧の2種類の木材を使い、木の違いが分かるように工夫した。

【新たな対策・視点及び改善点】

自ら県産材の木材を利用し、作品を制作することで森林に関心を持つことが期待できるため、全ての小学校で森づくりサポートセンターの協力のもと、多くの生徒が木に触れる機会を設ける。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	多気町	新規・継続の別	新規
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	木とふれあう教育支援事業				
事 業 費	150,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			150,000	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】
みえ森づくりサポートセンターの紹介

【主な経費内訳】
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	小学生（18人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

【公的関与の必要性】
木工工作等を体験することで森林教育活動が継続的に行われる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】
なし

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	実施後	広報誌「広報たき2月号及び4月号」において、事業内容を掲載した。

7. 写真及びその他資料
別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）
木工教室を通じて「ものを作る喜び」また自然の大切さを学ぶことができたとの声をいただいた。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町
事業名	木とふれあう教育支援事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師 (宮川森林組合)	人	2.00	9,000	18,000	木工授業
材料費	スギ・ヒノキ材等	式	1.00	33,600	33,600	木工授業
準備費	打合せ等	式	1.00	7,800	7,800	木工授業
運送費	軽バン・軽トラック	km	1.00	4,500	4,500	木工授業
諸経費		式	1.00	5,900	5,900	木工授業
報償費	講師 (宮川森林組合)	人	2.00	8,458	16,916	記念品製作
材料費	スギ・ヒノキ材等	式	1.00	9,400	9,400	記念品製作
準備費	加工等準備	式	1.00	31,840	31,840	記念品製作
運送費	軽バン・軽トラック	km	1.00	3,000	3,000	記念品製作
諸経費		式	1.00	5,408	5,408	記念品製作
		小計			136,364	
		消費税及び地方税相当額			13,636	
		合計			150,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木とふれあう教育支援事業
-----	--------------

7 の (1) . 写真



写真1

木工授業



写真2

木工授業



写真3

記念品製作



写真4

記念品製作

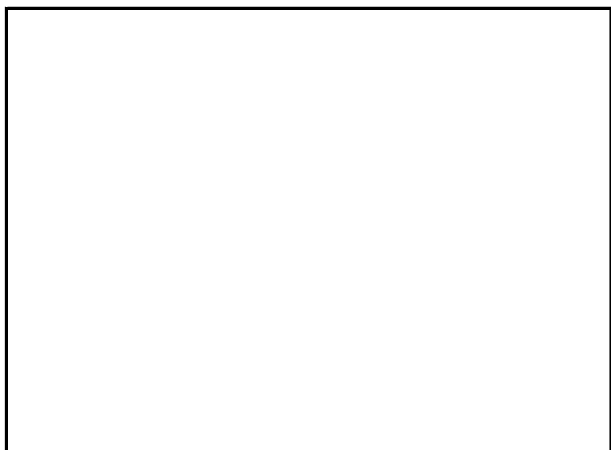


写真5

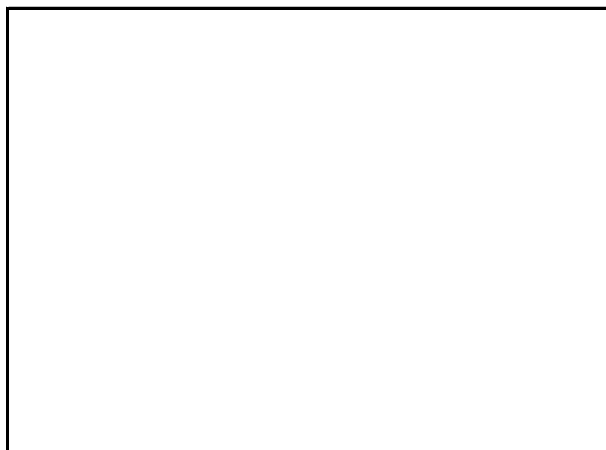


写真6

まちな話 題

TOPICS OF TAKI TOWN

◆勢和中学校区人権フォーラム

12月8日、勢和中学校区の小学6年生から中学3年生が集まり、人権フォーラム全大会が開催され、「みんなが過ごしやすいするために私たちにできること」について考えました。

まず、中学生実行委員からフォーラムの活動報告があり、事前学習で学んだことやブラジル人学校と交流して感じたことが伝えられ、参加者は「多文化共生」について学びました。

その後、山口颯一さんによる講演会で

LGBTについて話を聴き、多様な性のあり方について理解を深めていました。



◆多気中学校区人権フォーラム

12月13日、多気中学校区の小学6年生と中学生の希望する児童、生徒が集まり、最後の「実行委員会」が開催されました。各学校が作成した学校での人権についての取り組みや実行委員が学んできた「多文化共生」のことが語られている映像を見て、1年間の振り返りを聴き合いました。

また、小学生実行委員から中学3年生実行委員へ手作りプレゼントが渡され、記念撮影も行われました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から全体会が行われませんでした。映像をそれぞれの学校に持ち帰り、他の学校の取り組みを共有しました。



◆みえ森と緑の県民税を使って、木育教室を実施

12月12日、

宮川森林組合より「森のせいせい」をお招きし、津田小学校で木材を使った体験教室が開催されました。児童たちは、鉋（かん）を使って、杉と松の二種の木材を使った箸づくりに挑戦しました。木を使ったモノづくり体験に、児童たちは楽しみなが、一生懸命に取り組んでいました。



◆全国大会出場激励会

12月20日、全国大会へ出場する激励会が行われました。中村優奈さん（勢和中3年）万根綺萌さん（勢和中2年）、森本詩さん（勢和中1年）は、三重県バスケットボール大会において、所属するMs MAJICで見事優勝し、全国大会出場を決めました。激励会では、これまでの集大成として、楽しみながら精一杯頑張ってきた「力強い抱負」を述べました。



◆株式会社玉城（グッディ多気店）様より寄付金贈呈

12月27日、早川賢代表取締役社長が町長を訪問し、株式会社玉城（グッディ多気店）様からの寄付金を手渡されました。いただきました子育て支援金に活用させていただきます。



◆3年ぶりの新春風揚げ大会

1月7日、ゆとりの丘にて新春風揚げ大会が開催されました。親子で楽しく風を作り、日本の伝統文化である風揚げに触れてもらうことを目的に、多気町青少年町民育成会議が主催で行っています。新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となりました。風向きや糸の張りを考え、空高く風が上ると、子どもたちは満足そうな笑顔を見せていました。



まちな話 題

TOPICS OF TAKI TOWN

◆みえ森と緑の県民税を 使って、木製のベンチを 製作

2月17日、宮川森林組合より「森のせんせい」をお招きし、津田小学校で杉と松の二種類の木材を使用したベンチを製作しました。児童たちは電動ドリルの扱いに苦労しながらも、組み立てから蜜蝋塗りまでの工程を丁寧に取組みました。難しい作業もあるなかで立派なベンチが完成すると、児童たちはとても嬉しそうな様子でした。



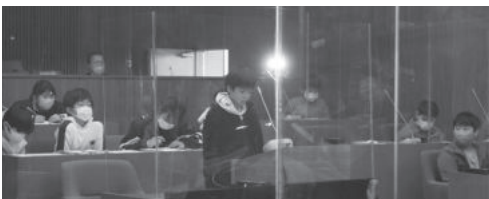
◆全国大会出場激励会

2月20日、全国大会へ出場する激励会が行われました。中北瑛介さん（外城田小）と廣唯歩生さん（外城田小）は、第16回春季全日本小学生男子ソフトボール大会の県予選会において優勝し、3月25、27日に静岡県で開催された全国大会に出場しました。激励会では、二人は力強い抱負を述べていました。



◆佐奈小学校児童 子ども議会体験

2月20日、佐奈小学校6年生が役場を訪れ、議場で子ども議会を体験しました。これは、社会科で学んだ議会の仕組みなどについて児童が実際に体験すること、行政への興味関心を深め、社会参画への意欲を培うことを目的に行われました。当日は、副議長や町長をはじめとする町職員も出席し、通常の定例会と同様の流れで行われました。児童らは、議席に着席し、町に對して質疑を行い、町側は答弁を行いました。



◆東和薬品株式会社と健康づくりの推進に関する協定締結式



2月24日、多気町と東和薬品株式会社（本社・大阪府門真市）が「健康づくりの推進に関する協定を締結しました。また、取り組みの一環として、相可高校食物調理科調理クラブの生徒とともに、健康を考えながら共同開発したサバを使ったレトルトカレーのお披露目も行われました。

◆一般財団法人吉田福祉基金寄贈品 ならびに目録贈呈式

2月24日、吉田福祉基金会館にて寄贈品ならびに目録の贈呈式が行われました。一般財団法人吉田福祉基金は、老人福祉事業の振興のため、県内の介護事業所などに寄贈助成事業を行っています。今年度は、軽自動車や車いすなどを含む助成品が46法人に贈呈され、多気町にはノルディックポール20組が寄贈されました。



第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	木とふれあう環境づくり事業				
事 業 費	9,060,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,114,000	0	1,946,700

1. 事業の目的

木材は柔らかく温かみのある感触を有する。次世代を担う地域住民が日常的に利用する場所で、県産材について学びふれあう機会を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

野外公共施設（勢山荘）、各保育園・小学校・中学校に木製備品を設置した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

多気町

【実施個所及び箇所数】

野外公共施設（勢山荘）、各保育園（2箇所）、各小学校（5校）、勢和中学校

【事業量】

野外公共施設（勢山荘）：テーブルベンチ6台、各保育園・小学校・中学校：木製書架2台、木製演台9台、天板214台、机11台、椅子22台、

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

県産材の木材を利用することにより木材のもつ温かみ、素晴らしい特質を感じ木に関心を持ち、森林の役割を理解できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

木製備品を納品する際、木製備品が完成する過程を説明し、森林に関心を持ってもらうきっかけにする。今後は、木とふれあう木工教室等を各学校に展開していき、より森林に関心を持ってもらう。

【新たな対策・視点及び改善点】

導入した施設の利用者からは、木の特性をいかした木製備品に対する評判はよい。このことから、より多くの利用者のある、自然豊かな野外公共施設に設置することで、多くの地域住民の方に身近で自然を感じ、より木の良さを実感してもらえる場を提供できる。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	木とふれあう環境づくり事業				
事 業 費	9,060,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			7,114,000	0	1,946,700

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

県産材木材の取引があり、各施設の要望に応じることができる加工製品化を行っている松阪飯南森林組合に委託した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地域住民、小中学生（833人）、保育園児（244人）
期待する波及効果	利用者及び保護者にも同様に森林に対する理解が広がる。

【公的関与の必要性】

導入した木製備品を利用することで森林教育活動が継続的に行われる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

各施設の管理者が定期的に点検を行う。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
広報誌掲載	今後	広報誌「広報たき7月号」において、事業内容を掲載予定。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

小学校1年生の児童は、入学してすぐ新しい天板で授業を受けれることが出来て、保護者からも喜びの声を頂いている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町
事業名	木とふれあう環境づくり事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
勢山荘	テーブルベンチ	台	6.00	300,300	1,801,800	
佐奈保育園	木製書架	台	1.00	148,500	148,500	
相可保育園	木製演台	台	9.00	110,000	990,000	
相可小学校	天板	台	90.00	10,241	921,690	
津田小学校	天板	台	23.00	10,241	235,543	
外城田小学校	天板	台	23.00	10,241	235,543	
佐奈小学校	天板	台	15.00	10,241	153,615	
勢和小学校	天板	台	63.00	10,241	645,183	
勢和小学校	青空教室机	台	11.00	119,130	1,310,430	
勢和小学校	青空教室椅子	台	22.00	102,410	2,253,020	
勢和中学校	木製書架	台	1.00	365,376	365,376	
		合計			9,060,700	

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	多気町	新規・継続の別	継続
事業名	木とふれあう環境づくり事業				

7 の (1) . 写真



写真1

テーブルベンチ（勢山荘）



写真2

木製書架（佐奈保育園）



写真3

木製演台（相可保育園）



写真4

天板（相可小学校）



写真5

青空教室机、椅子（勢和小学校）



写真6

木製書架（勢和中学校）

明和町

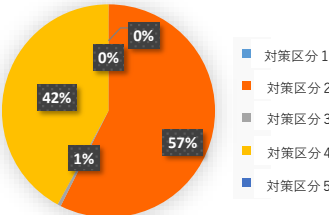
令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	明和町	三重県
人口（人）	22,951	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	12.9%	12.4%
森林面積(ha)	310.97	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	310.97	348,833.49
森林率(%)	8.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	11.4	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	2	松林整備事業	6,743,000	6,140,000		6,140,000			
2	3	木育事業	56,100	56,000			56,000		
3	4	学校木製品導入事業	4,504,500	4,500,000				4,500,000	
				0					
				0					
				0					
				0					
				0					
計			11,303,600	10,696,000	0	6,140,000	56,000	4,500,000	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当 額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	明和町は三重県の中南部に位置し、総面積41.04平方キロメートルで、民有林面積は310.97ha、保安林は33.87ha（うち防風保安林は18.90ha）あります。そのうち、マツの面積が210.24haであり、その占める割合は67.6%であり県平均（7.9%）よりかなり高い値です。しかし、松くい虫被害等により森林の持つ公益的機能の低下が懸念されることから、本町においては次に挙げる事業を行う。 「災害に強い森林づくり」の推進として、沿岸沿いの防災林の役割及び景観を保持するため、松林の継続的な保護に取り組み、地域住民等の安心と安全を確保する。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」として小学生を対象に三重県産材の備品に触れていただくことで、森林の大切さや自然環境について考える場を提供する。
事業実施により期待される効果	・ 松林整備により景観が保持される。 ・ 地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により安全も確保される。 ・ 児童らが使用する机・椅子に木製品を導入することで、日常的に木の温もりに触れる機会の創出と県産材の活用促進をはかることができる。 ・ 児童を対象とした木育事業を実施することで、木の温もりに触れてもらい、森林や緑の大切さへの理解を深める。
情報発信への取組	・ 町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税（千円）
1	⑯ その他（木材・普及啓発関係）	1,219	2,104
2	① 意向調査の準備作業	1,199	
3	⑰ 基金積立（木材利用等）	1,000	1,000
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	3,418	3,104

【記載要領】

ア、事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備（財産区有林含む）
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他（森林整備）
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他（人材育成等）
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他（木材・普及啓発関係）
⑰ 基金積立（森林整備等）
⑱ 基金積立（人材育成等）
⑲ 基金積立（木材利用等）
⑳ 基金積立（執行残額等）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	松林整備事業				
事 業 費	6,743,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,140,000		603,000

1. 事業の目的

・町内の沿岸部（川尻～大淀地内）にかけて広がる山林・防風保安林は近年、病虫害（松くい虫）による松林の立ち枯れが発生している。当該地域には毎年多くの観光客が訪れるキャンプ場もふくまれている。交付金の活用によりこの地域の松林整備を実施することで、景観保持や安全の確保を図ると共に、地域住民や観光客の憩いの場を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

当該地域に植生している松林の保全をはかる。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

明和町大淀 地内（2箇所）

明和町川尻 地内（1箇所）

【事業量】

松林整備 地上散布 面積：9.7ha(大淀地内2.7ha 川尻地内7.0ha)、伐倒：40本、樹幹注入：松425本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

- ・松林整備により景観が保持される。
- ・地域住民や観光客の憩いの場としての活用が期待され、整備により風水害対策の強化に繋がる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・町ホームページやポスター等を通して事業内容や森林保全に係る事項、効果等に関する周知を行う。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施時期の適正判断。

伐倒に関しては、松枯れによって伐倒する松が増えていくと、保安林としての役目がなくなってしまうので、それを補うため植林についても検討していく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	松林整備事業				
事 業 費	6,743,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,140,000		603,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

高度な技術と専門知識を有しており、適切な事業実施が見込まれるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	施設利用者、周辺住民、周辺児童等(約35,000人)
期待する波及効果	豊かな景観を形成することで施設利用者の増加が期待できる

【公的関与の必要性】

保安林であり、専門的知識を有する機関との連携を取りながら整備していく必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

保安林や地区保全森林であるため、適切に整備されており、転用の恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	
ポスター掲示	実施後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

沿岸部はキャンプ場や海水浴客の利用が特に多いため、松枯れを防ぐことで、沿岸部の景観及び防災林の機能維持の一助となっている。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町
------	-----------------	-----	-----

事業名	松林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
地上散布	薬剤散布	ha	9.70	968,000	968,000	税込
樹幹注入・伐倒	樹幹注入、伐倒、搬出等	式	1.00	5,775,000	5,775,000	税込
		合計			6,743,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松林整備事業
-----	--------

7 の (1) . 写真



写真1

薬剤散布状況



写真2

薬剤散布状況



写真3

伐倒状況



写真4

樹幹注入薬材



写真5

樹幹注入状況



写真6

樹幹注入後

みえ森と緑の県民税について

更新日：2023年05月30日

「みえ森と緑の県民税」とは？

三重県では「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日から「みえ森と緑の県民税」をスタートしました。

町では県民税を活用して、災害に強い森林づくりのほか、子どもたちに森林の大切さを学んでもらう森林環境教育（木育）や、県産材を活用した木質構造物等の整備に役立てていきます。

みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

「みえ森と緑の県民税」の使い道

町では、三重県から交付される「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用して様々な事業に取り組んでいます。

令和4年度事業実績例



松林にて薬剤散布の様子



木育授業の様子（下御糸小学校）

この記事に関するお問い合わせ先

産業振興課 農水商工係
〒515-0332 明和町大字馬之上945番地
電話番号：0596-52-7118
ファックス：0596-52-7136

[お問い合わせはこちらから](#)



令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名					
2	木育事業					
事 業 費	56,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			56,000		100	

1. 事業の目的

・森づくりサポートセンター等の専門機関に講師派遣を依頼し、町内の小学校で木育事業を実施する。地域の森林に直接に触れ合うことで、森林の役割と大切さを学んでもらう。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内小学校 1 校に体験型学習として森林に関する木育授業を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

町内の対象小学校 1 校

【事業量】

授業 1 回分（講師料・諸経費等）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

・森林について学ぶことで、森や緑の環境を思いやる心を育む。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

・本事業と併せて、学校木製備品購入事業を実施し、事業の相乗効果が期待できる。

【新たな対策・視点及び改善点】

・本事業はモデル的な取組みであることから、今後他校への水平展開等を検討していく必要がある。

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	木育事業				
事 業 費	56,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			56,000		100

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
その他	活動団体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

委託先 : みえ森づくりサポートセンター

選定理由: 森林教育活動において必要な知識と経験を有し、県内での活動実績も豊富であるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童、保護者、教育関係者(約400人)
期待する波及効果	児童をはじめ保護者や教育関係者など幅広い世代に木の良さを感じてもらう。

【公的関与の必要性】

町が管理する公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

—

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	取組内容について町HP等に掲載。
アンケート実施	実施後	授業後に生徒へアンケートを実施する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

子どもたちにアンケートを実施したところ、森林の機能の多様性に驚いたといった意見や、アクセサリ作りが楽しかったなど大変好意的な声が多く聞かれた。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	明和町
------	-------------	-----	-----

事業名	木育事業
-----	------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
指導・準備費		式	1.00	51,000	56,100	税込
		合計			56,100	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	新規
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	木育事業
-----	------

7の(1). 写真



写真1

木育事業状況



写真2

木育事業状況



写真3

木育事業状況

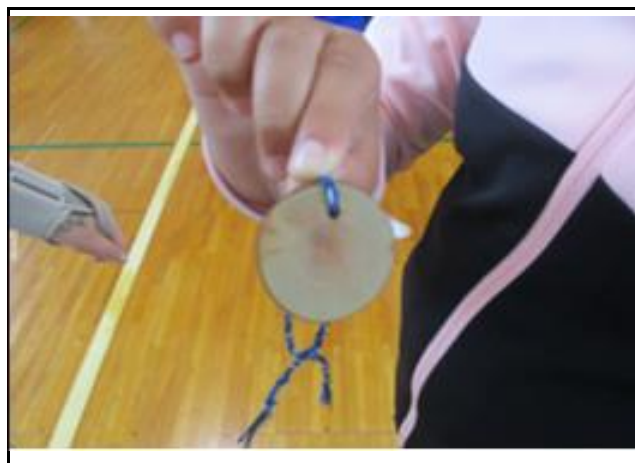


写真4

作成した木製アクセサリー

写真5

写真6

写真5

写真6

下御糸小学校3・4年生 森林の学習 アンケート結果

3年生:13人

4年生:13人

1. 今回の学習についてどう思いましたか？(1つに○)

回答	3年生	4年生
森林・木のことにについてよく分かった	3	5
難しいところもあったが楽しかった	9	8
よく分からなかった	1	0

2. どの学習が興味を持ちましたか？(1つに○)

回答	3年生	4年生
森の先生の話	1	0
丸太を切るところを見たこと	7	6
キーホルダー作りで木に触れたこと	5	7

3. 今回の学習をしてどう思いましたか？(1つに○)

回答	3年生	4年生
もっとしたいと思った	7	11
あっという間に終わった	5	2
つまらなかった	1	0

4. 印象に残っていることはなんですか？(あてはまることにいくつでも○)

回答	3年生	4年生
三重の木	4	5
はらい川	7	3
森は水を蓄える	5	6
森はきれいな空気をつくる	4	6
間伐は大切	4	3
林業の道具	7	6
森のはたらきは大切	7	8
体験	9	8
木をたくさん使う	4	6
自然・木に感謝する	12	11

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	学校木製備品購入事業				
事 業 費	4,504,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		4,500

1. 事業の目的

・三重県産材の小学校備品（机・椅子）を購入し、普段の学校生活において使用する中で、児童に木の温もりを感じてもらい、森林への理解・関心と大切にすることを育む。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内小学校の新入生へ、三重県産木材を使用した学校備品（机・椅子）を購入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

明和町

【実施個所及び箇所数】

町内の対象小学校 3 校

【事業量】

木製机・椅子 117組

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

・日常的に利用する机・椅子に県産材を利用することで、木質の良さと温かさを実感してもらう。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

- ・従来品を改良（天板や座面を木質化）し、軽量化や耐久性の強化を図り、児童が使いやすいように工夫している。
- ・本事業と併せて、木育事業を実施することで、より事業効果を高める取組をおこなっている。

【新たな対策・視点及び改善点】

・実際に使用する現場（小学校）の利用状況を確認し、今後の検討材料としていく。

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	学校木製備品購入事業				
事 業 費	4,504,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,500,000		4,500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

入札の結果により選定

【主な経費内訳】
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	児童、保護者、教育関係者(約400人)
期待する波及効果	児童をはじめ保護者や教育関係者など幅広い世代に木の良さを感じてもらう。

【公的関与の必要性】

町が管理する公共施設であるため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

町が管理しており、転用の恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	取組内容について町HP等に掲載。
ロゴマーク掲示	実施後	導入する机・椅子に焼き印等でロゴマークを印字する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

新入生の子どもたちは、きれいな自分の机に喜んでいました。また、木製机の改良により、以前より軽く使いやすくなり、喜んでもらえた。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町
------	-------------------	-----	-----

事業名	学校木製備品購入事業
-----	------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木質備品	机・椅子	組	117.00	35,000	4,504,500	税込
		合計			4,504,500	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	明和町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	学校木製備品購入事業
-----	------------

7 の（1）. 写真



写真1

机・椅子



写真2

机・椅子



写真3

刻印（椅子背面）

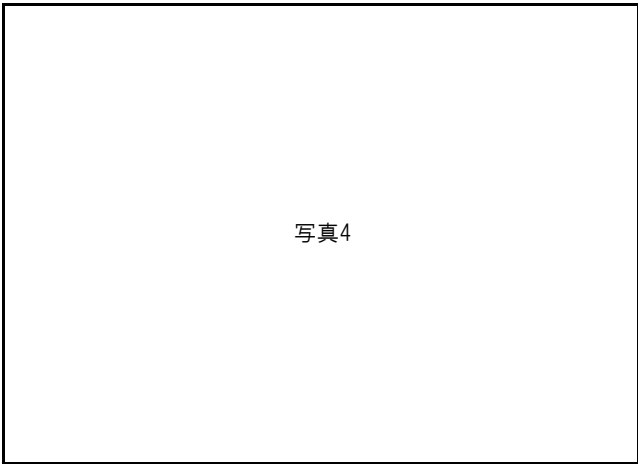


写真4

写真4

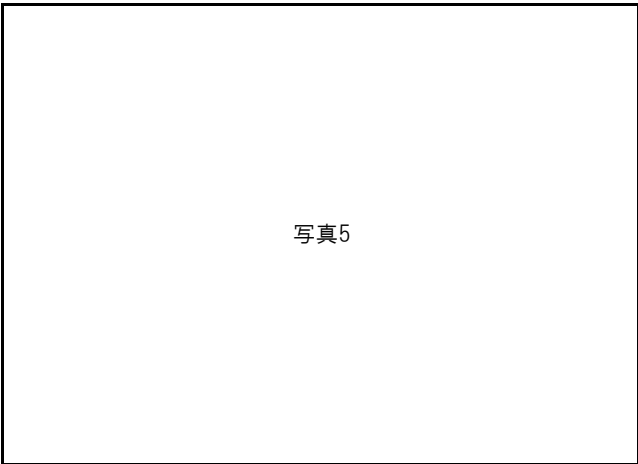


写真5

写真5



写真6

写真6

大台町

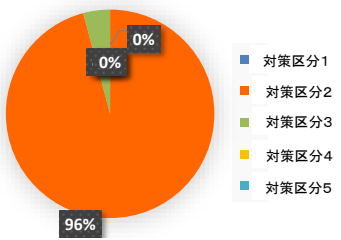
令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

市町名	大台町	三重県
人口（人）	8,975	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	9.8%	12.4%
森林面積(ha)	33,760.45	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	27,941.63	348,833.49
森林率(%)	93.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3		10.1

- ＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合
＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）
＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						基金積立
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	
1	2	災害からライフラインを守る事前伐採事業	17,972,373	4,495,000		4,495,000				
2	2	集落周辺等危険木伐採事業	11,000,000	10,606,400		10,606,400				
3	3	森林環境教育事業	655,600	655,600			655,600			
				0						
				0						
				0						
				0						
				0						
計			29,627,973	15,757,000	0	15,101,400	655,600	0	0	0

3. 令和 3 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額 (円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	60.99ha	49,198,600	47,686,000	災害緩衝林事業の周囲の間伐
森林再生力強化対策事業	4164m	2,714,109	2,714,000	獣害防護施設設置に対する補助
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.55ha	17,972,373	4,491,000	ライフラインを寸断する恐れがある樹木の事前伐採

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
大台町の総面積は362.86km2であり、その90%以上が山林を占め、県内の町では、最大級の規模を有しています。その大部分が伐採適齢期を迎える中、木材価格の低迷や林業の担い手不足、森林への意識低下等により施業放置される森林が増加しています。そのため、みえ森と緑の県民税を活用し、「災害に強い森林づくり」の防災減災対策の事業として、道路沿いに設置されたライフライン（電線）を風倒被害から守るための事前伐採、集落周辺や人家等への風倒被害を未然に防ぎ、住民の安全・安心を確保するため、危険木の伐採や人工林を帯状に間伐する事業を実施します。また、「県民全体で森林を支える社会づくり」の事業とし、森林利用について学ぶ機会を提供し、今後の森林林業の担い手となるきっかけとして、地元の高校生を対象に森林や林産物などを学習する場を提供します。
事業実施により期待される効果
災害からライフラインを守る事前伐採事業については、三重県、電力会社との共同の取組として実施。また、集落周辺等危険木伐採事業については、地元区長からの要望等の聞き取りにより実施するなど、各関係機関と連携を図りながら実施することにより、地域住民の安全・安心の確保につながった。 森林環境教育事業については、農林業を専攻する高校生を対象として実施したことにより、大台町の森林や林産物への関心や理解を深めることができたと好評を得た。
情報発信への取組
災害からライフラインを守る事前伐採事業については、広報紙および、町ホームページにより、県民税を活用した事業の趣旨等の情報発信を行った。環境学習については高校生に対して県民税の趣旨説明、その他の事業についても施工中ののぼり旗等の設置や広報紙、町ホームページによる情報発信を行った。

第 11 号様式 (その 1) (参考資料)

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	1,095	1,095
2	① 意向調査の準備作業	36,380	36,380
3	③ 私有林整備	6,669	6,669
4	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	1,085	1,085
5	⑮ 森林・林業・木材普及活動等	596	596
6	⑨ 林業就業者の育成	382	382
7	⑥ 林道・林専道の整備等	34,000	17,000
8	⑰ 基金積立 (森林整備等)	22,185	22,185
9			
10			
	合計	102,392	85,392

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	17,972,373 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,495,000		13,477,373

1. 事業の目的					
台風倒木被害による停電の長期化といった問題を受け、ライフラインの保全が喫緊の課題となっている。これまでも中部電力パワーグリッド(株)が事前伐採に向け取組は行ってきたが、民間企業単独では地元調整等が課題となり、対策が進まない状況にある。防災・減災対策としての森づくりを、三重県、電力会社、町の三者で連携し実施する。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行う。 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 伐採施工：宮川森林組合、伐採調査 (1 号箇所)：宮川森林組合、伐採調査 (2 号箇所)：宮川森林組合、植栽施工：宮川森林組合 【実施箇所及び箇所数】 伐採施工：2箇所 (桧原地内) 伐採調査：2 箇所 1 号箇所 (桧原地内) 2 号箇所 (下楠地内) 植栽施工：1 箇所 (岩井地内) 【事業量】 伐採施工 (A=0.55ha、N=679本) 伐採調査 (1 号箇所：A=0.43ha、N=542本) (2 号箇所：A=0.20ha、N=199本) 植栽施工 (A=1,248㎡、N=781本)					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 台風などの倒木による停電や交通障害等による被害への懸念が解消された。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡める。 【新たな対策・視点及び改善点】 順調に推進している。					

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	17,972,373 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,495,000		13,477,373

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

道路沿いの森林伐採は特殊伐採であり、実績のある認定林業事業体による請負を選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	大杉地区の世帯数（105世帯）、人口（187人）（R4.3末時点）
期待する波及効果	町民にたいして森林整備の必要性の理解が広がる

【公的関与の必要性】

事業実施箇所は、幹線道路の電線沿いの森林であり、電力会社等による事前伐採の取組は行われてきたが、伐採の法的制限や地元調整等が課題となる。風倒被害による停電や交通障害を未然に防ぐため、防災・減災の取組として公的機関の関与は必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

所有者が適切に管理を行うが、今後ライフラインへの影響を配慮し植栽を行い森林管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	施工時に看板にて表記（第11号様式（その2）参照）
のぼり設置	実施中	施工時にのぼり旗を設置（第11号様式（その2）参照）
HP掲載	今後	町HPにて掲載
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

所有する森林が倒木するとライフラインの寸断といった悪影響が広範囲に及ぶため危険木を除去できよかったと話していた。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳 (精算額)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採施工		本	679.00	-	13,016,300	A=0.55a、N=679本
立木補償	1号箇所	本	235.00	-	417,536	N=235本
	2号箇所	本	444.00	-	806,237	N=444本
伐採調査	1号箇所	本	452.00	-	178,200	A=0.43ha、N=542本
伐採調査	2号箇所	本	199.00	-	107,800	A=0.2ha、N=199本
植栽		ha	0.10	-	3,446,300	
		合計			17,972,373	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の (1) . 写真



写真1

・ 伐採前状況 (1号箇所)。



写真2

・ 伐採前状況 (2号箇所)



写真3

・ 伐採作業状況 (1号箇所)



写真4

・ 伐採作業状況 (2号箇所)



写真5

・ 伐採完了状況 (1号箇所)。



写真6

・ 伐採完了状況 (2号箇所)。

21世紀 心のバリアフリーを

～子どもの人権110番～

おおいちやうやくばちやうみんふくしか
大台町役場町民福祉課

「いじめ」や体罰、不登校や親による虐待といった、子どもをめぐる人権問題は周囲の目につきにくいところで発生していることが多く、また被害者である子ども自身も、その被害を外部に訴えるだけの力が未完成であつたり、身近に相談できる人がいかなかったりする場合が少なくありません。「子どもの人権110番」は、このような子どもの発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用相談電話であり、子どもだけでなく、大人もご利用可能です。電話は、最寄りの法務局・地方法務局につながり、相談は、法務局職員または人権擁護委員がお受けします。相談は無料。秘密は厳守します。

【担当】…大台町人権教育研究協議会

～子どもの人権110番～

0120-007-110

(全国共通フリーダイヤル)

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

「みえ森と緑の県民税を活用した事業の取組について」

みえ森と緑の県民税を活用して、令和3年度に以下の事業を実施しました。

災害からライフラインを守る事前伐採事業
(岩井地内)



災害からライフラインを守る事前伐採事業

台風などの風倒被害により電線が寸断されることを未然に防止するため、三重県、中部電力パワーグリッド株式会社、大台町の3者で協定を締結し、岩井地内で電線沿いの森林の伐採を行いました。

集落周辺等危険木伐採事業

集落周辺や人家裏等の森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため、滝谷、大井、神滝、小滝、本田木屋、弥起井地内で間伐と危険木の伐採を行いました。

森林環境教育事業

昂学園高校の生徒（環境技術系列）が森林環境教育事業の一環として、森林利用について学習するため、宮川森林組合の指導のもと、町有林内でキノコ栽培に取り組みました。

問い合わせ
役場森林課

☎ 0598-76-1714

森林環境教育事業（菌地内）



災害からライフラインを守る事前伐採事業

更新日：2022年05月23日

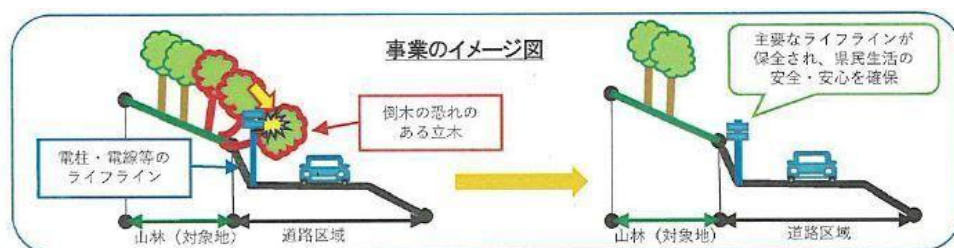
災害からライフラインを守る事前伐採事業

目的

台風などの風倒被害による停電の長期化といった問題を受け、ライフラインの保全が喫緊の課題となっています。このため、防災・減災対策としての森づくりを進めることを目的にライフラインを寸断する恐れのある樹木の事前伐採を進めていきます。

大台町では、令和2年4月14日に三重県、中部電力パワーグリッド株式会社の3者で協定を締結し、相互が連携しながら事業を進めています。

事業概要



事業年度

令和2年度

令和3年度

森林整備箇所（令和2年度）

（施業前）大台町岩井地内



（施業後）大台町岩井地内



(施業前) 大台町滝谷地内



(施業後) 大台町滝谷地内



森林整備箇所（令和3年度）

（施業前）大台町岩井地内



（施業後）大台町岩井地内



(施業前) 大台町岩井地内





この記事に関するお問い合わせ先



宮川総合支所 森林課
〒519-2592
三重県多気郡大台町江馬316番地
電話:0598-76-1714
ファックス:0598-76-0906
[お問い合わせフォーム](#)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	集落周辺等危険木伐採事業				
事 業 費	11,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			10,606,400		393,600

1. 事業の目的

集落周辺や人家裏等に位置する森林の公益的機能を高め、災害に強い森林づくりを行うため危険木の伐採を実施し、地域住民の安全・安心を確保する。人家裏等に位置する森林は、家屋等に近いなどの理由から伐採経費が高額となる場合が多いため、認定林業事業体等に森林整備が進んでいない箇所が多い。近年では各地で起こる台風被害等もあり、当町でも里山には人工林が多いため被害が懸念されることから、大台町が事業主体となり実施する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

間伐、危険木伐採の森林整備

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

大台町

【実施箇所及び箇所数】

森林整備：1 地区 (長ヶ)

【事業量】

森林整備：間伐A=7.94ha、危険木伐採N=620本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

集落周辺等の間伐、危険木伐採を実施したことで、地域住民の安全・安心が確保された。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域住民に対して実施状況を周知することで、取組の有効性を伝え、事業を拡める。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	集落周辺等危険木伐採事業				
事 業 費	11,000,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			10,606,400		393,600

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林調査業務に精通しており、特殊伐採技術を有している認定林業事業体から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	大台町の世帯数（4,050世帯）人口（8,654人）（R4.3末時点）
期待する波及効果	町民に対して森林整備の必要性の理解が広がる

【公的関与の必要性】

事業実施箇所は人家裏等であり、台風等による人家への倒木被害を未然に防ぐ、防災対策の取組として町が主体となり実施する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

事業の趣旨について、十分説明を行い、森林所有者が今後の適切な森林管理を行っていくように指導していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施後	町HPにて掲載
広報誌掲載	今後	町広報誌にて掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

台風時に人家に隣接した危険木の倒木の心配をしなくてよくなった。所有者も伐採しづらい人家裏の危険木を除去できて安心したと話していた。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町
事業名	集落周辺等危険木伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳（精算額）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
伐採施工		式	1.00	-	11,000,000	A=7.94ha、N=620本
		合計			11,000,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	集落周辺等危険木伐採事業
-----	--------------

7 の（１）．写真



写真1

・ 危険木伐採前状況。



写真2

・ 危険木伐採前状況。



写真3

・ 危険木伐採状況。



写真4

・ 危険木伐採状況。



写真5

・ 危険木伐採完了状況。



写真6

・ 危険木伐採完了状況。

集落周辺等危険木伐採事業

更新日：2022年05月23日

目的・事業概要

集落周辺等の森林は、伐採費用が高額になる場合が多いため、森林整備が進んでいない箇所が多く見られます。防災減災対策として集落周辺等の危険木の伐採、間伐を行います。

事業年度

令和2年度

令和3年度

森林整備箇所の状況（令和2年度）

（施工前）大台町清水地内



（施工後）大台町清水地内



森林整備箇所の状況（令和3年度）

（施工前）大台町本田木屋地内



（施工後）大台町本田木屋地内



この記事に関するお問い合わせ先



宮川総合支所 森林課
〒519-2592
三重県多気郡大台町江馬316番地
電話:0598-76-1714
ファックス:0598-76-0906
[お問い合わせフォーム](#)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林環境教育事業				
事 業 費	655,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			655,600		

1. 事業の目的

森林空間の利活用から、森林とふれあう機会を創設し、森林利用について学ぶ機会を提供するため、地元の昂学園高校の生徒と共同し、キノコ栽培を通じた学びの機会を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

植付から収穫までの栽培体験の実施と、経過観察、林地毎の収量等の比較を行い報告書として纏める。森林空間を利用した収穫体験イベントや林産物など利活用についても昂学園生徒と共に検討を図る。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

宮川森林組合

【実施箇所及び箇所数】

実施箇所：5 箇所 (藺、茂原、栗谷、唐櫃、久豆地内)

【事業量】

原木：160本、菌床：32個、駒菌：2,500個

現地学習：2 回 (令和4年9月26日、令和5年2月6日実施)、内容：原木の本伏せ作業、菌打ち作業

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

参加した高校生は主に農林業を専攻している生徒であることから、本事業により森林林業や林産物に対する理解をより深め、森林への関心が高まった。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

現地学習を取り入れることにより、森林林業や林産物への関心を持ってもらえるように促進した。

【新たな対策・視点及び改善点】

コロナ渦での事業実施に伴う感染症対策の徹底した実施、及び林産物の利活用に向けた生産性向上の検討が必要。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	森林環境教育事業				
事 業 費	655,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			655,600		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

森林環境教育の実績があり、キノコ栽培に関して技術、知識、経験を有する事業体を選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	昂学園高校の生徒（10名）及び教職員（3名）
期待する波及効果	販売体験等を通じて買物客への波及を期待

【公的関与の必要性】

大台町は町内唯一の高校である昂学園高校を支援していく方針であり、農林業を専攻する生徒への学習の場を提供することは重要な対策であるため、公的機関として関与することは必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

昂学園高校が適切に管理しており、転用の恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	現地学習時にのぼり旗を設置（第 1 1 号様式（その 2）参照）
HP掲載	今後	町HPに掲載
広報誌掲載	今後	町広報誌に掲載

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

担当教員から「生徒に身近な森林を学習できる貴重な体験となりこれからも続けていきたい」

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町
------	-------------	-----	-----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳 (精算設計額)

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
種 菌	マイタケ菌床：30個、シイタケ駒菌：1,400個、ナメコ駒菌：800個、ヒラタケ駒菌：400個、アラゲキクラゲ駒菌：1,200個、クリタケ駒菌：1,200個	式	1.00	21,395	21,395	
資材	遮光ネット (2m×20m)	式	1.00	31,211	31,211	
原木準備		式	1.00	84,596	84,596	
現地作業		式	1.00	321,466	321,466	
諸経費		式	1.00	137,332	137,332	
直接工事費		式	1.00	596,000	596,000	
消費税		式	1.00	59,600	59,600	
		合計			655,600	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	大台町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

・原木の本伏せ作業説明状況。



写真2

・原木の本伏せ作業状況。



写真3

・菌打ち作業等説明状況。



写真4

・菌打ち作業状況。



写真5

・菌床ブロック埋設作業状況。



写真6

菌打ち作業完成状況。

森林利用林産物開発支援事業

更新日：2022年05月23日

森林利用林産物開発支援事業

目的・事業概要

森林環境教育事業として、森林とふれあう機会を創設し、森林利用について学ぶ機会を提供するため、地元の昂学園高校の生徒と共同でキノコ栽培を実施しました。

事業年度

令和2年度

令和3年度

栽培状況（令和2年度）

（菌打ち状況）大台町園地内



（集合写真）大台町園地内



栽培状況（令和3年度）

（伏せ作業）大台町園地内



（埋設作業）大台町園地内



この記事に関するお問い合わせ先



宮川総合支所 森林課
〒519-2592
三重県多気郡大台町江馬316番地
電話:0598-76-1714
ファックス:0598-76-0906
[お問い合わせフォーム](#)

伊勢市

令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

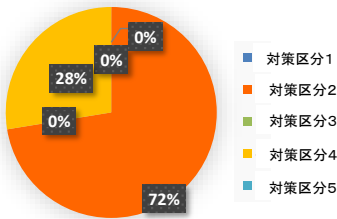
市町名	伊勢市	三重県
人口（人）	122,580	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	11.4%	12.4%
森林面積(ha)	10,956.43	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	10,956.43	348,833.49
森林率(%)	53.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	9.2	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	森林整備事業	12,776,500	12,776,000		12,776,000			
2	2	危険木伐採事業	15,396,700	15,040,000		15,040,000			
3	4	二見地区統合園整備事業	10,584,200	10,584,000				10,584,000	
				0					
				0					
				0					
				0					
計			38,757,400	38,400,000	0	27,816,000	0	10,584,000	0

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
伊勢市は伊勢平野の南部に位置し、伊勢志摩国立公園の玄関口にもあたる都市であり、自然風景にも恵まれています。 本市の森林率は約53%で、総面積のおよそ半数を占めているが、近年の木材価格の低迷による採算性の低下、林業従事者の減少や後継者不足、所有者の高齢化などにより、適正な施業が行われていない森林が増加している。しかし、地球温暖化防止対策として、森林に対する市民の意識・価値観が多様化し林業生産活動のみならず、森林の有する公益的機能が求められていることから、健全で活力のある森林資源の造成を行うことが重要な課題となっている。 このことを踏まえ、みえ森と緑の県民税市町交付金を活用し、海岸林の保全、公共施設等への県産材利用を促進していき、多くの市民が恩恵を受けられる環境を目指します。また、森や緑の大切さを学ぶ機会を設け、県民全体で森林を支える社会づくりを推進していきます。
事業実施により期待される効果
①病害虫被害を最小限にとどめることにより、防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による住民への被害防止を図ることが出来た。 ②校庭及び公園に生い茂った危険木の伐採を行うことにより、児童生徒、地域住民に安心・安全な環境の提供を図ることが出来た。 ③県産材を使用することで、森林資源の活用と木に触れる機会を作り出すことが出来た。
情報発信への取組
①施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にのぼり旗の設置、訪れた人が目に付く場所に県民税のPR看板を設置して情報発信に努めている。 ②施行前に地元自治会を通じて案内チラシを回覧することで、地元への周知を図っている。また、施行期間中は現地にのぼり旗の設置を行い、情報発信に努めている。 ③保育物品には県民税ロゴのプレートを作成することで、県民税を用いて製作したものであることを明示した。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	3,945	3,945
2	経営管理権集積計画作成	1,760	1,760
3	⑰ 基金積立（森林整備等）	29,038	29,038
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	34,743	34,743

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2．暮らしに身近な森林づくり			市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
1	森林整備事業						
事 業 費	12,776,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			12,776,000	0	500		

1. 事業の目的

伊勢市の沿岸部にある防風林は、近年の病虫害被害により枯松が激増し、保安林としての機能が低下している。このまま放置すると倒木被害の心配もあることから、当該交付金を活用して病虫害被害を未然に防止し、地域住民や観光客の安全を図る。

また、以前新たに植樹した松の苗木が育ち、密集状態となっている二見町今一色の防風林の間伐、及び下刈を行うことで、森林機能の公益的な向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

沿岸部に植生した松の病虫害被害を防止するため、地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を行う。

また、密集している防風林の間伐、及び下刈を行う。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

伊勢市

【実施箇所及び箇所数】

8箇所 (二見町茶屋、二見町荘、二見町西、二見町今一色、村松町、有滝町、東豊浜町、東大淀町) 市有林

※一部自治会管理の私有林あり

【事業量】

地上散布 6.73ha、 樹幹注入 1,471本、 伐倒破碎 24m³、 間伐 345本、伐採 1本、下刈 5.6ha

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

観光名所である二見海岸林及び防風林の役割を担っている海岸林の景観保全及び倒木による地元住民、観光客への被害防止。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地上散布、樹幹注入、伐倒破碎を一連で施工することにより、病虫害被害を最小限に留めるよう工夫した。

【新たな対策・視点及び改善点】

密集状態となっている部分の間伐、及び松の下刈を実施し、防風林の積極的な機能維持を図った。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林整備事業				
事 業 費	12,776,500 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			12,776,000	0	500

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	付近住民：3,417世帯 7,842人 (R4.3) 観光客：1,224,670人(R3年度)
期待する波及効果	観光客数の低下防止、倒木被害の防止

【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

管理は市で行うが、無断伐採や不法投棄がないよう、地域住民と協力しあって監視体制を強化していきたい。
なお、転用は想定されない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	施行前に地元自治体へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図る。
施工看板に掲示	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。
のぼり設置	実施前・中	施行前、施工中は県民税のPR看板とのぼりを設置してPRを実施。
HP掲載	実施後	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を財源とした事業であることのPR。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

伐倒破碎、地上散布等を行うことで、倒木被害の防止、害虫の駆除を行うことができ、観光客等の安全を守ることが出来た。

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
------	----------------	-----	-----

事業名	森林整備事業
-----	--------

4. 効率性：主な経費内訳

作業内容	単位	数量	単価	金額	備考
松くい虫防除(地上散布)業務委託	式	1		689,700	業務委託料
松くい虫防除(樹幹注入)業務委託	式	1		4,646,400	業務委託料
松くい虫防除(伐倒破碎)業務委託	式	1		964,700	業務委託料
松林間伐業務委託	式	1		2,636,700	業務委託料
保安林下刈業務委託	式	1		3,839,000	業務委託料
事業費				12,776,500	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
地上散布 6.73ha(2回)	薬剤購入費	ha	6.73	31,574	212,493	
	薬剤運搬費	回	2	12,438	24,876	
	薬剤調合費	ha	6.73	6,590	44,350	
	散布作業	ha	6.73	42,840	288,313	
	事務雑費	式	1		57,016	
	消費税	式	1		62,652	
	計				689,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
樹幹注入 対象樹木283本 アンブル数 1,471本	薬剤費	本	1,471	2,373	3,490,683	
	薬剤注入費	本	1,471	416	611,936	
	事務雑費	式	1		121,476	
	消費税	式	1		422,305	
	計				4,646,400	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
伐倒破碎 24.3m3	伐倒費	m3	24.3	11,819	287,201	
	搬出費	m3	16.2	8,960	145,152	
	枝条等集積・搬出費	m3	8.1	19,062	154,402	
	運搬費	式	1		82,311	
	仮設費	式	1		85,453	トラッククレーン等
	事務雑費	式	1		122,524	
	消費税	式	1		87,657	
	計				964,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
間伐 保育間伐 345本 伐採1本	保育間伐	本	345	3,069	1,058,805	
	間伐木搬出	m3	8.0	8,296	66,368	
	運搬費	回	5	12,347	61,735	
	伐採	本	1	17,846	17,846	
	伐採木搬出	m3	2.0	8,296	16,592	
	運搬費	回	1	12,347	12,347	
	仮設費	式	1		45,591	トラッククレーン等
	共通仮設費	式	1		68,524	
	現場管理費	式	1		574,114	
	一般管理費	式	1		475,111	
	消費税	式	1		239,667	
	計				2,636,700	

作業内容	名称	単位	数量	単価	金額	備考
下刈 5.6ha	下刈業務(東豊浜)	ha	3.7	374,864	1,386,997	
	消費税(東豊浜)	式	1	138,700	138,700	
	下刈業務(二見)	ha	1.9	1,106,842	2,103,000	
	消費税(二見)	式	1	210,300	210,300	
	計				3,838,997	

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(地上散布)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

材料確認



写真2

薬剤調合



写真3

散布状況(村松)



写真4

散布状況(東大淀)



写真5

散布状況(二見町西・二見町今一色)



写真6

空袋検収

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(樹幹注入)
-----	--------------

7の(1). 写真



写真1

材料検収



写真2

せん孔状況



写真3

薬剤注入状況

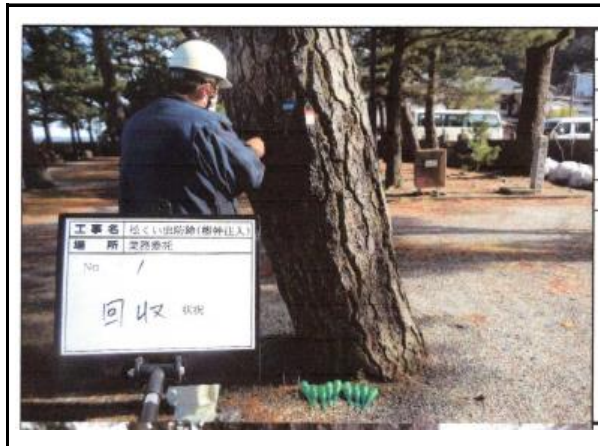


写真4

注入材回収状況



写真5

空箱検収



写真6

PR状況

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業(伐倒破碎)
-----	--------------

7の(1).写真



写真1

作業前



写真2

作業中



写真3

作業完了



写真4

搬出状況

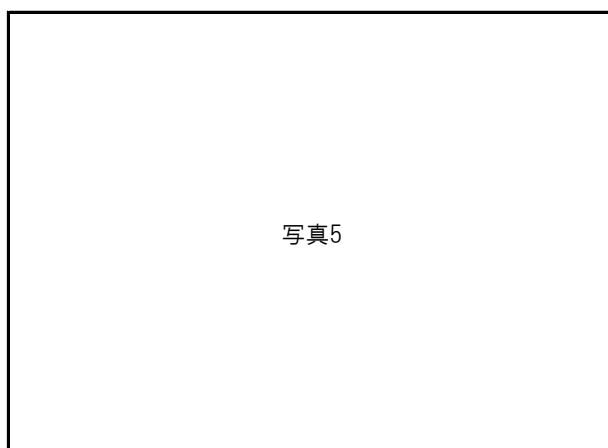


写真5

写真5



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業 (間伐)
-----	-------------

7 の (1) . 写真



写真1

施工前



写真2

施工後



写真3

施工後



写真4

積込状況



写真5

運搬・処分状況

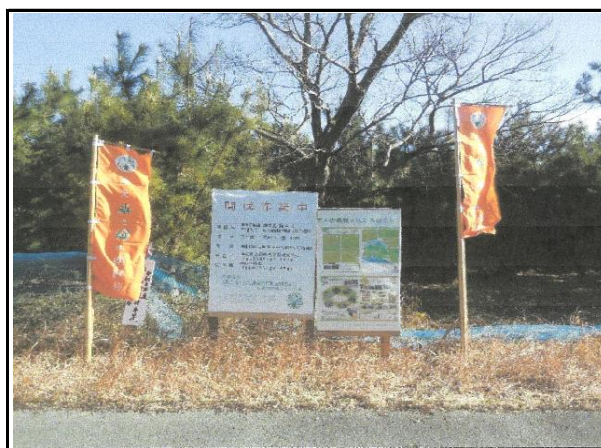


写真6

PR状況

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林整備事業 (下刈)
-----	-------------

7 の (1) . 写真



写真1

作業前



写真2

作業中



写真3

作業後



写真4

P R 状況

写真5

写真6

写真5

写真6

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

ページ番号1003106

更新日（公開日自動表示）

平成26年4月1日に導入された「みえ森と緑の県民税」では、三重県と県内各市町が、「2つの基本方針と5つの対策」に沿って、様々な取り組みを行っています。

この取り組みに対し、三重県から県内各市町に交付される交付金を用いた事業が、「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」です。



令和元年度より新たな制度の下、2つの基本方針と5つの対策に取り組んでいます。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

対策1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり

対策2：暮らしに身近な森林づくり

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

対策3：森を育むひとづくり

対策4：森と人をつなぐ学びの場づくり

対策5：地域の身近な水や緑の環境づくり

※詳細は、三重県のホームページ「三重の森林づくり」でご覧いただけます。

[三重県ホームページ「三重の森林づくり」](#)（外部リンク） ☐

伊勢市の取り組み

令和4年度 対策2：暮らしに身近な森林づくり



薬剤散布の様子①
【二見町西】



薬剤散布の様子②
【村松町】



薬剤散布の様子③
【東大深町】



削孔



注入



穴埋め



枯れ木の状況



伐倒作業



搬出

1. 松くい虫防除（地上散布）業務委託

【施工場所】二見町西地内ほか

【工期】令和4年6月より令和4年8月まで

【事業内容】地上散布 6.73ha

2. 下刈ほか業務委託

【施工場所】東豊浜町地内ほか

【工期】令和4年7月より令和4年11月まで

【事業内容】松林下刈 0.54ha / 枝打ち 131本

3. 松くい虫防除（樹幹注入）業務委託
 【施工場所】二見町茶屋地内ほか
 【工期】令和4年12月より令和5年3月まで
 【事業内容】樹幹注入
 対象樹木 283本、アンブル数1,471本
4. 松くい虫防除（伐倒破砕）業務委託
 【施工場所】東大淀町地内ほか
 【工期】令和4年12月より令和5年3月まで
 【事業内容】伐倒破砕 24.3㎡
5. 松林間伐業務委託
 【施工場所】二見町今一色地内
 【工期】令和4年12月より令和5年3月まで
 【事業内容】保育間伐 345本

伊勢市の沿岸部には、防風林として松林が広がっています。近年、病虫害被害により枯れ松が激増し、倒木被害が心配されてきました。このことから、「みえ森と緑の県民税」を活用し、病虫害被害を未然に防ぎ、防風林の機能維持を図ることを目的に事業を実施しました。なお、この事業は毎年継続して実施しています。

令和4年度 対策2：暮らしに身近な森林づくり



6. 危険木伐採事業
 【場所】市内小中学校、公園ほか

市内の学校、公園にある危険木の伐採を行うことで、児童生徒及び地域住民に安心、安全な環境を提供することを目的に事業を実施しました。

令和4年度 対策4：森と人をつなぐ学びの場づくり



7. ふたみ保育園

【場所】伊勢市二見町光の街907-7

【内容】三重県産木材を使用した家具、備品の導入

二見地区の保育園を統合して令和5年4月に開園した「ふたみ保育園」において、みえ森と緑の県民税を活用し三重県産木材を用いた家具、備品を導入しました。園児の木育推進のほか、保護者の方にも木材を身近に感じていただくことができるよう、下駄箱や絵本棚といった送迎の際に目に触れる部分について木製家具を採用しています。

また、そのデザインにあたっては、三重県立伊勢工業高校の生徒の皆様ならびに地域の家具職人の皆様に協力いただき、二見地区ならではのカエルをモチーフにしたポストの製作など、親しみや愛着が感じられるよう工夫しています。

[令和3年度以前の取り組み \(PDF\)\(2.1MB\)](#) 

このページに関するお問い合わせ**農林水産課**

〒516-8601

三重県伊勢市岩渕1丁目7番29号

東館3階

電話：0596-21-5644

ファクス：0596-21-5651

[農林水産課へのお問い合わせは専用フォームをご利用ください。](#)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名					
2	危険木伐採事業					
事 業 費	15,396,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			0	15,040,000	356,700	

1. 事業の目的

市内の学校などにおいて、近年の予想できない自然災害等で倒木の恐れがある危険木の伐採等を行うことにより、児童生徒の安全な学びの場や地域住民に安全・安心な生活環境を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

倒木の恐れがある危険木の伐採等を行い、児童生徒、地域住民に安全・安全な環境の提供を図る。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

伊勢市

【実施箇所及び箇所数】

小俣幼稚園、小俣小学校、倉田山中学校、明野北部公園・新高児童公園等

【事業量】

小俣幼稚園 9本、小俣小学校 20本、倉田山中学校 170m(距離)、明野北部公園・新高児童公園 965本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

学校等において、危険木の伐採などを行い、自然災害等による倒木被害を防ぐことで、児童生徒及び地域住民の安全確保を図ることができる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

様々な場所に残存している危険木を調査し、計画的に伐採等を行っていきたい。

【新たな対策・視点及び改善点】

林業の低迷等により、手入れ不足の森林が増加する中、新たに学校などにおいて、危険木の伐採等に取り組むことで、暮らしに身近な森林づくりを進める。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業				
事 業 費	15,396,700 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			0	15,040,000	356,700

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識と資格が必要なため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	校庭、公園利用者
期待する波及効果	倒木被害の防止による関係施設の安全な利活用

【公的関与の必要性】

地域住民の安心・安全な暮らしを守るために必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

管理は市、園で行うが、無断伐採等がないよう監視体制を強化していきたい。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施前	施行前に地元自治体へ業務の案内チラシを配布し、地域住民に周知を図
のぼり設置	実施前・中	施行前、施行中は県民税ののぼりを設置してPRを実施。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

危険木の伐採等を行ったことで、危険木による被害が減少し、園、及び付近住民から御礼の言葉をいただいている。

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市
事業名	危険木伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
小俣幼稚園樹木剪定業務委託		本	9	174,533	1,570,984	
小俣小学校グラウンド樹木剪定業務委託		本	20	123,530	2,470,787	
倉田山中学校樹木剪定業務委託		m	170	8,508	1,446,547	
明野北部公園ほか公園樹木剪定等業務委託		本	817	9,397	7,677,536	
新高児童公園ほか樹木剪定業務委託		本	148	15,072	2,230,846	
		合計			15,396,700	15,396,700

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

作業前(小俣小学校)



写真2

作業中



写真3

作業中



写真4

作業中



写真5

作業後



写真6

写真6

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

作業前(倉田山中学校)



写真2

作業中



写真3

作業後



写真4

作業前



写真5

作業中



写真6

作業後

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	二見地区統合園整備事業				
事 業 費	10,584,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,020,000	5,564,000	200

1. 事業の目的

令和 5 年度に開園するふたみ保育園において、森林環境教育・木育を推進するため、新築する保育園の園舎内に県産材を使用した備品等を配置し、園児や保護者等施設の利用者が日常的に木材にふれ、木の大切さを学ぶ場を提供する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

園児の木育の推進するため、新たに開園を迎えるふたみ保育園の園児が親しみを持って使用できる家具や下駄箱、保育用品等として、県産材で作成した物品を導入する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

伊勢市

【実施箇所及び箇所数】

ふたみ保育園

【事業量】

(1) 園児用下駄箱 3 台、絵本棚 1 台、整理棚等 13 台、保育用品 17 台

(2) 繋がる椅子一式、カエルのポスト 1 台、クラスプレート 47 枚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

園児が利用する備品や保育用品に県産材を使用することで、森林資源の活用と身近な森林への関心を高め、木に触れる機会を作り出すことが出来た。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

(1) 下駄箱や絵本棚等送迎時に利用する箇所に木材を活用することで、園児だけでなく、保護者も木材物品を身近に体感できる。

(2) 伊勢工業高校建築科の生徒がデザイン・設計を担当し、伊勢の家具職人がアドバイス・製作を行い、伊勢市と三者で協力して製作した。家具に園児の描いたイラストを刻印することや二見カエルをモチーフにした家具にすることで、親しみのある愛着がわく家具になった。園児が完成した家具等の受取りを行うことで、木材にふれ、香り等を楽しむことができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

保育所において事業を実施することで、幼少期から木材に親しむ。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
3	二見地区統合園整備事業				
事 業 費	10,584,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,020,000	5,564,000	200

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	木工製造業者	補助事業ではない		
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 (1) の下駄箱等については、木工製造の経験が豊富で、かつ必要数を期間内に確保できるため、入札により製作する事業者を選定した。 (2) のつながる椅子等については、伊勢工業高校は建築科のある唯一の高校であること、また「伊勢の家具職人」は複数の地元事業者で結成された団体で、高校生のアイデアと地元家具職人の技術を活かすため、伊勢工業高校と伊勢の家具職人、市との三者協定により、家具等を作成した。 【主な経費内訳】 (別紙のとおり)				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	園児および関係者			
期待する波及効果	三重県産材の P R			
【公的関与の必要性】 公立の保育所であり、森林教育を推進するために必要である。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 保育物品については、施設で適切に管理していく。また、公立の保育施設であるため、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
TV（行政チャンネル等）	実施中	製作過程・完成時に取材していただき、PRを行った。（一部の家具のみ）		
回覧板・掲示板	実施中	完成時に掲示板に掲載し、周知を行った。（一部の家具のみ）		
ロゴマーク掲示（シール・プレート）	実施中・後	家具にロゴマーク掲示のプレートを設置し、PRを図る。		
チラシ等配布	実施中・後	園舎の完成式典で県産材の家具等を紹介するパンフレットを配布し、PRを図った。今後、園行事やおたより等でPRを図る。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				
保育所関係者より「木の温かさがあり、とても手触りが良い。」、「つながる椅子は、落ち着くようで、園児が喜んで座っている。」という声をいただいている。				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市
------	-------------------	-----	-----

事業名	二見地区統合園整備事業
-----	-------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
下駄箱	三重県産材使用	台	3	990,000	2,970,000	
絵本棚	三重県産材使用	台	1	825,000	825,000	
ままごとキッチン	三重県産材使用	台	5	189,200	946,000	
ままごとコンロ	三重県産材使用	台	6	157,300	943,800	
ままごとシンク	三重県産材使用	台	6	157,300	943,800	
整理棚	三重県産材使用	台	10	157,300	1,573,000	
引出付棚	三重県産材使用	台	3	162,800	488,400	
繋がる椅子（大 4、中 4、小 4）	三重県産材使用	式	1	710,325	710,325	
カエルのポスト	三重県産材使用	台	1	947,100	947,100	
クラスプレート（47枚）	三重県産材使用	式	1	236,775	236,775	
合計					10,584,200	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	二見地区統合園整備事業
-----	-------------

7 の（1）．写真



写真1

下駄箱



写真2

絵本棚



写真3

ままごとキッチン



写真4

ままごと整理棚



写真5

つながる椅子



写真6

かえるのポスト

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	伊勢市	新規・継続の別	新規
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	二見地区統合園整備事業
-----	-------------

7 の（1）. 写真



写真1

クラスプレート



写真2

写真2

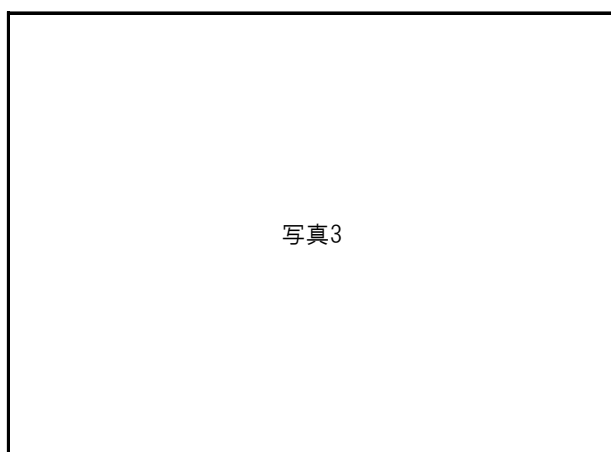


写真3

写真3

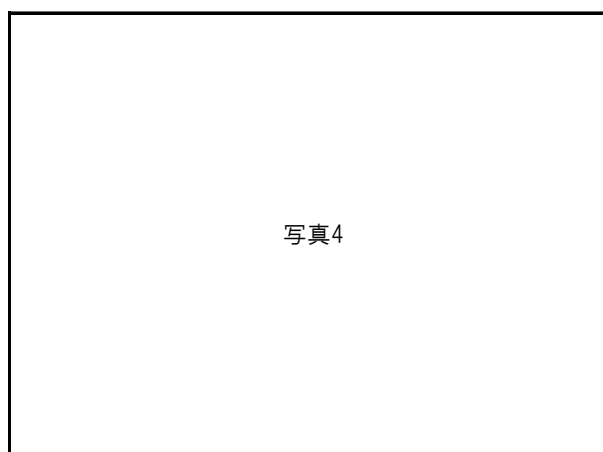


写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

鳥羽市

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和 2 年度版三重県市町要覧による）

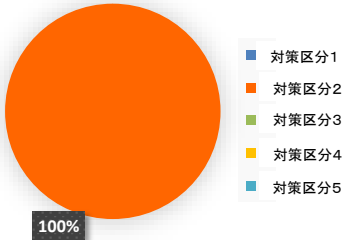
市町名	鳥羽市	三重県
人口（人）	17,617	1,782,190
年少人口割合（％）＊ 1	9.3%	12.4%
森林面積(ha)	7,484.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊ 2	7,484.00	348,833.49
森林率(%)	69.7%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	10.4	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	2	危険木伐採事業	4,563,422	4,563,422		4,563,422			
2	2	危険木伐採事業費補助金事業	3,610,000	3,610,000		3,610,000			
3		基金積立事業	839,578	839,578					839,578
				0					
				0					
				0					
				0					
				0					
計			9,013,000	9,013,000	0	8,173,422	0	0	839,578

3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本市では、人工林率が25％となっており、人工林率が低く、天然率が高いことが特徴である。本市の強みである水産業と森林には密接な関連があり、本市内の森林を整備することで、水源涵養力や土砂流出災害防止などの森林本来の機能を回復させるとともに、森林の土壌に含まれているミネラルなどが川へ流れ込み海に入り、磯焼けの防止や藻場の再生につながり、海産物の育成などにも好影響が生じる。 しかし、本市では急峻な地形であることや林業経営体が減少していることにより、森林整備が進んでおらず、海産物や市民生活に支障をきたす恐れがある立木が多い。そのため、危険木の除去など暮らしに身近な森林の整備をすすめ、市民の生活に支障をきたすことがないようにするとともに、森林の整備を行うことが海の環境改善にもつながる。
事業実施により期待される効果
危険木の伐採を行ったことにより、市民が安心安全な生活を送ることができるようになった。また、危険木伐採（補助金）では、市が施行するまでの間に状況が変化し倒木する可能性がある。補助金事業として町内会が主体となって行うことにより、各町が一番危険と感じている木を最優先でそれぞれ伐採できるため、危険要因を排除できる。 また、伐採木は実施した町内で必要とする人が必要分活用することにより、木がもつぬくもりや利便性を感じてもらえることができた。
情報発信への取組
危険木伐採を実施する前に、対象となる町内会に回覧文書を作成し、周知を図った。また、施行後には町内会・漁協を通じて、伐採木活用意向を聞き取ってもらい、伐採木を引き取ってもらう人に対して周知を行った。 病害虫防除樹幹注入業務委託では、神島町内会と相差町内会では回覧文書を作成し、回覧板等に掲載した。 市ホームページでは、県民税に関するページを作成し、紙ベースではなくインターネットでも実績の周知を図った。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	① 意向調査の準備作業	770	770
2	② 意向調査	2,932	2,932
3	⑩ 専門員の雇用	2,717	2,717
4	⑫ その他（人材育成等）	45	45
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	6,464	6,464

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
1	危険木伐採事業						
事 業 費	4,563,422 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			4,563,422				

1. 事業の目的

町内会から提出された危険木伐採要望箇所の現地確認を行い、より危険であると判定された樹木から伐採を行い、市民の生活に支障をきたす恐れのある木を取り除く。

2. 事業実績概要

【事業内容】

坂手町、桃取町、鳥羽五丁目の3箇所での業務委託を行い、伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市内造園業者

【実施箇所及び箇所数】

坂手町、桃取町、鳥羽五丁目 3箇所

【事業量】

14本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内会・自治会から提出されている伐採要望のため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採できるため、各地区における危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

今までは、危険木伐採を行う際は、根元からの伐採で統一して行っていたが、根元からの伐採だけでなく、枝払い等も施行方法の一つとして取り入れることにより、根系による多面的機能を維持できるように配慮した。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	危険木伐採事業				
事 業 費	4,563,422 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			4,563,422		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	鳥羽市	補助事業ではない	補助額無	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

墓地に飛び出している木の伐採であり、高度な技術を要するため市内の造園業者から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	坂手町、桃取町、鳥羽五丁目に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は所有者自身だけでは対応できない樹木が多く、市が危険木判定を行ったうえで伐採業務を業者へ委託することにより、公平性をもって要望に応えることが可能である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに令和4年度事業量を掲載。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

大雨や台風時の停電や、土砂崩れの恐れが軽減された。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
事業名	危険木伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採		本	1.00	447,480	447,480	鳥羽五丁目
危険木伐採		本	12.00	264,825	3,177,900	桃取町
危険木伐採		本	1.00	396,000	396,000	坂手町
		小計			4,021,380	
		消費税及び地方税相当額			446,820	
		合計			4,468,200	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

鳥羽五丁目 施工前



写真2

鳥羽五丁目 完了



写真3

桃取町 施工前



写真4

桃取町 完了



写真5

坂手町 施工前



写真6

坂手町 完了



工種 : その他 (公害、環境、補償)

測点 : 危険木伐採 A 部

危険木伐採標識旗



工種 : その他 (公害、環境、補償)

測点 : 危険木伐採 B 部

危険木伐採標識旗



工種 : その他 (公害、環境、補償)

測点 : 危険木伐採 B 部

危険木伐採標識旗

みえ森と緑の県民税

いいね！ シェアする ツイート

更新日：2023年04月21日

概要

森林には、私たちが健康で快適な生活を送るために欠かすことのできない大切な働きがあります。しかし、過疎化や林業の担い手不足などにより、手入れが不足した荒廃森林が増加しています。近年のゲリラ豪雨などの異常気象が増加していることも考えると、自然災害発生リスクが高まっている状況です。

本市では、平成26年4月から導入された「みえ森と緑の県民税」を用いて、三重県の森林づくりの2つの方針「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を実現可能な森林づくりを進めていきます。

詳しくは、

[三重の森林づくり（三重県のサイト）](#)

をご覧ください。

鳥羽市の取組

鳥羽市では、みえ森と緑の県民税を活用して、次の事業を実施しました。

[第一期対策（平成26年度から平成30年度）（PDFファイル: 187.3KB）](#)

[第二期対策（令和元年度から令和5年度）（PDFファイル: 120.2KB）](#)

関連リンク

[三重の森林づくり（三重県のサイト）](#)

[みえ森と緑の県民税（三重県のサイト）](#)

この記事に関するお問い合わせ先

農林水産課 農林係
〒517-0011 三重県鳥羽市鳥羽三丁目1番1号
電話番号：0599-25-1230
ファックス：0599-26-2810

[メールフォームによるお問い合わせ](#)



PDFファイルを閲覧するには「Adobe Reader（Acrobat Reader）」が必要です。お持ちでない方は、左記の「Adobe Reader（Acrobat Reader）」ダウンロードボタンをクリックして、ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

みえ森と緑の県民税市町交付金（第2期実施事業）

実施年度	事業名	実施面積等
令和元年度	危険木伐採事業	91本伐採 1066m剪定
令和2年度	危険木伐採事業	7本伐採
令和3年度	危険木伐採事業（委託） 危険木伐採事業（補助金） 森林病虫害防除樹幹注入業務委託	1本伐採 178本伐採 アンプル152本注入
令和4年度	危険木伐採事業（委託） 危険木伐採事業（補助金）	14本伐採 303本伐採

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業費補助金事業				
事 業 費	3,610,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,610,000		

1. 事業の目的

自治会等が実施する危険木の伐採等に対して支援することで、市民の生活に支障をきたす恐れのある木を除去し、地域住民の安全な生活を確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

安楽島町、国崎町、藤之郷、菅島町、さくらが丘自治会、岩倉町、答志和具、相差町の 8 町内会・自治会への補助を行い、伐採を実施した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

町内会・自治会

【実施個所及び箇所数】

安楽島町、国崎町、藤之郷、菅島町、さくらが丘自治会、岩倉町、答志和具、相差町 8 地区

【事業量】

303本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

自治会等が実施するため、それぞれの地区において危険度が高い樹木から伐採でき、各地区においての危険要因を排除でき、市民が安全・安心な日常生活を維持することが可能である。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

補助金においては、各町内会で優先順位をそれぞれ精査してもらい、各地区で伐採を行う必要性が高いものから申請を提出してもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

新たに、自治体等が実施する危険木の伐採等に支援することで、地域住民の安全な生活環境の確保と併せて、地域における森林づくりへの理解や参画を促進する。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業費補助金事業				
事 業 費	3,610,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			3,610,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
補助事業	自治会等	10/10以内	50万円	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町内会長・自治会長から申請があり、優先度の高い箇所から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	安楽島町、国崎町、藤之郷、菅島町、さくらが丘自治会、岩倉町、答志和具、相差町に居住する市民
期待する波及効果	市民だけでなく、観光客などへ被害を防止できる。

【公的関与の必要性】

危険木伐採は地域の負担だけでは対応できない樹木が多く、公的な支援が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

伐採した箇所は、個人や市が適切に管理しているため、転用される恐れはない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づ】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施行箇所の近くに設置し、県民税活用事業であることの周知を図る。
HP掲載	実施後	県民税事業活用ページに令和4年度事業量を掲載。
チラシ等配布	実施前	補助事業の周知を図るために、チラシを各町内会・自治会に配布

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

停電や崩落の恐れが軽減された。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市
事業名	危険木伐採事業費補助金事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採（補助金）	安楽島町内会	本	2.00	250,000	500,000	
危険木伐採（補助金）	国崎町内会	本	10.00	50,000	500,000	
危険木伐採（補助金）	藤之郷町内会	本	1.00	500,000	500,000	
危険木伐採（補助金）	菅島町内会	本	3.00	166,333	499,000	
危険木伐採（補助金）	さくらが丘自治会	本	4.00	49,500	198,000	
危険木伐採（補助金）	岩倉町内会	本	180.00	2,333	420,000	
危険木伐採（補助金）	答志和具町内会	本	3.00	166,333	499,000	
危険木伐採（補助金）	相差町内会	本	100.00	4,940	494,000	
		合計			3,610,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	鳥羽市	新規・継続の別	新規
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業費補助金事業
-----	---------------

7 の (1) . 写真



写真1

安楽島町 施工前



写真2

安楽島町 完了

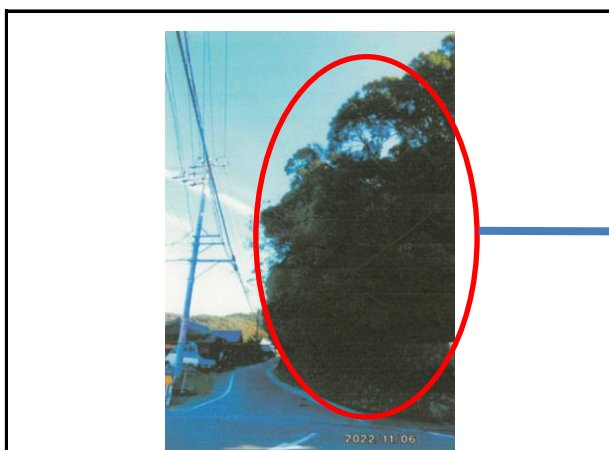


写真3

岩倉町 施工前



写真4

岩倉町 完了



写真5

藤之郷 施工前



写真6

藤之郷 完了

各町内会・自治会の皆様から頂いています危険木伐採要望について、町内会・自治会が主体となり、危険木の伐採が可能となり、安心・安全に生活を送ることができるようにするため、危険木の伐採に必要な経費を補助します。

対象経費

危険木伐採経費

- ・危険木を伐採するにあたり必要な費用。
(危険木の伐採から搬出までに必要となる経費、ただし処分費は補助対象外。)

対象危険木・補助対象者

○**対象危険木**: 危険木伐採要望書を提出している木 ※1

○**補助対象者**: 令和3年度に本補助金の交付を受けていない町内会・自治会 ※2

- ※1 補助金の交付決定前に伐採を終えている木については対象外となります。
また、過去に危険木伐採要望書を提出していない場合は、要望書も合わせて提出してください。
- ※2 個人での申請は受付いたしません。町内会・自治会として申請していただくようお願いします。

補助金額・補助率

1申請あたり、1年度50万円を上限とします。(令和4年度予算額 400万円)

補助率: 10/10

※1申請あたりの伐採本数は複数本可能とします。

申請期間

令和4年6月15日(水) ～ 令和4年7月29日(金)(農林係必着)

※連絡所へ提出する場合は、締切日前日の28日(木)までに提出してください。

※申請者多数の場合はくじにより採択団体を決定します。交付申請書を提出した町内会・自治会は、8月4日午前10時30分に市役所西庁舎中央公民館に お越しください。欠席する場合は、事務局までご連絡ください。欠席時は、くじを事務局が代理で行い、後日事業について説明させていただきます。

申請方法

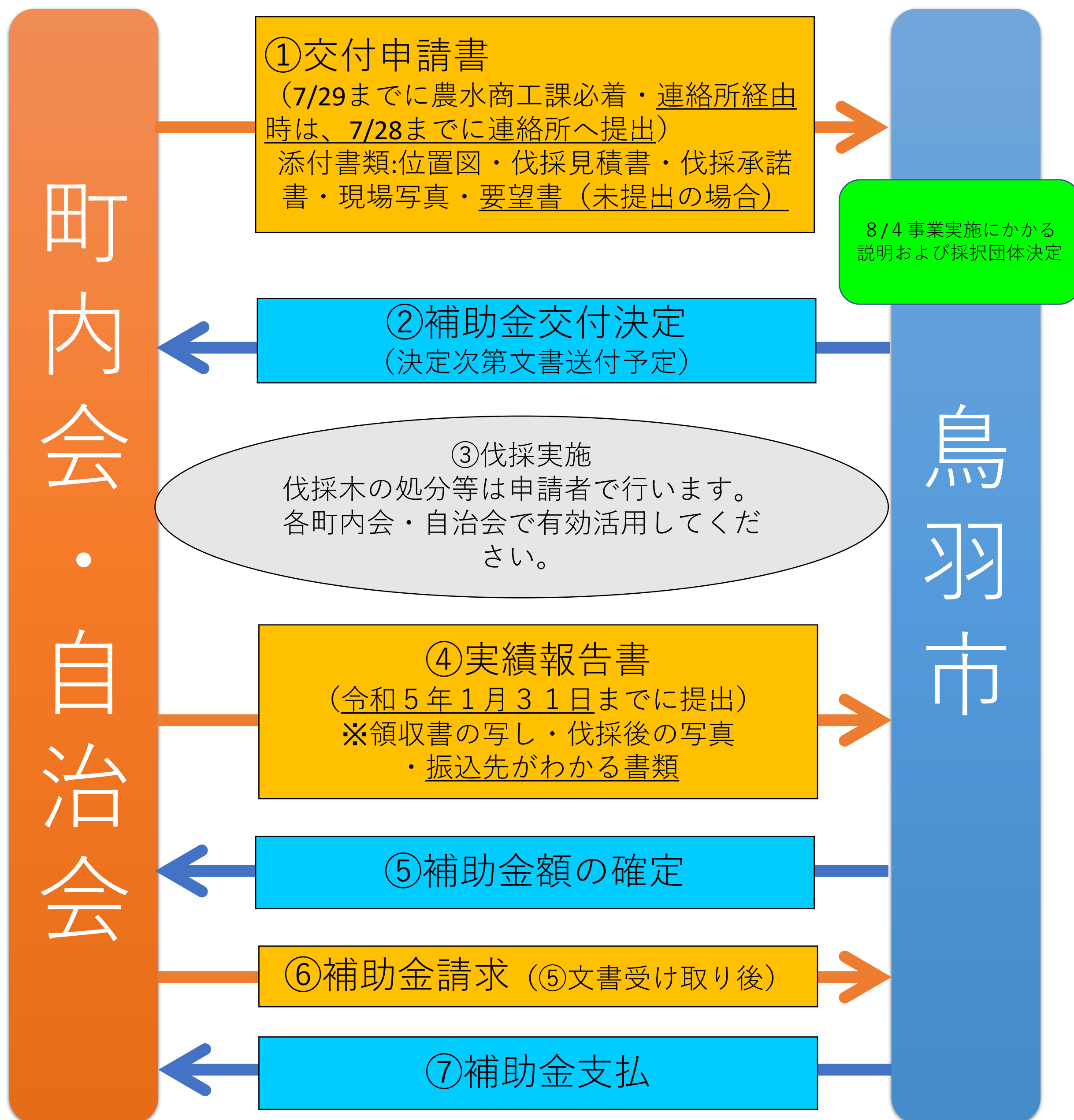
補助金交付申請書に必要事項をご記入いただき、その他必要となる添付書類を併せて農水商工課農林係又は各連絡所までご提出ください。詳しくは、危険木伐採事業費補助金の流れ・交付要綱をご確認ください。

その他重要事項

本補助金事業は当面の間実施予定ではありますが、交付申請が多数提出されると見込まれます。公平性確保の観点から、伐採要望をいただいているすべての団体への交付が一巡するまでの間は、本補助金の交付を受けていない団体を優先していく予定です。



危険木伐採事業費補助金（第一次募集）の流れ



※補助金の概算払いを希望される場合は、別途ご相談ください。

志摩市

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

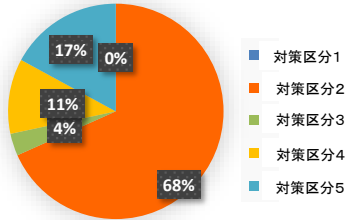
市町名	志摩市	三重県
人口（人）	46,057	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	8.4%	12.4%
森林面積(ha)	9,104.00	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	9,101.49	348,833.49
森林率(%)	51.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	6.5	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分1	対策区分2	対策区分3	対策区分4	対策区分5
1	2	災害に強い森林づくり事業	2,575,100	2,575,000		2,575,000			
2	2	松くい虫防除事業	5,553,780	5,426,000		5,426,000			
3	3	森と緑ふれあい事業	390,000	390,000			390,000		
4	4	観光農園木製品購入	1,320,000	1,320,000				1,320,000	
5	5	創造の森横山遊歩道整備事業	2,217,600	2,000,000					2,000,000
				0					
				0					
				0					
計			12,056,480	11,711,000	0	8,001,000	390,000	1,320,000	2,000,000

3. 令和4年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	8.42	2,750,000	2,750,000	調整伐
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	志摩市の森林の多くは、広葉樹が広がり、薪炭林などとして利用されていたが、社会情勢の変化により、里山としての森林利用がされなくなり、森林病害虫の発生が見られたり、獣害被害が農地や人家近くに及ぶようになってきた。 この状況下において、森林の持つ多面的な機能を市民に知ってもらうために、木製品にふれあう機会を創出や体験型の講習会などを通じ里山保全の手法を体験していただき、市民による森と緑ふれあい事業の取り組みをさらに推進する。 併せて災害に強い森林づくりとして森林整備を進めていく。
事業実施により期待される効果	①体験型の講習会を開催したことにより、森林への関心やその手法を市民に伝えることができた。 ②古くから海岸保全林として地元住民に親しまれていた松林の保全ができた。また、森林公園としての松林の保全ができた。 ③特定水源地域において、連携枠を活用し、調整伐を実施し、森林整備が促進された。
情報発信への取組	事業実施時の工事看板及び備品購入にあたっては、当該備品に県民税活用した旨を記載したプレートを設置している。 また、事業実施時において地元自治会長等に事業を周知する文書を配布するにあたり、文書内に県民税を活用して事業実施している旨の文言を記載して地元住民への周知を図っている。 事業成果について、市ホームページで紹介する予定をしている。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	⑦ その他（森林整備）	3,541	3,540
2	⑦ その他（森林整備）	2,799	2,799
3	⑧ 担い手確保	583	583
4	⑰ 基金積立（森林整備等）	3,876	3,876
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	10,799	10,798

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名					
1	災害に強い森林づくり事業					
事 業 費	2,575,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			257,500		100	

1. 事業の目的

人家裏や道路沿いの森林において、幹や枝が折れることにより、人身や財産に影響を及ぼす可能性のある樹木を除去し、倒木による災害から市民の生命や財産を守るため。

2. 事業実績概要

【事業内容】

道路沿いの危険木の除去を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施箇所及び箇所数】

阿児町立神地内 1箇所

【事業量】

A = 約2,714㎡ 立木169.65空m3

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

道路沿いで通行に支障のある箇所の危険木が除去できたことにより、道路の見通しが良くなり、周辺住民の安全性が保たれる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

道路沿いの危険木は市内に数多くあり、その中においても交通量が多く、危険木が多い箇所から順番に実施していくことで、市民の安心安全を守ることができた。

また、他町においても自治会要望等で依頼があるため、今後も引き続き実施していく必要があると考える。

【新たな対策・視点及び改善点】

今後も引き続き、事業実施を継続していく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	災害に強い森林づくり事業				
事 業 費	2,575,100 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			257,500		100

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	建設業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

道路は、市有地であるので市が委託業務として実施する必要があるため

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	地元自治会 1, 1 8 9 人
期待する波及効果	交通量の多い農道であるため、倒木等の事故を未然に防ぐことができる。

【公的関与の必要性】

立木の所有者では、交通量が多く危険性が高い。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

土地の所有者で、管理していく。また、転用の予定はない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	工事看板に県民税を活用して実施している旨の記載をした。
HP掲載	今後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元自治会から危険木の除去ができて光が差したことで、見通しがよくなったとの意見をいただいた。
また、台風等の時期に倒木の危険性が低くなったことで道路使用者及び周辺住民から喜びの声が寄せられた。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
------	-----------------	-----	-----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託料	伐採工	m ²	2714.40	250	678,600	
	処分工	m ³	169.00	6,751	1,140,919	
	安全費	人	4.77	24,018	114,566	
	諸経費				406,915	
	計				2,341,000	
	消費税額				234,100	
		合計			2,575,100	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害に強い森林づくり事業
-----	--------------

7 の（1）. 写真



写真1

施工前



写真2

施工後



写真3

施工時に看板を設置



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
2	松くい虫防除事業						
事 業 費	5,553,780 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			5,447,000		106,780		

1. 事業の目的

志摩市は、全域が伊勢志摩国立公園内に位置し、松やウバメガシなどの広葉樹が多く植生し、志摩市の景観を形成している。また、海岸沿いには、松林の公園や景勝地があり、防風、飛砂防止など地域の暮らしを守っているほか、多くの人々が訪れている。松林の公園や景勝地のある松を森林病虫害の被害拡大を防ぐ対策を施し、景観形成の維持を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

薬剤樹幹注入 枯松の伐倒処理

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

2か所 阿児町甲賀地区、阿児町国府地区

【事業量】

樹幹注入対象松：345本 枯松伐倒：41本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

松くい虫の被害が食い止められたことにより、住民が広く活用する公園内の安全性が保たれた。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

松くい虫防除に係る樹幹注入については、年度毎にローテーションを組んでおり、その年度に実施する場所がすでに決まっているため、今後も継続的に事業実施していく予定である。

【新たな対策・視点及び改善点】

樹幹注入においては、毎年同様の薬剤を仕様に入れて入札を実施しているが、今後は他の薬剤の効果も調査しつつ薬剤の種類を検討していく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	松くい虫防除事業				
事 業 費	5,553,780 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,447,000		106,780

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	造園業者	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

松くい虫防除に登録のある業者から選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	期待する波及効果
	市内の観光地において、松くい虫等の病害虫のまん延防止に寄与する

【公的関与の必要性】

松くい虫等の病害虫のまん延防止のため。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市等で適切に管理をしていく。また、転用の予定もない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
施工看板に掲示	実施中	
HP掲載	今後	

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

松くい虫被害の松を伐倒したことで、危険性もなくなり景観もよくなったとの意見をいただいた。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市
事業名	松くい虫防除事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託費	薬剤樹幹注入	アンプル	1432	2,714	3,886,527	
	事務雑費	式	1.00		113,473	
	消費税				400,000	
	合計				4,400,000	
委託費	地上散布 (2回散布)	ha	2.68	78,400	210,000	
	消費税				21,000	
	合計				231,000	
委託費	燻蒸処理	本	36.00	8,274.75	297,891	材積0.3m³
	消費税				29,789	
	合計				327,680	
委託費	破碎処理	本	1	24,000	24,000	幹周90cm以上120cm 未満 運搬有り
		本	2	98,000	196,000	幹周200cm以上250cm 未満 運搬有り
		本	1	40,000	40,000	幹周120cm以上150cm 未満 運搬有り
		本	1	13,100	13,100	幹周60cm以上90cm、 未満 運搬有り
	破碎処理費	m³	18.00	7,500	135,000	
	高所作業車リース料	日	1.00	48,000	48,000	
	ラフタークレーン賃料 25 t	日	1.00	52,000	52,000	
	諸経費	式	1.00		32,900	
					541,000	
	消費税				54,100	
	合計				595,100	
		合計			5,553,780	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
事業名	松くい虫防除事業				

7 の（１）．写真



写真1

阿児の松原（薬剤樹幹注入状況）



写真2

阿児の松原（枯れ松処理）実施前



写真3

阿児の松原（枯れ松処理）実施中



写真4

阿児の松原（枯れ松処理）



写真5

エレコムの森（地上散布）



写真6

エレコムの森（枯れ松 燻蒸処理）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	松くい虫防除事業
-----	----------

7 の（1）. 写真



写真1
工事作業用看板（県民税周知文言入り）①

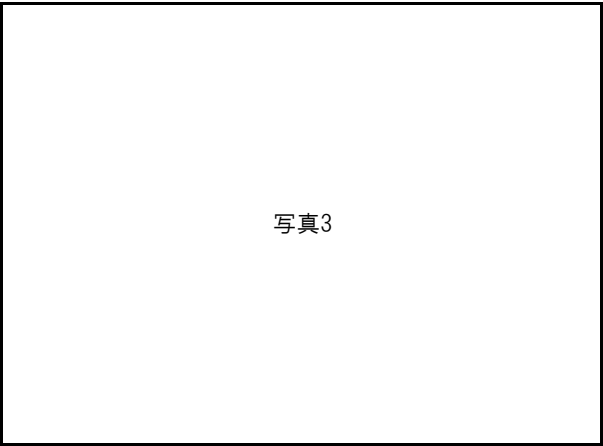


写真3

写真3

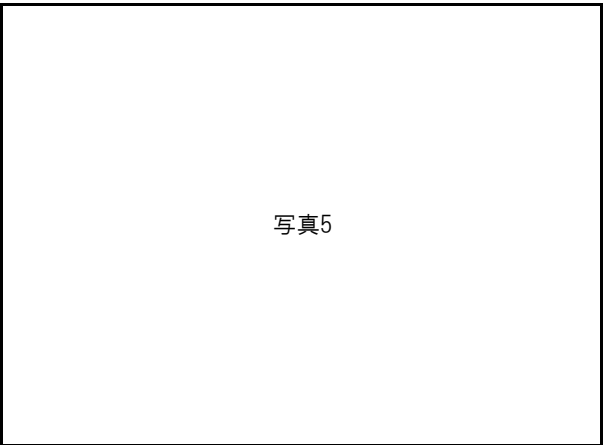


写真5

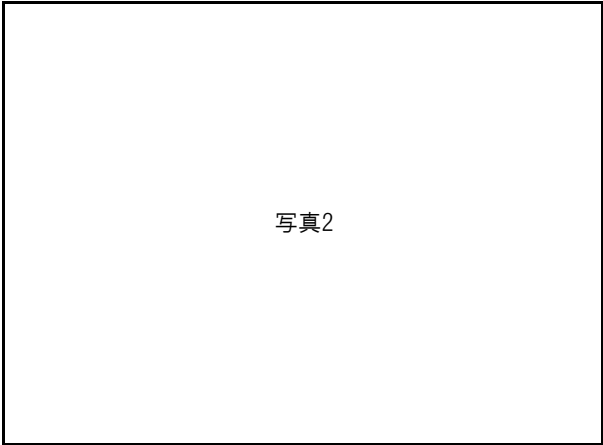


写真2

写真2

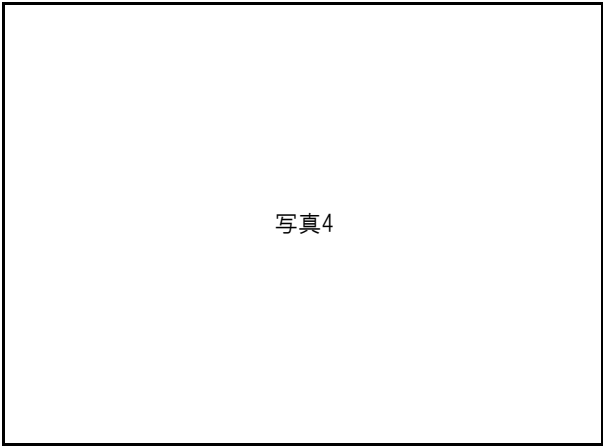


写真4

写真4

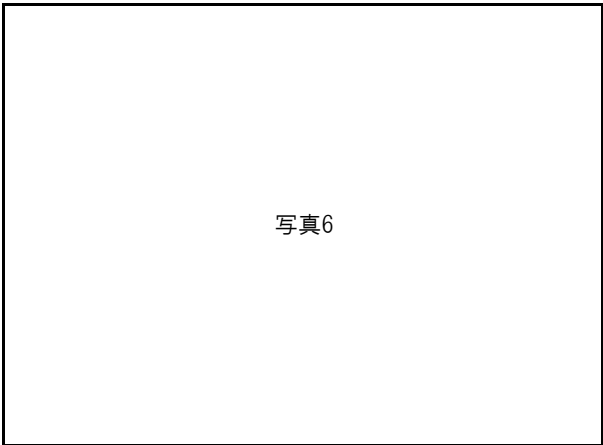


写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	
番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	390,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			390,000		0

1. 事業の目的

市内の環境林や公園をフィールドとして、林と触れ合う機会を創出するために森林環境学習として親子、一般の方を対象に各種の体験を通して森林を大切に作る人づくりの創出を目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

市内の環境林や公園をフィールドとして、市民を対象に森林に触れ合う機会を創出するために森林環境学習として椎茸の菌打ち体験を開催した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

市

【実施個所及び箇所数】

志摩市観光農園

【事業量】

講習会開催回数 1 回 参加人数 31 名

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

子供達や市民の方に森林が持つ多面的機能の理解の向上と森林への関心を広げる場の創出ができたと考える。参加者へアンケートを取り、森林に関する関心を持てた。森林のことをもっと知りたい等の意見があった。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、講習内容を見直し、実施した。

【新たな対策・視点及び改善点】

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、講習内容を見直し、実施した。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	
------	-------------	--	-----	-----	---------	--

番 号	事 業 名				
3	森と緑ふれあい事業				
事 業 費	390,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			390,000		0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知識が必要であるため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	市民 31 名
期待する波及効果	シイタケ菌打ちを通じて森林に関心を持ってもらう。

【公的関与の必要性】

森林の持つ公益的な機能を市民に広く伝える必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではなく、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	ホームページにて申込案内等している。
のぼり設置	実施中	講習会実施時に会場にのぼりを設置した。
施工看板に掲示	実施中	講習会実施時に受付等に看板を設置した。
啓発物品配布	実施中	講習会実施時に啓発物品を参加者に対して配布した。
アンケート実施	実施中	講習会等実施時にアンケートを実施している。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

シイタケ菌打ちがとても楽しかった。来年も参加したいと積極的な意見も見受けられた。

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市
事業名	森と緑ふれあい事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
需用費	アルミイーゼル	個	3.00	6,800	20,400	啓発物品(市が購入)
委託料	講習会準備工	人工	6.00	19,600	117,600	
	講習費(補助員)	人工	4.00	22,700	90,800	
	シイタケ菌	袋	1.00	4,000	4,000	1,000個入り
	シイタケ菌	袋	1.00	2,300	2,300	500個入り
	シイタケ菌原木	本	60.00	500	30,000	
	雑費	%	7.70		18,842	
	直接工事費計				263,542	
	間接費				73,410	
	作業費計				336,000	千円未満切り捨て
	消費税				33,600	
	事業費計				369,600	
	合計				390,000	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	新規・継続の別
事業名	森と緑ふれあい事業		

7 の (1) . 写真



写真1

ロゴマークを表示



写真2

のぼり旗の設置



写真3

パネル展示・啓発物品配布



写真4

施工時に看板を設置



写真5

いせしま森林組合の職員による、シイタケ栽培の説明を受ける。



写真6

シイタケ菌打ち作業状況

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
事業名	森と緑ふれあい事業				
7 の（2）. その他資料					

市ホームページ

子育て・教育	くらし・手続き	健康・福祉	市政	観光	事業者向け	観光支援	Foreign Language
--------	---------	-------	----	----	-------	------	------------------

現在の位置	ホーム	各課の案内	産業振興部	農林課	講習会・研修会	シイタケ菌打ち体験（森と緑ふれあい事業）参加者募集について
-------	-----	-------	-------	-----	---------	-------------------------------

シイタケ菌打ち体験（森と緑ふれあい事業）参加者募集について

更新日：2023年01月10日

森と緑ふれあい事業とは

森と緑ふれあい事業とは、平成26年4月1日に導入されたみえ森と緑の県民税を活用し、森林の持つ多面的な機能について、学び知る場として、「森林にふれあう」「森林の保全」「森林資源の活用」の3つもテーマを定めた体験型の講習会を実施するものです。

体験内容について

« 令和4年度の予定 »

第1回 シイタケ菌打ち体験

日時：令和5年2月11日（土曜日）

時間：午前10時～午前11時30分 まで

場所：志摩市観光農園（志摩市磯部町穴川511番地5）【道の駅伊勢志摩奥】

※申込受付は先着順とし、定員（20名）になり次第、締め切ります。

参加申し込みについて

参加申込期間：令和5年1月10日（火曜日） から 令和5年1月20日（金曜日）まで

- 体験を希望する場合は、参加申込書を志摩市役所 農林課までご提出ください。
- 詳しいことは、申し込みされた方に後日ご案内させていただきます。
- 天候や講師等の諸事情、新型コロナウイルス感染症の流行の状況等により中止又は日程を変更することがあります。

参加申込書

[参加申込書 \(Wordファイル: 131.8KB\)](#)

この記事に関するお問い合わせ先

志摩市役所 産業振興部 農林課
〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098番地22
電話番号：0599-44-0288
ファクス：0599-44-5262
[お問い合わせはこちらから](#)

講習会・研修会

令和2年度森と緑ふれあい事業
シイタケ菌打ち体験

令和2年度森と緑ふれあい事業
ツリーイング体験

令和2年度森と緑ふれあい事業
木工体験

【重複】令和2年度森と緑ふれあい事業 ツリーイング体験

シイタケ菌打ち体験（森と緑ふれあい事業）参加者募集について

〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098-22
電話番号：0599-44-0001 ファックス番号：0599-44-5252
開庁時間：午前8時30分から午後5時15分
(祝日、休日、12月29日から1月3日までを除く月曜日から金曜日)

アクセス お問い合わせ

志摩市ホームページについて | リンクについて | サイト運営方針 | ウェブアクセシビリティについて |

森と緑ふれあい事業(原木づくり、シイタケ菌打ち体験)

1.性別をお聞かせ下さい

男	9
女	22

2.年齢をお聞かせ下さい

10歳未満	2
20歳未満	3
30歳未満	4
40歳未満	0
50歳未満	1
60歳未満	2

3.森と緑ふれあい事業に参加するきっかけについてお聞かせください

ア.市広報紙を見たから	2
イ.市ホームページを見たから	2
ウ.参加者募集の回覧を見たから	2
エ.その他	6
・家族	

4.森と緑ふれあい事業の感想をお聞かせ下さい

①この講習会に税金を使っていることを知っていた

知っていた	5
知らなかった(今、知った)	7

②この講習会に参加して、森林や林業の事をもっと知りたくなった(興味が深まった)

そう思う⇔そう思わない

4	5
3	5
2	1
1	1
未回答	0

5.森林に対する思いをお聞かせください

①安全、快適に暮らすためには、森林の手入れが大切だと思う

そう思う⇔そう思わない

4	9
3	2
2	1
1	0

②木を使うことは森林の手入れにつながると思う

そう思う⇔そう思わない

4	8
3	3
2	1
1	0

③これからは身近な森林(里山)竹林の手入れをしようと思う。(手入れに参加しようと思う)

そう思う⇔そう思わない

4	5
3	5
2	1
1	1

6.今回の講習についての感想をお聞かせ下さい

ア.大変よかった(楽しかった)	7
イ.良かった(楽しかった)	3
ウ.ふつう	0
エ.悪かった(楽しくなかった)	0
未回答	2

○良かったところ、楽しかったところ

ふだんできない体験ができて楽しかった。

木を切って楽しかった。菌打ちが楽しかった。

森と緑ふれあい事業(原木づくり、シイタケ菌打ち体験)

家族で菌打ちができたところ
 食べるものを育てられる事
 トンカチでたたくのが楽しかった。
 菌打ち
 木を切るところ
 きんをうつのがはじめてのことだったので、とても楽しかった
 木を切ったり、きんをうちつけた所

○もう少し工夫が必要なところ・楽しなかったところ

森林組合の活動内容や森林保全の取り組みについてももう少し具体的な話を聞きたかった。
 特になし
 木をはこぶときにむしがいたみたいで、服についてしまったのでどうにかならないかな

7. 今回の講習会の実施時間についてお聞かせください

ア.たいへん長いと感じた	0
イ.長いと感じた	3
ウ.ちょうどよい	6
エ.短かった	1
未回答	2

8. 森林や木について関心をもつことができましたか

ア.とても関心をもてた	5
イ.少し関心をもてた	4
ウ.関心が持てた	0
エ.あまり関心をもてなかった	1
未回答	1

9. 志摩市では、森林や木とのかかわりについての講習会の開催を予定しています。今後の講習会を計画するにあたり、あなた様のご意見をお聞かせください。(周知方法、実施時期、実施内容等)

春、秋がちょうどよいと思います。
 特になし

10. みえ森と緑の県民税について、ご意見があればご記入ください

よくわかりません

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	観光農園木製品購入				
事 業 費	1,320,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,320,000		

1. 事業の目的

志摩市の集客施設を活用し、志摩市の森林の魅力を発信する場を整備するとともに、子どもたちの木育などに活用できるように環境整備し、子どもたちに森林への興味や林業への理解を深める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

木製遊具及び木製ベンチを施設内に設置し、木製品にふれあう機会を創出する。また、開園時に木製品に触れあえる機会を創出することで、森林への興味を深めることに寄与する。

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

1施設

【事業量】

木製遊具 1基 木製机 1基

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

みえ森と緑の県民税を活用した森と緑ふれあい事業と連携し、シイタケ菌打ち体験等の会場としての利用や直接木製品に触れることにより森林への興味が深まったと考える。

また、季節の花の時期に開園し、市内外の方々に木製品に触れ合える機会を創出した。

インスタ等においても木製遊具を使用した、写真スポットが好評であり、観光地としての一翼を担ったと考えられる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

景観と調和がとれるように配置した。

みえ森と緑の県民税を活用した森とふれあい事業において、木工教室を開催し、木育を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策のため、木工教室の開催をできなかったが、今後は、観光農園施設で、森とふれあい事業において、木育を行ない、森林の大切さや木材の利用意義を伝えてゆく。

【新たな対策・視点及び改善点】

子供たちにも木に触れ合う機会を増やすために、木製の遊具を設置した。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	観光農園木製品購入				
事 業 費	1,320,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,320,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

別の部署において、創造の森横山内で山林の維持管理のため伐採事業を実施しており、そこで発生した間伐材等を使用して木製品の製作を行うため。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	公園入場者数 28,753人（令和4年度）
期待する波及効果	市民及び観光客に木製品の良さを伝えることができた。

【公的関与の必要性】

当該事業実施箇所は市が直営している施設であり、市において事業実施していく必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

市が適切に管理をしていく。また、転用の目的もない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
その他	実施前・中・後	購入した木製遊具に県民税で事業実施したプレート設置。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

入場者等に鉄製等よりも温かみがある等という意見をいただき、花と木製遊具の色合いが良く、写真を撮ることでの思い出にも繋がり、良いと思われるとの意見もあった

事業名	観光農園木製品購入
-----	-----------

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
備品購入費	三重県産材スギ W=915 D=925 H=2565	基	1.00	1,000,000	1,000,000	木製遊具
	三重県産材スギ W=1100 D=1655 H=1000	基	1.00	200,000	200,000	木製机
	計				1,200,000	
	消費税				120,000	
		合計			1,320,000	

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	観光農園木製品購入
-----	-----------

7 の（1）. 写真



写真1

木製遊具



写真2

園内に設置した木製遊具



写真3

木製机



写真4

ロゴマーク

写真5

写真6

写真5

写真6

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	創造の森横山遊歩道整備工事				
事 業 費	2,217,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		217,600

1. 事業の目的

創造の森横山は、山頂にある展望台につながる遊歩道が整備され、自然観察会の開催やクアオルトウォーキングなどが行われ、多くの方が散策やウォーキングに訪れていることを踏まえ、自然公園の景観と森林や緑の保全及び利用を促進するため、上質な利用環境の提供を図るとともに森林や緑と親しむための環境を創出することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

創造の森横山の遊歩道に木製の床通路及び階段を敷設する。使用材の一部は、創造の森横山の森林環境保全のために間伐した伐採木を利活用する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

志摩市

【実施個所及び箇所数】

1箇所

【事業量】

木製遊歩道 L=66.5m

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

当市の豊かな自然環境は、この地域の伝統・文化を形成するものであるとともに人々の生活や産業の基盤となっており、これまで、この豊かな自然環境を次世代へ継承するため、森・里・川・海をつなぐ自然の物質循環の観点から自然環境の保全・再生に取り組んでいる。今後も、この取組みを継続していく中において、今回整備した木製通路に関し、創造の森横山で開催される「自然観察会」への参加者及び学校行事の遠足等で訪れる児童・生徒に対し、遊歩道の一部に、創造の森横山で間伐した木を使用していることを説明し、実際に遊歩道を利用した散策を促し、森林・山林の循環や維持管理を直に感じていただくことにより、人が暮らす国立公園として、自然との共生を踏まえた山林と海のつながりに関する意識が深まる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

今回の遊歩道整備は2か年計画として進め、令和4年度は2か年目で整備が完了したことから、多くの方が散策時に休憩所として利用する作業所の内に健全な森林の保全と遊歩道整備を結ぶような周知ポスターを設置することとしている。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	創造の森横山遊歩道整備工事				
事 業 費	2,217,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		217,600

【新たな対策・視点及び改善点】

本市は、SDGs 未来都市に選定され、各事業にSDGsの視点を取り入れ実施している。創造の森横山の事業においても同様であり、SDGs 目標14・15「海の豊かさを守ろう」「陸の豊かさを守ろう」の達成に向け、「健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う」「自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる」といったターゲットを意識した事業を推進している。このことを踏まえ、今回の実施事業においては、自然の物質循環により里山の維持が健全な海洋維持につながる観点から、里山維持のために間伐した木を有効に利用した取組みの発信を継続するほか、本市はゼロカーボンパークとして認定され、創造の森横山で開催される「自然観察会」は、ゼロカーボンパークの環境教育としての取組みにあたることから、自然観察会において、積極的に間伐した木を使用していることを説明し、実際に遊歩道を利用した散策を促す対応を図る。

同時に、森と緑の県民税自体を知らない地元住民も多いため、その点を踏まえた周知ポスターを作成し、散策時に休憩所として多くが利用する作業所の内に貼付し、継続的な周知を図る。

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

地方自治法等に基づく市の発注基準、方法による

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	観光客、地域住民 利用者数：6,870人/年
期待する波及効果	市内外の里山に対するより深い理解

【公的関与の必要性】

横山園地は、国立公園の特別地域となっており、環境省と志摩市が里山の適切な管理や希少生物の保護を長年継続して取り組んでいるため、公共による公園計画に基づく、管理及び保全が必要である。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

創造の森横山作業所を使用する環境省や志摩市が主催の講習会またはイベントは、毎年開催が予定されている。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり		市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	創造の森横山遊歩道整備工事				
事 業 費	2,217,600 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,000,000		217,600

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
チラシ等配布	実施後	創造の森横山作業所にて、イベント時にチラシを配布し説明。
その他	実施後	イベント実施の記事に合わせ、市広報誌やHPにおいての周知。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市
事業名	創造の森横山遊歩道整備工事		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託料	遊歩道据付	m	66.50	7,366	489,839	
	手すり据付	m	66.50	3,447	229,226	
	案内板据付	基	2.00	93,192	186,384	
	土工	m	66.50	1,200	79,800	
	木製材料	式	1.00		538,318	
	木製以外材料	式	1.00		27,813	
	諸経費	式	1.00		464,620	
	消費税等	%	10.00		201,600	
		合計			2,217,600	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	5. 地域の身近な水や緑の環境づくり	市町名	志摩市	新規・継続の別	継続
------	--------------------	-----	-----	---------	----

事業名	創造の森横山遊歩道整備工事
-----	---------------

7 の（1）. 写真



写真1

遊歩道

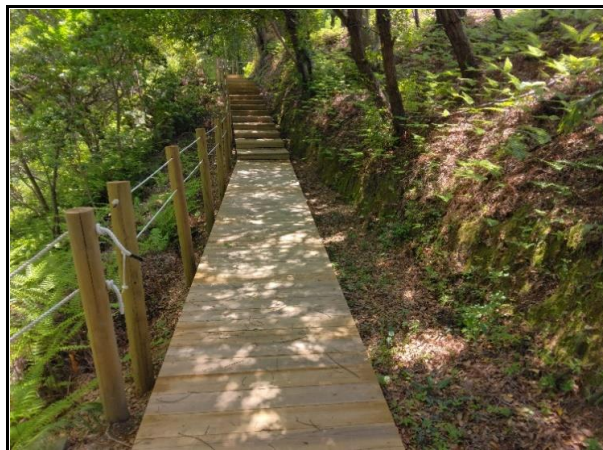


写真2

遊歩道



写真3

案内板

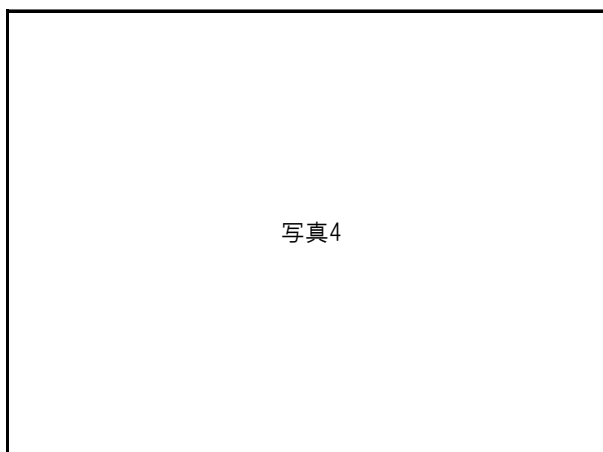


写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

玉城町

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

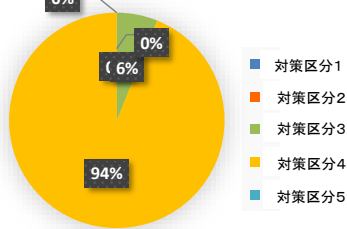
市町名	玉城町	三重県
人口（人）	15,199	1,782,190
年少人口割合（％）＊1	14.5%	12.4%
森林面積(ha)	1,259.02	372,352.55
民有林面積(ha)＊2	1,258.77	348,833.49
森林率(%)	31.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊3	25.7	10.1

＊1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
	1			0						
	2			0						
1	3	森林環境教育・木育事業	562,294	560,800			560,800			
2	4	公共施設整備事業	8,912,200	8,593,200				8,593,200		
	5			0						
	6			0						
				0						
				0						
計			9,474,494	9,154,000	0	0	560,800	8,593,200	0	0

3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本町は、三重県のほぼ中央に位置し、伊勢市、度会町、多気町、明和町に隣接している。総面積は40.91km ² でそのうち、森林面積は1,258.77haで森林率は31％と低く、そのほとんどが民有林で人工林面積は1,133.59haで森林面積の90％を占めている。森林率が低いがゆえ、森林の良さ、木材の良さに気づかせることで、森林環境への関心・身近さを少しでも感じてもらいたいと考えている。 このため、保育所や小学校で森林環境教育を実施して森を育む人づくりを行ったり、またアスピア玉城で三重県産の木材を使用したりすることで、森と人をつなぐ学びの場として、多くの方々に森林の必要性、大切さを周知し、啓発していく。
事業実施により期待される効果
森林環境教育・木育を実施したことで森林への理解、森林の大切さを感じてもらう。 また、木と触れ合える教育環境を児童や園児とその保護者、指導者に感じてもらう、木材の大切さ、活用の促進と森林への理解を深めてもらう。
情報発信への取組
町の広報誌（広報たまき）へ掲載し、町民に対して積極的に情報提供（PR）した。 町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（児童、園児）、教職員からも事業に対する理解の声をいただいた。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	② 意向調査	645	645
2	③ 私有林整備	1,496	1,496
3	⑰ 基金積立（森林整備等）	3,113	3,113
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	5,254	5,254

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	森林環境教育・木育事業				
事 業 費	562,294 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			560,800		1,494

1. 事業の目的					
教育現場において森林環境教育・木育を実施して、森林に対する深い理解のある人づくりを進めていく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 玉城町内の保育所及び小学校において森林環境教育・木育を実施した。					
【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】 玉城町					
【実施個所及び箇所数】 町内小学校及び保育所					
【事業量】 ・田丸保育所 72人、外城田保育所 37名、有田保育所 21人、下外城田保育所 14人 ・田丸小学校 73人、外城田小学校 24名、有田小学校 32人、下外城田小学校 24人 合計 297人					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 森林環境教育・木育事業を通じて森林の大切さを学ぶことにより、その理解が深まる。					
【効果を発揮させるための工夫・取組】 令和 3 年度の活用事例集を参考に各保育所、各小学校の先生と打合せを行い事業に取り組んだ。					
【新たな対策・視点及び改善点】 これまで小学校で森林環境教育・木育事業を実施した結果、好評であったため、令和 3 年度は試験的に 1 つの保育所で実施した。保育所でも好評であったため、令和 4 年度は町内の全保育所で実施した。					

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	森林環境教育・木育事業				
事 業 費	562,294 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			560,800		1,494

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		小学校
その他	個人	補助事業ではない		保育所
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 ・ いせしま森林組合（小学校）…伊勢地域の認定林業事業体で玉城町内の森林の特性に精通しているため。 ・ 藤川和彦氏、岡田みつよ氏（保育所）…みえ森づくりサポートセンターの森のせんせいに登録されており、森林教育に精通しているため。 【主な経費内訳】 （別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	児童297人（小学校153人、保育所144人）			
期待する波及効果	保護者への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】				
教育現場と連携して実施する内容であるため、公的に取り組む必要がある。				
【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】				
施設整備等ではなく、転用や目的外使用は想定されない。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施中	木育活動中、教室に設置。		
啓発物品配布	実施後	児童に対し、啓発を目的に物品を提供した。		
広報誌掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）への記載を基本に町民に対して積極的に情報提供（PR）している。		
アンケート実施	実施後	町民はもとより、木育活動等を実施した施設の対象者（園児、生徒）、教員・職員からも事業に対する理解の声をいただいている。		
HP掲載	実施後	町の広報誌（広報たまき）をホームページに掲載し周知している。		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町
事業名	森林環境教育・木育事業		

4. 効率性：主な経費内訳

森林環境教育・木育事業（小学校）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師料（森林組合職員）	限	18.00	4,500	81,000	4校
準備費	企画・打合せ、葉っぱ伐採等	式	1.00	120,000	120,000	
資材費	箸、サンドペーパー等	式	1.00	70,000	70,000	
諸経費	20%以内	式	1.00	49,000	49,000	
		小計			320,000	
		消費税及び地方税相当額			32,000	10%
		合計			352,000	

森林環境教育・木育事業（保育所）

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
報償費	講師料（森のせんせい）	人	2.00	3,000	6,000	事前打合せ
報償費	講師料（森のせんせい）	人	2.00	54,000	108,000	1回3時間、4日分
費用弁償	旅費	式	1.00	3,696	3,696	
資材費	木工作教材等	式	1.00	92,598	92,598	
		合計			204,294	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育・木育事業				

7 の（1）．写真



写真1

マイ箸作り（田丸小学校）



写真2

マイ箸作り（外城田小学校）



写真3

マイ箸作り（有田小学校）



写真4

樹齢当てクイズ（下外城田小学校）



写真5

丸太切り体験（田丸保育所）



写真6

ヒノキのポンポン作り（下外城田保育所）



有田小学校(5年生)(マイ箸作り)

木育活動(出前授業)

木の働きを知り、木に触れることで木への関心を持ってもらうきっかけになることを目的に、みえ森と緑の県民税を活用し、木育活動を実施しました。子どもたちは森林の役割を学んだり、マイ箸を作ったり、夢中になって取り組んでいました。



下外城田小学校(5年生)(年輪当てクイズ)



田丸小学校(5年生A~C組)(マイ箸作り)

11/30 玉城中学校生徒会が ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞を受賞



田丸城跡クリーン作戦への参加や、TVS活動(玉城ボランティアサービス活動)などの活動が認められ、玉城中学校生徒会が「第26回ボランティア・スピリット・アワード」の「コミュニティ賞」を受賞しました。

生徒会メンバーがその報告のため町長を表敬訪問し、生徒会会長たちが活動の実績などを語っていました。



有田小学校(5年生)(マイ箸作り)

木育活動(出前授業)

木の働きを知り、木に触れることで木への関心を持ってもらうきっかけになることを目的に、みえ森と緑の県民税を活用し、木育活動を実施しました。子どもたちは森林の役割を学んだり、マイ箸を作ったり、夢中になって取り組んでいました。



下外城田小学校(5年生)(年輪当てクイズ)



田丸小学校(5年生A~C組)(マイ箸作り)

11/30 玉城中学校生徒会が ボランティア・スピリット・アワード コミュニティ賞を受賞



田丸城跡クリーン作戦への参加や、TVS活動(玉城ボランティアサービス活動)などの活動が認められ、玉城中学校生徒会が「第26回ボランティア・スピリット・アワード」の「コミュニティ賞」を受賞しました。

生徒会メンバーがその報告のため町長を表敬訪問し、生徒会会長たちが活動の実績などを語っていました。

R4みえ森アンケート

有田小学校（2022.12.10）

人数

Q1 出前授業は楽しかったですか？

- 22 (1) とても楽しかった
5 (2) 楽しかった
(3) 楽しくなかった
(4) 全然楽しくなかった

Q2 出前授業は想像していたとおりでしたか？

- 18 (1) 想像以上
8 (2) 想像どおり
1 (3) 期待はずれ
(4) まったくの期待はずれ

Q3 出前授業の先生の話はわかりやすかったですか？

- 17 (1) よくわかった
9 (2) わかった
1 (3) わからなかった
(4) まったくわからなかった

Q4 思ったこと・感じたことでいいので、**楽しかったところや楽しくなかったところだけ書いてください****片方だけでもOKです****○楽しかった点**

クイズ⇒3 たくでおもしろかった。

はしづくり⇒どう作るのか分からなかったけどだんだんできる内に楽しくなった。

はしを作るのが楽しかった。

おはし作りは初めてだったので、自分達がふだん使っているおはしは、こんなふうに作られているんだなとすごくそんけいした。

はし作りに時間がかかったけど、いいたいけんいになりました。

おはし作りが楽しかったです。説明も分かりやすかったからとてもよかったです。

初めてはし体験をしてとてもよいけい験になった。森林についての話も知っている事もあったけど、知らない事もたくさんあり、とても楽しかった。

はし作りの手作業

森のお話がとても聞きやすくよかったなと思いました。おはし作りもすこしむずかしかったけど、とてもたのしかったです。わたしは全部たのしかったですなあとしました。

みんなではし作りをしたところ。

はし作りやクイズ、環境のことが知れた。

はしをつくったこと。

直方体(?) みたいな木を自分でけずって、myはしをつくれたところ

木の年りんを数えるところが楽しかった。

おはし作りが楽しかった。(みなさんに教えてもらったり…)

森林も私たちが生きていくためにとてもじゅうようなものなんだなと知れたし、おはしづくりがとても楽しかった!

クイズがあった所。はしを好きな形で好きな色をつけられた所。実物を使ってクイズを出していた所。

おはし作りか、森の話

始めは一人でしていたけどミスをしてしまった時に、西岡さんに助けてもらい、楽しかった。

おはしを作るのが楽しかった。

自分がはじめてやったことはすごくむずかしかったけどカッターを使ってやっていけたのが楽しかったです。

えん筆とちがっておはしんのほうがびちょうせいなどできて楽しかったです。

はしづくりの時にやり方をおしえてくれたり、じっさいにはっぱをくばってくれたりしたので楽しかった。

はしづくりは初めてだったけど先生たちがアドバイスをくれてはしづくりが思い出になった。

はしづくりなどの体けん

はしをつくっている時が楽しかった。森林の話も勉強になった。

どんどんおはしの形になっていたので楽しかった。

知らなかった森林の勉強でいっぱいでした!

○楽しくなかった点

テレビを移動するスピードが少し早かったのもう少しゆっくりしてほしい。
ないです。
おはし作りの時間が短かったのであまり楽しくなかった。
最初にあったせつめいなどがわかりにくかった。

Q5 今日受けた活動以外でしてみたかったことがあれば、記入してください

自分たちで小さい木を切ってみたい
なにかを植える⇒シイタケ、野菜
シイタケの菌打ち体験
木材の加工現場見学
木を切っている所を見たい。
また、森林以外の自然について教えてほしい。
気を使って小物作り
木材の加工場見学
シイタケの菌打ち体験
木を切る体験
木材の加工場見学
シイタケの菌打ち体験
てんさいなあのショベルカーがみたい
木を切る体験
おはし以外の物づくり（木）
木でイス作りやつくえ作り体験
森の見学や炭作り
木を自分で植える
チェーンソーとかで木をきっている所を見たい。
機械とかでやっている所を見たい
木を自分できって何かつくりたいです。
じっさいに機械でじっさいに木をきっている所をみたい。
木材の加工場見学
森林の木の観察、森の散歩
木を植えてみたい。
三重の植物について

R4みえ森アンケート

外城田小学校（2022.11.30）

人数 Q1 出前授業は楽しかったですか？

- 28 (1) とても楽しかった
8 (2) 楽しかった
1 (3) 楽しくなかった
(4) 全然楽しくなかった

Q2 出前授業は想像していたとおりでしたか？

- 26 (1) 想像以上
6 (2) 想像どおり
3 (3) 期待はずれ
1 (4) まったくの期待はずれ
1 そうぞうしていません

Q3 出前授業の先生の話はわかりやすかったですか？

- 25 (1) よくわかった
12 (2) わかった
(3) わからなかった
(4) まったくわからなかった

Q4 思ったこと・感じたことでいいので、**楽しかったところや楽しくなかったところだけ書いてください****片方だけでもOKです****○楽しかった点**

自分が作る箸だから楽しかった。

ぜんぶたのしかった。

カッターできるところは、こわかったけど楽しかった。

やすりをしたのが楽しかった。

カッターでけずったり絵をかいたりするのが楽しかったです。

算数の問題

色ぬり…みんなとぬるのが楽しかった。

はし…カッターでけずったりするのが、むずかしかったけどうまくできて楽しかったです。

木ではしをつくるのがたのしかった。

はじめてはしをけずったのが楽しかった。

四角いぼうがどんどんはしの形になっていくのが楽しかった。

みんなで笑いながらはしを作ったこと

色ぬり、木をほるところ

色をぬったり切ったりするのがたのしかった。

カッターではしの形をつくるのがおもしろかった。

はしになる木材をカッターで切る所。

けずるのがたのしかった。とてもつるつるできもちよかった。

はしをつくれたこと

色をぬるときがたのしかった。

木をけずっていた時。

はしに絵をかく

やすりでするところ

はじめてはしを作って楽しかったし、またいつかやってみたいです。

やすりでけずるところが楽しかった。

自分ではしを作れたのが楽しかった。

全て

はしをまるくするところ

はしを一から作るところ。

木をそぎ落とすとき

どんどん完成にちかづいていくってうれしくて、楽しいと思った。

はしの形にしていくのが楽しかった

はしをけずるところ、クイズ、いろぬり、やすり、ぜんぶたのしかった。

はしをじっさいに作れたり、家・学校でも使えるからです。

カッターでけずっていくのが楽しかった。

はしを作るだけじゃなくて、クイズ？とかがあって楽しかった。

はし作りが楽しかったです。

すらすらはしがけずれて楽しかった

むずかしいところもあったけどみんなと話しながら、はしを作るのが楽しかった。

○楽しくなかった点

楽しくなかったところはありません

ない

書写が楽しくなかったです。

とくにない

なし

Q5 今日受けた活動以外でしてみたかったことがあれば、記入してください

ありません

ない

とうげい体験がしてみたいです。

ありません

シイタケの菌打ち体験。菌の観察をしてみたい

いれものづくり

木材の加工場見学

はしづくりの工場見学

いろんな木の丸太を見たい。

なし

木材の加工場見学

木材の加工場見学

木材の加工場見学

新しいミニ四駆の開発

木材加工場見学

スプーンづくり（木材で）小さい家づくり、つみきづくり、すきな形づくり

木材の加工場見学

シイタケの菌打ち体験

今日最初に見せてもらった、木のえだをもらえたらいいなと思います。

森林たくさん。

木材の加工場見学

R4みえ森アンケート

下外城田小学校（2022.12.10）

人数

Q1 出前授業は楽しかったですか？

- 21 (1) とても楽しかった
- 3 (2) 楽しかった
- (3) 楽しくなかった
- (4) 全然楽しくなかった

Q2 出前授業は想像していたとおりでしたか？

- 11 (1) 想像以上
- 11 (2) 想像どおり
- (3) 期待はずれ
- (4) まったくの期待はずれ
- 1 想像していなかった

Q3 出前授業の先生の話はわかりやすかったですか？

- 15 (1) よくわかった
- 9 (2) わかった
- (3) わからなかった
- (4) まったくわからなかった

Q4 思ったこと・感じたことでいいので、**楽しかったところや楽しくなかったところだけ書いてください****片方だけでもOKです****○楽しかった点**

木のぼうで角のところを切り取ることができたところ。

はしをけずるのがたのしかったです。

はしをつくる時、少し手伝ってもらったけど、初めての体験だったので、楽しかったです。

森がきれいな場所だと、自然がきれいなんだなと思いました。

はしのせんたんと、よくするところ。

はし作りが想像以上固くてむずかしかった。

木をけずるところが物に、楽しかったです。

けずった後に、やすりでけずるのが楽しかった。

自分ではしを作ったり、森がなぜくずれるかという事を知れたからおもしろかった。

分かりやすく教えてくれたこと

はし作りではしを作ってもってかえられるのがよかった。けずるのもたのしかった。

木を一からはしにするのがむずかしかったです。

木を切るとき形をととのえるのが楽しかった。やすりでけずってきれいになるのがきもちよかった。

はしを作るとき、やすりをしたりするのがたのしかったです。

はし作りがこんなにむずかしいと思っていなかった。長さを調整するところが楽しかった。

問題を出しながらやってくれたこと。

想像以上に、はしづくりがむずかしかったけど、楽しかったです。来年もしたいです。

ふだんできないことができたので楽しかった。

はしの角角のはしっこを長くできてたのしかった。

森などのくわしいことを分かったし、はしをつくれたので楽しかった。

はし作りが思ったよりうまく仕上がってたのしかったです。

すぐけずれてうまくできた。

だれかささると思った。

きる時や、やすりをかけるときに木の音（スリスリ）という音がきもちがよかったです。

はしをけずるのは、難しかったけど、アドバイスをもらったり、話をしながらやるのが楽しかった。

○楽しくなかった点

ありません。

なし

少し話が聞き取りにくかったです。

Q5 今日受けた活動以外でしてみたかったことがあれば、記入してください

木材の加工場見学をしてみたいです。

とくにありません

シイタケの菌打ち体験してみたい

木を切ってみたい。

キノコを育ててみたい。

木材の加工場見学。

きのこのさいばい体験

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験

木などで色々な物を作成してみたいです。（6年生）

木材の加工場見学してみたい

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験

シイタケの菌打ち体験を6年生でもしたい

木（もしくは枝）をきってみたかったです。

実さいに森に行って、手入れをされているかを考えてみたかったです。

木を植えてみたい。

木材の加工場見学

シイタケの菌打ち体験

第 11 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	公共施設整備事業				
事 業 費	8,912,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,969,200	2,624,000	319,000

1. 事業の目的					
木材の良さ、木材の必要性を周知、啓発するために、三重県産の木材を使用している施設を提供 (木質化改修) することで、森と人をつなぐ学びの場として活用していく。					
2. 事業実績概要					
【事業内容】 ・アスピア玉城ふれあいの館の内装の木質化改修を実施した。 ・田丸小学校図書室の内装を木質化改修するための設計を実施した。 【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】 玉城町 【実施個所及び箇所数】 ・アスピア玉城ふれあいの館 (施設内木質化改修) × 1 施設 ・田丸小学校図書室 (施設内木質化改修) × 1 施設 【事業量】 ・アスピア玉城ふれあいの館 内装1.0式 (木材の利用料 壁材2.59㎡、床材0.91㎡、その他0.82㎡) ・田丸小学校図書室設計一式 (床) 128㎡					
3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】					
【事業実施により期待される効果】 県産材を使用している施設を提供することで、施設利用者に対して木のぬくもりや香りを感じてもらい、森林の必要性に対する理解を深めることにつながる。 【効果を発揮させるための工夫・取組】 森林や木材についてふれあう場を提供し、森との関係を深める取組である。 今後、森林の大切さや木材利用意義などについて、パネル展示やイベント時の普及啓発活動を行い、木質化した本施設を有効に活用していく。 【新たな対策・視点及び改善点】 森林の大切さ・木材の良さに気づいてもらうために公共施設の内装を木質化する。 アスピア玉城ふれあいの館の内装を木質化することで、木材の良さや森林の大切さを啓発する。また、令和 5 年度に予定している田丸小学校図書室の木質化改修を円滑に進めるために設計を先行して実施した。					

令和4年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	公共施設整備事業				
事 業 費	8,912,200 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,969,200	2,624,000	319,000

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】				
【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】				
①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	その他	補助事業ではない		工事および実施設計業務委託
【委託先及び補助対象者等の選定理由】 工事については入札で入札担当課のルールにより業者選定 実施設計業務については随意契約にて規定に基づき業者選定 【主な経費内訳】 （別紙のとおり）				
5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】				
【受益者及び、期待する波及効果】				
受益者	アスピア玉城：町民ほか施設利用者 約35,000人、田丸小学校：児童384人			
期待する波及効果	町内だけでなく他市町の方への波及効果も期待できる。			
【公的関与の必要性】 町が管理する施設であるため、公的に取り組む必要がある。 【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】 継続して町で管理していく。				
6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】				
【情報発信の内容】				
手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）		
のぼり設置	実施後	実施する箇所に設置する		
広報誌掲載	実施後	町広報誌にて取り組みを紹介する		
TV（行政チャンネル等）	実施後	ケーブルテレビにて取り組みを紹介する		
HP掲載	実施後	ホームページにて取り組みを紹介する		
パネル展示	実施後	施設内にみえ森と緑の県民税等の取り組みをPRしていく		
7. 写真及びその他資料				
別紙のとおり				
8. その他特記事項（受益者の反応等）				

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町
------	-------------------	-----	-----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
委託料	実施設計、工事監理	式	1.00	798,000	798,000	
工事請負費	木質化改修	式	1.00	6,984,000	6,984,000	
備品購入費	木製備品購入	台	4.00	80,000	320,000	
		小計			8,102,000	
		消費税及び地方税相当額			810,200	10%
		合計			8,912,200	

第11号様式（その2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	公共施設整備事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

ふれあいの館木質化工事（番台）着工前



写真2

ふれあいの館木質化工事（番台）着工後



写真3

ふれあいの館木質化工事（男子脱衣所）着工前



写真4

ふれあいの館木質化工事（男子脱衣所）着工後



写真5

ふれあいの館木質化工事（女子脱衣所）着工前



写真6

ふれあいの館木質化工事（女子脱衣所）着工後

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	玉城町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

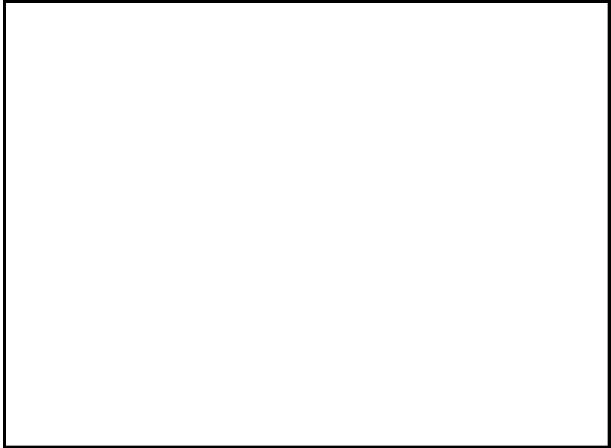
事業名	公共施設整備事業
-----	----------

7 の（1）. 写真



写真7

ふれあいの館木製ベンチ



2/24 町と伊勢志摩ワイナリー株式会社連携協定



町は、伊勢志摩ワイナリー株式会社が勝田地内でワイン用ぶどうの農場を開設するにあたり、連携協力に関する協定を締結しました。

同社は、伊勢志摩地域初のワイナリーとして町内で栽培されたぶどうを用いたワインを製造するために、自社農場を開設・運営し、地域の風土や環境を活かしたワイン用ぶどうの栽培を目指しています。

協定の主旨は、農業を通じた地域活性化への貢献とあわせ、地域雇用の拡大を目指し、町は地元住民との調和を図りながら、これを積極的に協力・支援するものです。

農地の規模は約4,000㎡で、ワイン用ぶどうを年間4t生産する予定です。



2/19 健康づくり講演会を開催



人生100年時代を元気で乗り切るために～健康長寿 鍵は“フレイル予防”～と題して、東京大学高齢社会総合研究機構 機構長 飯島 勝矢 氏をお迎えし健康づくり講演会を開催しました。自分らしく健康であるためにはフレイルを予防することが重要とのお話があり、参加者への簡単なフレイルチェックが実施されました。町では今後、フレイルサポーターを養成し、活動をしていきます。(フレイルとは、加齢にともない心身の機能が低下をした状態を意味する言葉で、「健康」と「要介護」の中間の状態をいいます。)

2/20 自衛隊入隊予定者激励会を開催



高原 康寿 さん(写真中央)

役場において、自衛隊入隊予定者激励会が開催され、今春から入隊される高原 康寿 さんが町長や来賓の方々から激励を受けました。高原さんは「みなさんのためになれるよう一生懸命頑張っていきたい」と抱負を語りました。

2/22 アスパア玉城ふれあいの館木質化工事完了



「みえ森と緑の県民税」を活用し、アスパア玉城ふれあいの館のホールや脱衣所の木質化工事を施工しました。

工事期間中は大変ご迷惑をおかけしました。引続きご愛顧賜りますよう今後ともよろしくお願い致します。

度会町

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（令和3年度版三重県市町要覧による）

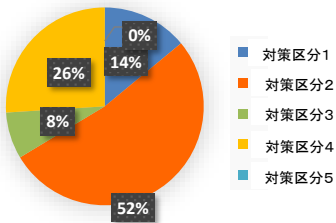
市町名	度会町	三重県
人口（人）	7,822	1,771,855
年少人口割合（％）＊ 1	11.3%	12.2%
森林面積(ha)	11,410.44	372,352.55
民有林面積(ha)＊ 2	11,410.44	348,833.49
森林率(%)	85%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	9.6	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含まれます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	1	流倒木撤去事業	1,518,000	1,518,000	1,518,000				
2	2	危険木伐採事業	3,314,520	3,314,000		3,314,000			
3	2	災害からライフラインを守る 事前伐採事業	9,466,425	2,366,000		2,366,000			
4	3	森林環境教育推進事業	827,816	827,000			827,000		
5	4	木材とふれあう場づくり推 進事業	2,820,400	2,820,000				2,820,000	
計			17,947,161	10,845,000	1,518,000	5,680,000	827,000	2,820,000	0

3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	13.16 ha	7,810,000	7,623,000	間伐等（環境林・特定水源地域）
森林再生力強化対策事業	307 m	589,071	353,000	植栽タイプ（獣害防止施設等の整備）
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0.1 ha	9,466,425	2,366,000	伐採調査、伐採施工、立木補償

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
本町は、三重県の南東部に位置する内陸地であり、町の西から東に流れる宮川・南から北へ流れる一之瀬川沿いに集落が広がっている。総面積のうち山林が84.5%占めており、古くから人工林の整備が進められてきたが、近年の木材価格の低迷や林業後継者不足により、林業経営が厳しい状況下となっている。
本県民税を財源に本町では、第7次度会町総合計画に定める「みらい わたらい わかち愛 ～想いはぐくみ、幸せつなぐまち～」の将来像を基盤に、地域材で木材製品を整備し、地域材の利用を促進するとともに、森林について「学ぶ場」と「ふれあう場」を提供する。また、近年の災害状況を踏まえ、道路・河川・ライフラインに関連した暮らしの安全を守る強靱なまちづくりをすすめる。
事業実施により期待される効果
倒木の恐れのある道路や公共施設等周辺の危険木の伐採をすることにより、災害時等における通行止めやライフラインの寸断を未然に防ぎ、住民避難の安全性や、日頃の利用の安全性の確保が期待できる。 川の上流の隆倒木を撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制でき、利用者や住民の安全性が向上する。
また、子どもたちへ木育授業や木工体験を行うことで、森林の魅力に触れるきっかけになり、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める機会になる。また、保育所や公園の備品を木製で整備することで、木育授業を受けた園児や、公園利用者に木への親しみを深めてもらい、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう場所としての活用が期待できる。
情報発信への取組
・年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
・事業の内容を町広報に掲載した。
・庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。
・事業実施中に、県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
・事業の写真を町SNSに投稿した。
・実施前に記者提供を行い、新聞記事として事業内容を紹介した。
・木材製品に県民税のロゴシールを貼り、県民税で整備を行ったことを情報発信した。
・宮リバー度会パークで実施した春まつり時に、ベンチ周辺に県民税のチラシやのぼり旗を設置した。また、ベンチ利用者に県民税を活用してベンチを整備したことを説明した。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(円)	内、譲与税 (円)
1	③ 私有林整備	9,708,600	9,708,600
2	⑥ 林道・林専道の整備等	10,628,200	10,628,000
3	⑥ 林道・林専道の整備等	12,000,000	12,000,000
4	⑥ 林道・林専道の整備等	9,299,400	9,299,400
5			
6			
7			
8			
9			
10			
	合計	41,636,200	41,636,000

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金 (基本枠、加算枠) 事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	流倒木撤去事業				
事 業 費	1,518,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,518,000		

1. 事業の目的

度重なる大雨により、河川上流の護岸が侵食され、多くの木が倒れかかるなど、豪雨時に下流域において災害を拡大させる恐れがある。渓流沿いに堆積した倒木や流木、倒木の恐れのある木を伐採・撤去し、道路や下流域への災害の拡大を抑制する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

下流域へ流出の恐れのある渓流沿いの木の伐採・撤去

【実施主体 (補助事業の場合は補助事業実施主体)】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

川口地内 1 箇所

【事業量】

0.1ha

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

下流へ流出する恐れのある木を伐採・撤去することで、道路や下流域への災害の拡大が抑制され、安全性の向上が期待できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

庁舎内にて、事業の実施前・実施後の写真等を掲載し、事業効果を伝えた。また、町SNSにドローンを活用して撮影した伐採前と伐採後の写真や、動画を掲載し、事業効果を仕えた。

【新たな対策・視点及び改善点】

過去の災害状況を鑑み、他事業では取り組めない下流へ流出する恐れのある流域沿いの不安定な木を町独自で伐採・撤去する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	流倒木撤去事業				
事 業 費	1,518,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			1,518,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

現場および事業に精通したいせしま森林組合を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	度会町川口地内 人 (R5.3月末現在)
期待する波及効果	森林および河川の適切な整備

【公的関与の必要性】

河川沿い等では森林所有者による整備が困難なため、町が実施することで災害拡大を抑制する。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

流倒木の撤去であり、実施箇所の転用、目的外使用の規制等は設けない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
その他	実施後	庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町
事業名	流倒木撤去事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
撤去作業	ミニグラップル使用	本	139.00	5,573	774,600	
諸経費		式	1.00		605,400	
		小計			1,380,000	
		消費税及び地方税相当額			138,000	10%（報償費を除く）
		合計			1,518,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	流倒木撤去事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

川口地区 (着工前)



写真2

川口地区 (完成)



写真3

川口地区 (着工前)



写真4

川口地区 (完成)



写真5

川口地内 (作業中) 県民税のぼり



写真6

庁舎内掲示

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業				
事 業 費	3,314,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,167,000	1,147,000	520

1. 事業の目的

林業の低迷等により、手入れが不足した森林が増加している現状等もふまえ、町道沿いや公共施設等周辺の危険木の伐採をおこなうことで、災害時等の倒木を未然に防ぐことで、地域に身近な森林における「災害に強い森林づくり」を進め、町道及び公共施設等を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保する。また公共施設施設災害により、施設の稼働が停止しないよう、施設が利用できる環境の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ①度会町美化センター隣接箇所の危険木を高所作業車等を用いて伐採した。
- ②町道川南線沿いの危険木を高所作業車等を用いて伐採した。
- ③牧戸地内のバス停付近にある危険木を高所作業車等を用いて伐採した。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施箇所及び箇所数】

- ①度会町美化センター 1箇所
- ②町道川南線 1箇所
- ③牧戸地内 1箇所

【事業量】

- ①度会町美化センター危険木伐採 157本
- ②町道川南線危険木伐採 45本
- ③牧戸地内危険木伐採 2本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

倒木の恐れのある危険木の伐採をすることにより、当該箇所を利用する住民の安全確保に繋がる。また、災害時等における通行止めリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地区住民からの要望により実施しているが、緊急を要する箇所の内、公共性が高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を実施していく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業				
事 業 費	3,314,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,167,000	1,147,000	520

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】①度会町美化センター

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	林業事業体	補助事業ではない		

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】②町道川南線

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】③牧戸地内

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

①現場および伐採業務に精通した林業事業体を選定。

②③作業範囲が狭く、電柱および電線が通っており、高度な伐採技術を要する業者から選定する必要がある。委託先は町内業者で、かつ入札指名業者の登録において、委託業務の「施設運営・管理－道路維持・管理」の項目に登録されている業者であるため、いせしま森林組合を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	度会町美化センター利用者： 60人/日 町道川南線利用者：200人/日 牧戸地内バス停利用者：10人/日
期待する波及効果	現場にある電線やNTT線の寸断を未然に防ぎ、電気や回線を利用する住民のライフラインや通信サービス確保につながる。

【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難なため、公共施設や生活道路などに近接している危険木伐採を町が実施する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施個所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
2	危険木伐採事業				
事 業 費	3,314,520 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,167,000	1,147,000	520

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。
その他	実施後	庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

①美化センター勤務の職員や美化センター利用者から「倒木の危険性がなくなり助かった」「通行する際に明るくなった」などの声があった。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
事業名	危険木伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

①度会町美化センター

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	スギ、ヒノキ、雑木	本	157.00	5,517	866,200	
高所作業車		日	1.00	27,000	27,000	
		小計			893,200	
		消費税及び地方税相当額			89,320	10%（報償費を除く）
		合計			982,520	

②町道川南線

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採	高所作業車使用	本	45.00	21,511	968,000	
交通誘導員		名	8.00	13,200	105,600	
諸経費		式			776,400	
		小計			1,850,000	
		消費税及び地方税相当額			185,000	10%（報償費を除く）
		合計			2,035,000	

③牧戸地内

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採		本	2.00	79,250	158,500	
高所作業車		日	1.00	27,000	27,000	
交通誘導員		名	3.00	13,200	39,600	
諸経費		式	1.00		44,900	
		小計			270,000	
		消費税及び地方税相当額			27,000	10%（報償費を除く）
		合計			297,000	

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

①美化センター 遠景（伐採前）



写真2

①美化センター 遠景（伐採後）



写真3

①美化センター（伐採前）



写真4

①美化センター（伐採後）



写真5

①美化センター（作業中）高所作業車 県民税のぼり旗



写真6

①美化センター（作業中）グラップル 県民税のぼり旗

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7の(1). 写真



写真1

②町道川南線（伐採前）



写真2

②町道川南線（伐採後）



写真3

②町道川南線（伐採前）



写真4

②町道川南線（伐採後）



写真5

②町道川南線（作業中） 県民税のぼり



写真6

②町道川南線（伐採後）

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	危険木伐採事業
-----	---------

7 の (1) . 写真



写真1

②町道川南線（伐採後）



写真2

②町道川南線（伐採後）



写真3

③牧戸地内（伐採前）



写真4

③牧戸地内（伐採後）



写真5

③牧戸地内（作業中）



写真6

庁舎内展示

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2.暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	危険木伐採事業				
7の(2). その他資料					



みえ森と緑の県民税を活用した取り組み

[2022年5月12日] ID:1696

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

シェア

ツイート

みえ森と緑の県民税市町交付金事業

「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、平成26年4月1日にみえ森と緑の県民税が導入されました。

みえ森と緑の県民税市町交付金事業では、この税を活用し、県内各市町が「2つの基本方針」と「5つの対策」に沿って、さまざまな事業を実施しています。

【基本方針1】 災害に強い森林づくり

- ・対策1 「土砂や流木を出さない森林づくり」
- ・対策2 「暮らしに身近な森林づくり」

【基本方針2】 県民全体で森林を支える社会づくり

- ・対策3 「森を育む人づくり」
- ・対策4 「森と人をつなぐ学びの場づくり」
- ・対策5 「地域の身近な水や緑の環境づくり」

詳しくは三重県ホームページを参照ください。

<http://www.pref.mie.lg.jp/SHINRIN/HP/mori/74681015390.htm>

令和4年度実施予定事業（令和4年5月10日現在）

- ・危険木伐採事業
- ・災害からライフラインを守る事前伐採事業
- ・流倒木撤去事業
- ・森林環境教育推進事業
- ・木材とふれあう場づくり推進事業

※予定事業は変更する場合があります。



ご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

☐役に立った ☒どちらともいえない ☐役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

☐見つけやすかった ☐まあまあ見つけやすかった ☒どちらともいえない ☐やや見つけにくかった ☐見つけにくかった

このページに関してのご意見がありましたらご記入ください。

(注意) お答えが必要なお問合せは、直接担当部署へお願いいたします(こちらではお受けできません)。

送信

お問い合わせ

度会町役場産業振興課森林係

電話: 0596-62-2416

ファックス: 0596-62-1138

電話番号のかけ間違いにご注意ください

[お問い合わせフォーム](#)

みえ森と緑の県民税を活用した取り組みへの別ルート

[ホーム](#) [暮らしのガイド](#) [産業](#) [林業振興](#)

[個人情報取扱い](#) [ウェブアクセシビリティ方針](#) [著作権・リンク等](#)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	9,466,425 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,366,000	0	7,100,425

1. 事業の目的

台風などの倒木被害によりライフラインを寸断する恐れのある危険木の事前伐採を行い、地域に身近な森林における「災害に強い森林づくり」を進め、ライフラインや町道を利用する住民の安全・安心な暮らしを確保する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

大台町の変電所から度会町の注連指地内に電力を供給する電線が通っている町道注連指線（田口・注連指地内）のライフラインを寸断する恐れのある危険木を事前に伐採する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施個所及び箇所数】

町道注連指線 1 箇所

【事業量】

危険木伐採調査 708本

危険木事前伐採 708本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

倒木の恐れのある危険木の伐採をすることにより、当該地区のライフラインを活用する住民の安全確保に繋がる。また、災害時等における通行止めのリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

台風・豪雨に備えるために、停電の実績のある場所を重点的に伐採する。

【新たな対策・視点及び改善点】

台風・豪雨に備えるために、停電の実績のある場所を重点的に伐採する。また、伐採範囲については、現場状況に合わせて必要最小限の範囲の伐採を実施する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
3	災害からライフラインを守る事前伐採事業				
事 業 費	9,466,425 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,366,000	0	7,100,425

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

当業務は、対象となる森林所有者への協力を得るための信頼関係が不可欠であるため、業務への熟知が要求される。委託先は他市町での実績・三重県からの情報提供により、当業務を熟知しているため選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	度会町注連指地区 227人 (R5.3月末現在)
期待する波及効果	現場にあるNTT線の寸断も未然に防ぎ、回線を利用する住民の通信サービス確保につながる。また、町道利用者の安全確保につながる。

【公的関与の必要性】

当業務は、令和 2 年度より新規事業として開始された、三重県・中部電力・市町の三者が連携した事業である。危険木の事前伐採を町が実施することにより、災害に強い森林づくりができる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

実施箇所については転用される見込みはなく、所有者や自治会で適切に管理を行ってもらう。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
その他	実施後	庁舎内において事業の概要、実施前・実施後の写真を掲載した。
その他	実施後	事業の写真を町 SNS に投稿した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
立会調査費		日	2.00	16,000	32,000	
毎木調査		本	708.00	452	320,200	
調査関連諸経費		式	1.00		167,800	
危険木伐採	高所作業車使用	本	708.00	5,000	3,540,000	
交通誘導員		日	13.00	26,400	343,200	1日あたり2人
伐採関連諸経費		式	1.00		3,336,800	
		小計			7,740,000	
		消費税及び地方税相当額			774,000	10%（報償費を除く）
立木補償費		本	708	1,345	952,425	
		小計			952,425	
		合計			9,466,425	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業
-----	---------------------

7 の（１）．写真



写真1

町道注連指線 ドローン空撮（伐採前）



写真2

町道注連指線 ドローン空撮（伐採後）



写真3

町道注連指線 ドローン空撮（伐採前）



写真4

町道注連指線 ドローン空撮（伐採後）



写真5

町道注連指線 調査業務（森林所有者境界立会）

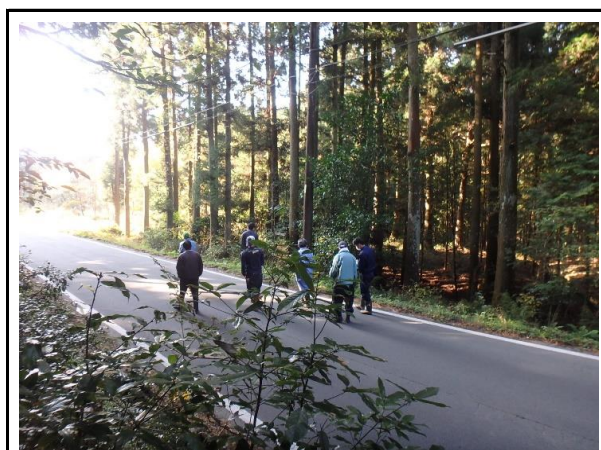


写真6

町道注連指線 調査業務（森林所有者境界立会）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				

7 の（１）．写真



写真1

町道注連指線 調査業務（毎木調査）県民税のぼり旗



写真2

町道注連指線 調査業務（毎木調査）



写真3

町道注連指線（伐採前）

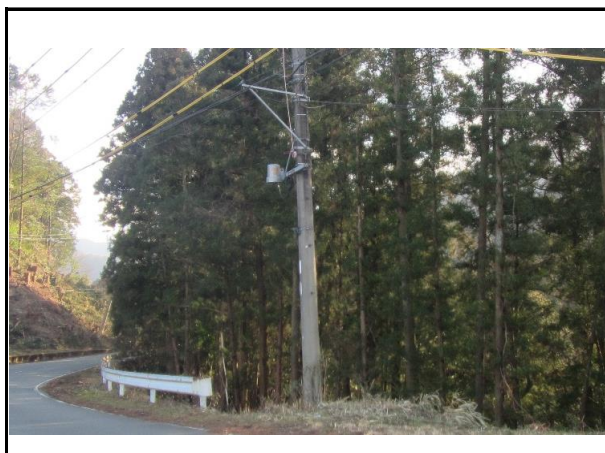


写真4

町道注連指線（伐採後）



写真5

町道注連指線（伐採作業中）



写真6

庁舎内掲示

第 1 1 号様式 (その 2) (評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	災害からライフラインを守る事前伐採事業				

7 の (2) . その他資料



がわ



度会町公式Instagramへ

投稿し、みえ森と緑の県

民税を活用して、災害から

ライフラインを守る事前伐

採事業を実施したことを

情報発信した。



『三重県度会町【公式】Instagram投稿リンク』

≪https://www.instagram.com/p/CpPERa_JGPg/?igshid=MDJmNzVkMjY=>>

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
4	森林環境教育推進事業				
事 業 費	827,816 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			827,000		816

1. 事業の目的

町や山林の未来を担う子供たちの森林・林業への関心を高め、森林の機能・緑の大切さについての理解を深め、将来の森林の担い手を育成する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

- ①小学3年生を対象に森林・林業に関する木育授業・木工体験（キホルダー作り）を実施。（度会小学校）
 ②年長児を対象に木育授業を実施。（棚橋保育所※長原保育所・中之郷保育所はリモートでの参加）
 また、県産材を利用した箸作り体験を実施。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施個所及び箇所数】

- ①度会小学校 木育授業 1 箇所
 ②保育所 木育授業 1 箇所（棚橋保育所 ※長原保育所・中之郷保育所はリモートでの参加）
 箸づくり 3 箇所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

【事業量】

- ①度会小学校 木育授業 2 回（2 クラス 2 限ずつ）
 ②保育所 木育授業 1 回（4 クラス合同で 2 限）
 箸づくり 4 回（4 クラス 1 限ずつ）

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

町内の約84%が森林である当町において、子どもたちへ木育授業・木工体験等を行うことで、森林の魅力に触れることをきっかけに、森林に対して興味を持ってもらい、森林の機能・緑の大切さについての理解を深める。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地域の森林に精通しているいせしま森林組合が木育授業を実施することで、専門的な知見から子ども達の年齢に合った教育ができた。また、箸づくり体験については、子ども達が自ら作成した箸を用いて、箸の持ち方の練習をしてもらうことで、日頃から木製品に触れてもらう機会を作ることができた。

【新たな対策・視点及び改善点】

従来から事業対象としている小学3年生と、今年度対象とした保育所の年長児に加え、来年度は中学2年生を対象とすることで、幼児期から学童期まで断続的に森林の機能・緑の大切さについて理解を深める機会を作る。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり		市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
4	森林環境教育推進事業				
事 業 費	827,816 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			827,000		816

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

専門的な知見から適切な教育を実施できるためいせしま森林組合を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	度会小学校 受講者 47名 (R4 小学3年生) 保 育 所 受講者 63人 (R4 年長児)
期待する波及効果	児童が自宅で授業内容を家族に伝えることで、家族にも森林の大切さを知ってもらえる。

【公的関与の必要性】

町が実施することで、住民・関係団体・事業者との架け橋になれる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

施設整備ではなく、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
のぼり設置	実施中	実施中に県民税ののぼり旗をたて、県民税で事業を実施していることをアピールした。
その他	実施前・後	実施前に記者提供を行い、新聞記事として事業を紹介した。
その他	実施後	事業の写真を町SNSに投稿した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町
事業名	森林環境教育推進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

①度会小学校

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料		限	4	9,000	36,000	
資材準備		式	1		90,000	丸太・材料作成等
消耗品費		式	1		37,000	サンドペーパー等
管理費		式	1		18,200	
		小計			181,200	
		消費税及び地方税相当額			18,120	10%（報償費を除く）
		合計			199,320	

②保育所

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料	出前授業分	限	2	9,000	18,000	
準備費	〃	式	1		48,000	資料作成・木材葉っぱ採取
木製皿	〃	枚	70	2,000	140,000	県産材
管理費	〃	式	1		20,600	
箸材料費	箸づくり分	膳	140	1,500	210,000	280本
諸経費	〃	式	1		134,760	
					0	
		小計			571,360	
		消費税及び地方税相当額			57,136	10%（報償費を除く）
		合計			628,496	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7 の (1) . 写真



写真1

①度会小学校 木育授業1



写真2

①度会小学校 木育授業2



写真3

①度会小学校 木育授業3



写真4

①度会小学校 木育授業4



写真5

①度会小学校 木育授業5



写真6

①度会小学校 木育授業6

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	-----	---------	----

事業名	森林環境教育推進事業
-----	------------

7の(1). 写真



写真1

②保育所 木育授業1



写真2

②保育所 木育授業2



写真3

②保育所 木育授業3



写真4

②保育所 木育授業4



写真5

②保育所 箸づくり1



写真6

②保育所 箸づくり2

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				
7 の（2）. その他資料					

実施前に記者提供を行い、新聞記事として事業を紹介した。

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

7 の（2）. その他資料



度会町公式Instagramへ投稿し、みえ森と

緑の県民税を活用して、森林教育を実施

したことを情報発信した。

『三重県度会町【公式】Instagram投稿リンク』

《《<https://www.instagram.com/p/Co89jIUBpZt/?igshid=MDJmNzVkMjY=>》》



対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	森林環境教育推進事業				

7 の (2) . その他資料

2/21 木に触れ合おう 森林環境教育

2月21日、度会小学校3年生を対象に、森林環境教育の出前授業を行いました。

この取り組みは、町の自然や林業に関心を持つ人づくりを目的に、いせしま森林組合の職員を講師に招き、「みえ森と緑の県民税」を活用した事業です。

講義では木の匂いを嗅いだり、年輪を数えたりするなど、正しい知識を楽しみながら身に付けていました。

この後、木片を使ったオリジナルのキーホルダー作りを実施。描きたいものを自分のタブレットに写しながら、やすりで削いた表面に絵や言葉を書き入れていました。

児童たちからは、「木っていい匂いがする」「この木、校長先生と同じ年ぐらい」と声が上がっていました。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金事業一覧

- ・森林環境教育
- ・危険木伐採
- ・荒廃木撤去
- ・木材とふれあう場づくり
- ・災害からライフラインを守る事前伐採

Pick Up!
わたらいニュース



木片に絵を描く児童たち



木の匂いを嗅ぐ



年輪を数証



1/30 お友達の良いところを探そう 中之郷保育所人権教室

1月30日、人権擁護委員の皆さんによる人権教室が中之郷保育所で開催されました。

この日は歌や踊りのショー、人形劇などが披露されたほか、園児たちは、動物に扮した委員と交流しながら、人権について学びました。

人形劇「カエルくんとヘビさん」は、穴に落ちてしまったカエルをヘビが助けて仲良くなるお話。「お互い良いところを探して、お友達と仲良くしてね」と呼びかけると、園児たちは元気よく返事をしていました。



2/12 マミーズが優勝！家庭婦人バレーボール大会

2月12日、町体育協会主催の「度会町家庭婦人バレーボール大会 温成大会」が、小川郷体育館で開催されました。

20回目の開催となったこの日、3チームが激闘を繰り広げました。

町広報紙『広報わたらい』へ掲載し、みえ森と緑の県民税を活用して、森林教育を実施したことを情報発信した。

大会結果

優勝 マミーズ
準優勝 ラブリー
第3位 ソフトリー



第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
5	木材とふれあう場づくり推進事業				
事 業 費	2,820,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,820,000		400

1. 事業の目的

保育所・宮リバー度会パークの備品を、県産材木製製品で整備することで、日ごろから木製製品に触れてもらうことで、木の温もりを身をもって感じ、森林・林業について理解を深め、木とふれあい、学ぶ場づくりを進める。

2. 事業実績概要

【事業内容】

保育所・宮リバー度会パーク内の備品を、県産材木製製品で整備する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

度会町

【実施個所及び箇所数】

①保育所 3箇所（棚橋保育所・長原保育所・中之郷保育所）

②宮リバー度会パーク 1箇所

【事業量】

①保育所 園児用テーブル26台、園児用椅子55脚

②宮リバー度会パーク 木製ベンチ3台

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

木への親しみを深め、木材の良さ・木材利用の意義を知ってもらう学びの場として活用する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

備品の整備と併せて、保育所・小学校で森林環境教育を実施したことで、森林の機能・緑の大切さについて理解を深めてもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

従来、木製でないテーブルや椅子を県産材を活用した木製備品で整備することで木材とふれあう場を提供する。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
5	木材とふれあう場づくり推進事業				
事 業 費	2,820,400 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,820,000		400

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

委託先は林業の業務に長年携わっている専門業者であり、三重県産の木材製品を調達できる適切な事業者であると考えられるため、いせしま森林組合を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	①保育所 園児221人 保育士47人 ②宮リバー度会パーク 約40,000人/年(入込客数)
期待する波及効果	保護者にも木材の良さをしてもらうことができる。

【公的関与の必要性】

町が県産材を使用し、木製品を整備することで、多くの住民に木材の良さを知ってもらい、木材利用の促進につながる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

各施設で適切に管理してもらう。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	実施前	年度当初に実施する事業を町HPにて掲載した。
広報誌掲載	実施後	事業の内容を町広報誌に掲載した。
ロゴマーク掲示	実施中・後	木材製品に県民税のロゴシールを張り、県民税で整備をおこなったことを情報発信した。
学校だより等掲	実施後	事業の内容を保育所だよりで掲載した。
その他	実施後	宮リバー度会パークで実施した春まつり時に、県民税のチラシやのぼりを設置した。また、ベンチ利用者に県民税を活用して整備したことを説明した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町
事業名	木材とふれあう場づくり推進事業		

4. 効率性：主な経費内訳

①保育所

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
園児用テーブル	W900×D450×H510	台	26	56,500	1,469,000	
園児用椅子	W369×D376×H485 Sh280	脚	55	15,000	825,000	
		小計			2,294,000	
		消費税及び地方税相当額			229,400	10%（報償費を除く）
		合計			2,523,400	

②宮リバー度会パーク

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
木製ベンチ		台	3.00	90,000	270,000	
		小計			270,000	
		消費税及び地方税相当額			27,000	10%（報償費を除く）
		合計			297,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
事業名	木材とふれあう場づくり推進事業				

7 の（1）．写真



写真1

①保育所園児用テーブル・椅子 使用風景 1



写真2

①保育所園児用テーブル・椅子 使用風景 2



写真3

①保育所園児用テーブル・椅子 県民税ロゴ 1



写真4

①保育所園児用テーブル・椅子 県民税ロゴ 2



写真5

②宮リバー度会パーク ベンチ全体写真 1



写真6

②宮リバー度会パーク ベンチ全体写真 2

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	度会町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	-----	---------	----

事業名	木材とふれあう場づくり推進事業
-----	-----------------

7 の（1）. 写真



写真1

②宮リバー度会パークベンチ



写真2

②宮リバー度会パーク ベンチ 県民税ロゴ

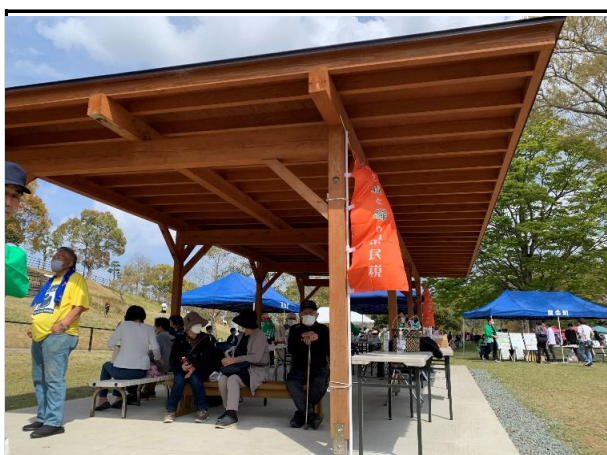


写真3

②宮リバー度会パーク ベンチ 春まつり



写真4

写真4



写真5

写真5



写真6

写真6

大紀町

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

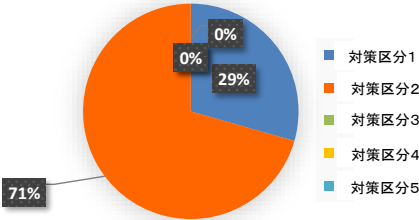
市町名	大紀町	三重県
人口（人）	8,068	1,782,190
年少人口割合（％）＊ 1	7.8%	12.4%
森林面積(ha)	21,131.83	372,352.55
民有林面積(ha)＊ 2	20,406.17	348,833.49
森林率(%)	91.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	13.2	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）					
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5
1	1	渓流倒木等処理事業	2,354,000	2,354,000	2,354,000				
2	2	生活環境林整備事業	5,647,895	5,646,000		5,646,000			
3		みえ森と緑の県民税市町交付金積立事業	4,976,000	4,976,000					4,976,000
				0					
				0					
				0					
				0					
計			12,977,895	12,976,000	2,354,000	5,646,000	0	0	4,976,000

3. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業	14.38	5,000,600	5,000,000	間伐等（災害緩衝林一体系）
森林再生力強化対策事業	1068	626,144	626,144	植栽タイプ
災害からライフラインを守る事前伐採事業	0	0	0	

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針	大紀町は、大台山系に連なる山岳地帯に属しており急峻な地形で、本町面積 2 3, 3 3 2 haのうち森林面積が 2 1, 1 3 3 haとなっており、9 1 %占めている。そのうち 1 3, 9 0 0 haと人工林率は 6 8 %に達しており、人工林地帯である。本町では、基本方針 1 の「災害に強い森林づくり」を強力に進める為、生活環境林整備事業と渓流倒木等 処理事業を実施し、町民生活の安全安心を向上させていく。また、非常時における森林内の危険木流出による被害拡大を軽減させる為、河川の上流部に位置する大紀町としての役割を果たすことで、県民全体の安全安心に繋げていく。水道水源林において、自主的な間伐を促進し、安心・安全な水道水の確保する為、水道水源林の町有林化を行っていく。
事業実施により期待される効果	事業実施により、通常時、住民が利用する生活道路や、生活に直結している人家への安全性が向 上したことで、非常時における避難や、被害拡大防止の観点からも、住民の安全安心を向上することができた。
情報発信への取組	事業実施について、森林所有者や地区代表者に税事業での実施を説明している。 事業実施中は、県民税職を事業箇所にて、県民税での事業実施をPRしている。 事業完了後、当年行った事業においてPRポスターを作製し、庁舎掲示及び大紀町HPにアップし 税事業のPRを行う。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

令和 4 年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	④ 公有林整備（財産区有林含む）	796	796
2	⑨ 林業就業者の育成	1,200	1,200
3	⑧ 担い手確保	450	450
4	⑫ その他（人材育成等）	3,275	3,275
5	⑦ その他（森林整備）	1,936	1,936
6	③ 私有林整備	39,728	39,712
7	⑬ 木造公共建築物の整備等	36,638	9,347
8			
9			
10			
	合計	84,023	56,716

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備（財産区有林含む）
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他（森林整備）
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他（人材育成等）
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他（木材・普及啓発関係）
⑰ 基金積立（森林整備等）
⑱ 基金積立（人材育成等）
⑲ 基金積立（木材利用等）
⑳ 基金積立（執行残額等）

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
1	渓流倒木等処理事業				
事 業 費	2,354,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,354,000	0	0

1. 事業の目的

過去の台風や豪雨により発生した山間部渓流沿いの倒木や流木は、今後豪雨が発生した際には、下流へ流出する可能性があり、自然災害を増幅させることが予想される。そのため、継続して倒木、流木の伐採・除去及び、小規模な、渓流内への異常堆積土砂を渓流外へ搬出を行うことにより、自然災害の拡大化を抑制させる。

2. 事業実績概要

【事業内容】

山間部渓流沿いや人家に近い河川沿いの危険倒木・流木等を伐採・除去（渓流外に搬出）する。（県事業以外の小規模対象）

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大紀町

【実施箇所及び箇所数】

3 箇所

【事業量】

危険木伐採・危険木等の除去

打見榎谷地区:40本・堆積土砂除去、永会中切地区:10本、藤・大内山新田地区:30本 計80本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

渓流内倒木等の危険木等を除去することにより、危険木が下流域へ流出し、橋梁等へ衝突及び堆積の危険性を減少させ、渓流外への越水等の影響を防ぐことで、災害の発生や増幅の可能性を低下させることにより、下流域住民の安心・安全が向上する。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

倒木や流木だけでなく、根が洗われて渓流内に堆積することが予想される立木についても、所有者の了解を得ながら、危険木の除去を実施していく。

【新たな対策・視点及び改善点】

当初からの継続事業で、地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を行っていく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
1	溪流倒木等処理事業				
事 業 費	2,354,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			2,354,000	0	0

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	—	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

現場及び事業に精通した大紀森林組合を選定。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	362戸
期待する波及効果	事業実施する箇所直下の集落だけでなく下流域全体の受益が見込まれる。

【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明した。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施業中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町
事業名	溪流倒木等処理事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
溪流内危険木除去・堆積土砂撤去						
打見榎谷地区	グラップル・バックホウ使用	本	40.00	37,650	1,506,000	溪流内水有 堆積土除去
永会中切地区	人力	本	10.00	15,300	153,000	溪流内水無
大内山大谷地区	グラップル使用	本	30.00	16,033	481,000	溪流内水有
		小計			2,140,000	
		消費税及び地方税相当額			214,000	
		合計			2,354,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	渓流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の（１）．写真



写真1

大紀町打見檜谷地内
渓流内に堆積する流出の恐れのある危険木



写真2

大紀町打見檜谷地内
作業中（グラップル、バックホウ使用）



写真3

大紀町打見柏檜地内
完了



写真4

大紀町永会中切地区
渓流内に堆積する流出の恐れのある危険木



写真5

大紀町永会中切地区
作業中（人力）



写真6

大紀町永会中切地区
完了

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の（1）. 写真



写真7

大紀町大内山・大谷地内
溪流内に堆積する流出の恐れのある危険木

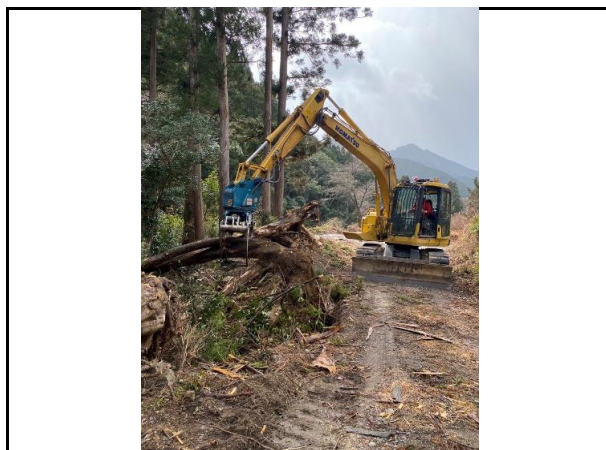


写真8

大紀町大内山・大谷地内
作業中（グラブ使用）



写真9

大紀町大内山・大谷地内
完了



写真10

庁舎内実績掲示状況



写真11

庁舎内実績掲示状況

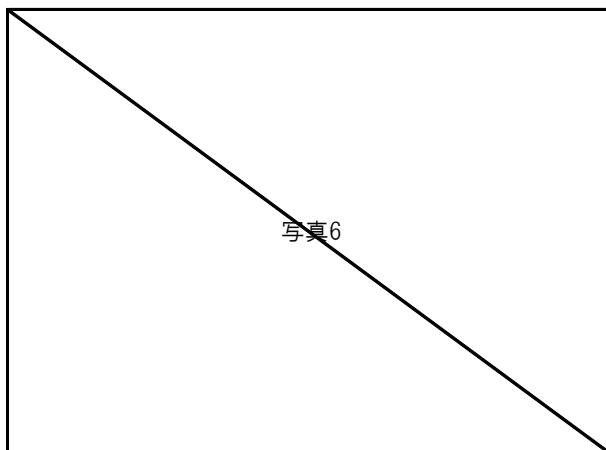


写真12

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
事業名	溪流倒木等処理事業				
7 の（2）. その他資料					



言語を選択 ▼
背景色 白 黒 青
文字サイズ A A

・大紀町について
・サイトマップ

ホーム
くらしの情報
子育て・教育
健康・福祉
観光・文化
事業者の方へ
町政情報

林業

- 特産品紹介
- 山林伐採について
- みえ森と緑の県民税
- 緑化について
- 森林環境課と税の使途公表について

ライフシーンから選ぶ

 妊娠・出産
 子育て

 入国・入学
 結婚・離婚

 引越・住まい
 就職・退職

 高齢・介護
 おくやみ

いざという時に(防災等情報)

 急病
 消防

 防災
 防犯

 防災マップを確認する

便利ガイド

- 各課電話番号
- 各課様式ダウンロード
- お知らせ広場
- 広報たいき
- 各種計画書の公開
- リンク集
- サイトポリシー

みえ森と緑の県民税

みえ森と緑の県民税

森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。

しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。

皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。
※「みえ森と緑の県民税」（県税のページ）へ

「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて

- 土砂や流木による被害を出さない森林づくり
土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。
- 暮らしに身近な森林づくり
生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。
- 森を育む人づくり
「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。
- 森と人をつなぐ学びの場づくり
未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。
- 地域の身近な水や緑の環境づくり
地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介

- ⇒令和4年度実施事業【PDF：2MB】
- ⇒令和3年度実施事業【PDF：2MB】
- ⇒令和2年度実施事業【PDF：2MB】
- ⇒平成26年度実施事業【PDF：485KB】

お問い合わせ

農林課
〒519-2703 三重県度会郡大紀町滝原1610番地1
TEL：0598-86-2246 FAX：0598-86-3690
MAIL：nor@town.mie-taiki.lg.jp

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-------------------------	-----	-----	---------	----

事業名	溪流倒木等処理事業
-----	-----------

7 の（2）. その他資料



令和 4 年度

みえ森と緑の県民税市町交付金 事業実施状況

（生活環境林整備事業）

（溪流倒木等処理事業）

（流域防災機能強化対策事業）

（森林再生力強化対策事業）



○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町野原地内の生活道路にかかる危険木（枯木） 危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町大内山地内の生活道路にかかる危険木（枯木） 危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。

この事業により、上記箇所と外 11 箇所で合計約 130 本の危険木を除去し
住民の皆様の安心安全が向上しました。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	1. 土砂や流木による被害を出さない森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
事業名	溪流倒木等処理事業				
7の(2). その他資料					

○溪流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した溪流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町打見地内の溪流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木



危険木の除去により安全安心が向上しました。



大紀町大内山地内の溪流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木



危険木の除去により安全安心が向上しました。



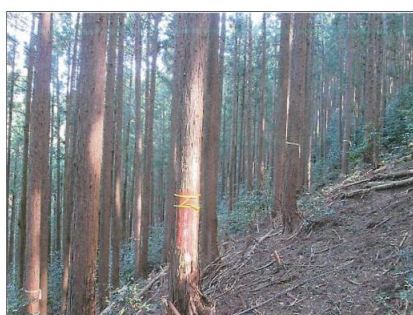
この事業により、上記 2 箇所と外 1 カ所で合計約 80 本の危険木を除去し住民の皆様が安心安全が向上しました。



○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある溪流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前



完成



この事業により、大紀町柏野地内（14.38ha）の森林整備（間伐）を行いました。

○森林再生力強化対策事業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、3箇所L=1,068mへの獣害防護柵への支援を行いました。



第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名					
2	生活環境林整備事業					
事 業 費	5,647,895 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他	
			5,646,000		1,895	

1. 事業の目的

公共施設や生活道路（通学路等）沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去し、通常の暮らしの安全を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

公共施設や生活道路（通学路等）沿い及び人家裏等の倒木の恐れのある危険木を除去する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

大紀町

【実施箇所及び箇所数】

13箇所

【事業量】

危険木伐採

野原地区：1本、野原向ノ辻地区：8本、野原御堂垣内地区：1本、野添中垣戸地区：2本、永会西沖地区：15本、永会徳仙広地区：20本、阿曾片倉地区：15本、崎宮原地区：2本、錦浅ヶ谷 1 地区：10本、錦浅ヶ谷 2 リク：20本、錦姫坂越地区：20本、錦奥出地区：15本 大内山新田地区：1本 合計N=130本

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

倒木等の恐れがある危険木を除去することにより、道路等施設利用者の暮らしの安全の向上が期待できる。また、台風等の非常時における通行止めのリスクを下げ、住民避難の安全性を向上できる。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

地区住民の要望により実施しているが、特に危険度が高く緊急を要する箇所から、その中でも公共性の高く、波及効果の高い場所を優先しながら計画的に実施している。

【新たな対策・視点及び改善点】

当初からの継続事業で、地域住民からの要望も多く、今後も計画的に事業を行っていく。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	-----	---------	----

番 号	事 業 名				
2	生活環境林整備事業				
事 業 費	5,647,895 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			5,646,000		1,895

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない	—	

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

現場及び事業に精通した大紀森林組合を選定。
また、大紀森林組合で対応できない箇所については、事業体に依頼。

【主な経費内訳】
(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	652戸
期待する波及効果	地区住民だけでなく、不特定多数の受益が見込まれる。

【公的関与の必要性】

森林所有者による整備が困難な為、町による緊急性の高い箇所を整備する必要がある。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林所有者に、税事業での実施を説明する際に、その他目的に転用しないよう説明した。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
のぼり設置	実施中	施業中にノボリを設置し、県民税での実施を周知する。
ポスター掲示	実施後	当該年度実績を庁舎内に掲示、県民税事業での実施を周知する。
HP掲載	実施後	当該年度実績を大紀町HPに掲載し、県民税事業での実施を周知する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地区住民代表者への聞き取りによると、地域の安全性が向上し喜んでいる。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町
事業名	生活環境林整備事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
危険木伐採・除去						
野原地区	人力（特殊伐採）	本	1.00	274,450	274,450	傾斜地、道路沿い
野原向ノ辻地区	高所作業車・グラップル使用	本	8.00	80,625	645,000	平地、道路沿い、 見張り員含む
野原御堂垣内地区	高所作業車・グラップル使用	本	1.00	279,000	279,000	平地、道路沿い
野添中垣戸地区	グラップル使用	本	2.00	50,000	100,000	傾斜地、道路沿い
永会西沖地区	高所作業車使用	本	15.00	22,733	341,000	平地、道路沿い、
永会徳仙広地区	高所作業車・グラップル使用	本	20.00	27,900	558,000	平地、道路沿い、 見張り員含む
阿曾片倉地区	高所作業車・グラップル使用	本	15.00	89,133	1,337,000	平地、道路沿い、 巨木、見張り員含む
崎宮原地区	クレーン車使用	本	2.00	178,500	357,000	傾斜地、人家裏、 見張り員含む
錦浅ヶ谷 1 地区	人力（特殊伐採）	本	10.00	53,200	532,000	傾斜地、人家裏
錦浅ヶ谷 2 地区	人力	本	20.00	12,100	242,000	傾斜地、道路沿い
錦姫坂越地区	高所作業車使用	本	20.00	6,550	131,000	傾斜地、道路沿い
錦奥出地区	人力	本	15.00	10,733	161,000	傾斜地、避難路沿い
大内山新田地区	高所作業車・グラップル使用	本	1.00	177,000	177,000	傾斜地、道路沿い、 見張り員含む
		小計			5,134,450	
		消費税及び地方税相当額			513,445	
		合計			5,647,895	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
事業名	生活環境林整備事業				

7 の（1）. 写真



写真1

大紀町野原地区
生活道路に隣接する倒木の恐れのある危険木



写真2

大紀町野原地区
作業の伐採状況（人力、特殊伐採）



写真3

大紀町野原地区
完了



写真4

大紀町野原・向ノ辻地区
生活道路に隣接する倒木の恐れのある危険木



写真5

大紀町野原・向ノ辻地区
作業中（高所作業車、グラップル使用）



写真6

大紀町野原・向ノ辻地区
完了

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の（１）．写真



写真7

大紀町野原・御堂垣内地区
生活道路に隣接する枯れが進んでいる危険木



写真8

大紀町野原・御堂垣内地区
作業中（高所作業車・グラップル使用）



写真9

大紀町野原・御堂垣内地区
完了



写真10

大紀町阿曽・片倉地区 生活道路に隣接する倒木
や枝の落下の恐れのある危険木



写真11

大紀町阿曽・片倉地区
作業中（高所作業車・グラップル使用）



写真12

大紀町阿曽・片倉地区
完了

第11号様式(その2)(評価委員会資料)

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7の(1). 写真

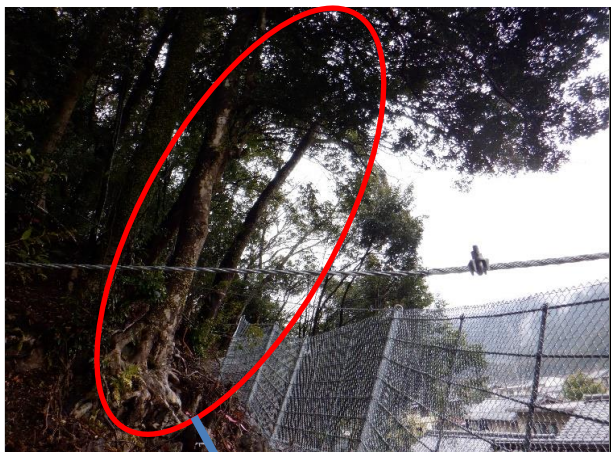


写真13

大紀町崎・宮原地内
人家裏に在する枯れが進行している危険木



写真15

大紀町崎・宮原地内
完了



写真17

庁舎内実績揭示状況



写真14

大紀町崎・宮原地内
作業中(クレーン車使用)

写真4

写真16



写真18

庁舎内実績揭示状況

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の（2）. その他資料



言語を選択 ▼
背景色 白 黒 青
文字サイズ A A

大紀町について
サイトマップ

ホーム
くらしの情報
子育て・教育
健康・福祉
観光・文化
事業者の方へ
町政情報

林業
特産品紹介
山林伐採について
みえ森と緑の県民税
緑化について
森林環境課と税の使途公表について

ライフシーンから選ぶ

妊娠・出産
子育て

入国・入学
結婚・離婚

引越・住まい
就職・退職

高齢・介護
おくやみ

いざという時に(防災等情報)

急病
消防

防災
防犯

防災マップを確認する

便利ガイド
各課電話番号
各課様式ダウンロード
お知らせ広場
広報たいき
各種計画書の公開
リンク集
サイトポリシー

みえ森と緑の県民税

みえ森と緑の県民税
森林は土砂災害の防止、水源のかん養など私たちの生活に欠かすことのできない大切な働きを持っています。
しかし、山村地域では過疎化などにより手入れが不足した荒廃森林が増えており、ゲリラ豪雨など異常気象が増加していることも考え合わせると、自然災害の発生リスクが高まっていると考えられます。
皆さんの生命・財産を守る「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるため、皆さんのご理解・ご協力をお願いします。
「みえ森と緑の県民税」のしくみ等については、三重県のホームページをご覧ください。
※「みえ森と緑の県民税」（県税のページ）へ

「みえ森と緑の県民税」の使いみちについて
○土砂や流木による被害を出さない森林づくり
土砂や流木によって人家や公共施設、沿岸及び漁業等に被害が及ばないように、洪水緩和や土砂災害防止機能等の森林の働きを発揮させるために必要な対策を進めます。
○暮らしに身近な森林づくり
生活環境の保全や向上のため、県民の暮らしにかかわりの深い森林について必要な対策を進めます。
○森を育む人づくり
「災害に強い森林づくり」を将来に引き継ぎ、また森林やみどりを大切に思い・育む人づくりの為、森林環境教育・木育に携わる人材の育成や、教育活動を進めます。
○森と人をつなぐ学びの場づくり
未就学児や児童生徒をはじめ、様々な県民の森林や木材について学ぶ・ふれあう場を提供し、森と県民との関係を深める対策を進めます。
○地域の身近な水や緑の環境づくり
地域の身近な水や緑の環境づくりを進めるため、森・川・海のつながりを意識した森林や緑、水辺環境を守り、生物多様性を保全する活動支援や、森林や緑と親しむための環境整備等、身近な緑や水辺環境と県民との関係を深める対策を進めます。

大紀町で実施した「みえ森と緑の県民税市町交付金事業」の紹介
⇒令和4年度実施事業【PDF：2MB】
⇒令和3年度実施事業【PDF：2MB】
⇒令和2年度実施事業【PDF：2MB】
⇒平成26年度実施事業【PDF：485KB】

お問い合わせ
農林課
〒519-2703 三重県度会郡大紀町滝原1610番地1
TEL：0598-86-2246 FAX：0598-86-3690
MAIL：nor@town.mie-taiki.lg.jp

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	-----	---------	----

事業名	生活環境林整備事業
-----	-----------

7 の（2）. その他資料



令和 4 年度

みえ森と緑の県民税市町交付金 事業実施状況

（生活環境林整備事業）

（溪流倒木等処理事業）

（流域防災機能強化対策事業）

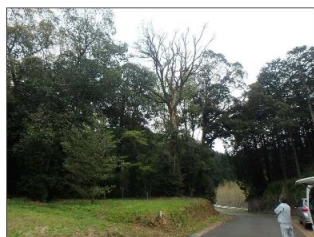
（森林再生力強化対策事業）



○生活環境林整備事業○

事業の目的：公共施設や通学路等の、生活に支障を及ぼす恐れのある危険木を除去し、暮らしの安全を図る

大紀町野原地内の生活道路にかかる危険木（枯木） 危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



大紀町大内山地区内の生活道路にかかる危険木（枯木） 危険木の除去により、地域住民の安心安全が向上しました。



この事業により、上記箇所と外 11 箇所で合計約 130 本の危険木を除去し
住民の皆様の安心安全が向上しました。



第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	大紀町	新規・継続の別	継続
事業名	生活環境林整備事業				

7 の（2）. その他資料

○溪流倒木等処理事業○

事業の目的：過去の台風、豪雨によって発生した溪流沿いの倒木や流木を除去することにより、時期豪雨の際に下流への流出を未然に防ぐことにより、自然災害拡大の抑制を図る。

大紀町打見地内の溪流内に堆積した、下流に流出の恐れがある危険木



危険木の除去により安全安心が向上しました。



大紀町大内山地内の溪流内に堆積した、下流に流出の可能性がある危険木



危険木の除去により安全安心が向上しました。



この事業により、上記 2 箇所と外 1 カ所で合計約 80 本の危険木を除去し住民の皆様が安心安全が向上しました。



○流域防災機能強化対策事業○

事業目的：三重県と連携し、土壌侵食の恐れのある溪流沿いの森林において、根系や下層植物の発達を促す森林整備を行い、流域における防災機能の強化を図る。

着手前



完成



この事業により、大紀町柏野地内（14.38ha）の森林整備（間伐）を行いました。

○森林再生力強化対策事業○

事業目的：森林の有する土砂流出機能等を強化することを目的として、新植地等の森林の再生を妨げる野生鳥獣による被害の軽減を図る。

この事業により、3箇所L=1,068mへの獣害防護柵への支援を行いました。



南伊勢町

令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 市町別総合評価シート

1. 基礎情報（平成30年度版三重県市町要覧による）

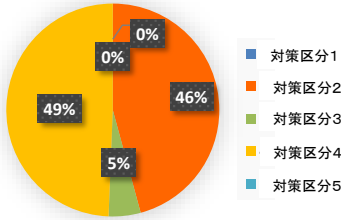
市町名	南伊勢町	三重県
人口（人）	11,461	1,782,190
年少人口割合（％）＊ 1	6.1%	12.4%
森林面積(ha)	20,629.37	372,352.55
民有林面積(ha)＊ 2	20,429.98	348,833.49
森林率(%)	85.0%	64.0%
都市公園面積（㎡/人口）＊ 3	0.2	10.1

＊ 1：全人口に占める15歳未満の人の割合

＊ 2：国有林以外の森林（個人や法人が所有する私有林のほか、都道府県や市町村が所有する公有林も含みます。）

＊ 3：都市公園法に基づき国または地方公共団体が設置する都市公園及び都市計画区域外において都市公園に準じて設置されている特別地区公園

対策区分別事業費割合 ★①-5、②-5



2. 令和 4 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠・加算枠）事業実績

番号	対策区分	事業名	事業費 (円)	交付金充当額（円）（当年度交付金額＋基金活用額）						
				小計	対策区分 1	対策区分 2	対策区分 3	対策区分 4	対策区分 5	基金積立
1	2	危険木除去事業	6,050,000	6,050,000		6,050,000				
2	3	森林環境教育事業	642,950	641,000			641,000			
3	4	南勢保育園・南伊勢図書室 木製品購入事業	6,523,000	6,523,000				6,523,000		
				0						
計			13,215,950	13,214,000	0	6,050,000	641,000	6,523,000	0	0

3. 年度 みえ森と緑の県民税市町交付金（連携枠）（防災枠）事業実績

事業区分	事業量 (ha・m)	事業費 (円)	内交付金充 当額(円)	事業概要
流域防災機能強化対策事業				
森林再生力強化対策事業				
災害からライフラインを守る事前伐採事業				

4. 事業方針及び事業実施により期待される効果、情報発信への取組

事業方針
当町の森林・林業を取り巻く情勢として、総土地面積の約85％（20,630ha）が森林で覆われているにもかかわらず、林業就業者は27人しかおらず、林業者が極めて少ない状況となっています。森林の整備についても、過去10年間に行われた間伐面積は約250haで、整備が行われていない森林が大半であり、森林所有者の関心が低くなっていることが窺えます。そのような状況の中、森林について興味関心が持てるように、公共施設周辺や通学路・避難道等にかかる危険木の除去や、森林環境教育事業による森や海を大切に思う子どもの育成、子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的に県民税を活用する。
事業実施により期待される効果
危険木の除去については、自然災害等による倒木を未然に防ぐことで、安全安心して暮らすことに寄与している。 森林環境教育事業については、樹木について知識を得ることや木製品が身近にあることで森と緑の大切さを理解し、森林について考えるきっかけづくりへの寄与を期待している。 南勢保育園・南伊勢図書室木製品購入事業については、日常的に木材製品とふれあうことにより、木製品のあたたかみを感じることで保育環境の向上につながると考えている。
情報発信への取組
町の広報誌やHP等への掲載することにより、情報発信を行いました。

第 11 号様式（その 1）（参考資料）

年度森林環境譲与税事業の実績

事業 番号	事業カテゴリー	事業費	
		(千円)	内、譲与税 (千円)
1	③ 私有林整備	1,716	1,716
2	⑥ 林道・林専道の整備等	2,750	2,750
3	⑤ 森林保護対策	7,304	7,304
4	⑫ その他（人材育成等）	236	236
5	⑧ 担い手確保	42	42
6	⑩ 専門員の雇用	1,227	1,227
7	⑰ 基金積立（森林整備等）	32,404	32,404
8			
9			
10			
	合計	45,679	45,679

【記載要領】

ア. 事業カテゴリーの欄は下記の項目から該当するものを選択し記載するものとする。

事業カテゴリーの項目
① 意向調査の準備作業
② 意向調査
③ 私有林整備
④ 公有林整備(財産区有林含む)
⑤ 森林保護対策
⑥ 林道・林専道の整備等
⑦ その他(森林整備)
⑧ 担い手確保
⑨ 林業就業者の育成
⑩ 専門員の雇用
⑪ 新たな組織の設立
⑫ その他(人材育成等)
⑬ 木造公共建築物の整備等
⑭ 木質バイオマス利用推進
⑮ 森林・林業・木材普及活動等
⑯ その他(木材・普及啓発関係)
⑰ 基金積立(森林整備等)
⑱ 基金積立(人材育成等)
⑲ 基金積立(木材利用等)
⑳ 基金積立(執行残額等)

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり			市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
1	危険木除去事業						
事 業 費	6,050,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			6,050,000				

1. 事業の目的

公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木を除去することで、災害に強い森林づくりを進めるとともに安心安全な街づくりを目指し、地域住民の生活環境の向上を図る。

2. 事業実績概要

【事業内容】

地域住民の要望を確認し、公共施設の周辺や通学路、避難道等の危険木の除去を行う。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

南伊勢町（委託契約先：いせしま森林組合）

【実施箇所及び箇所数】

4 箇所（村山・神前浦・神津佐・伊勢地地区）

【事業量】

村山：避難道路沿い71本(250㎡)、神前浦：公共施設35本(12㎡)、神津佐：避難路沿い40本(20㎡)、伊勢地：通学路沿い42本(123㎡)

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

通学路、避難道など、町民が日常に多く利用する道路や、緊急時に必要となる道路周辺の危険な状態の木が除去されたことにより、安全安心な街づくりに寄与した。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

伐採中の道路通行止め等について、地元へ協力をいただき円滑に実施できた。

伐採後の土砂対策について地元の区と協議した。

【新たな対策・視点及び改善点】

危険な箇所を事前に対策するため、地元と情報交換を行った。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり		市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	--	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
1	危険木除去事業				
事 業 費	6,050,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,050,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町の規定に基づき、度会町・大紀町・大台町の認定林業事業体から、指名競争入札で選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	村山380人 神前浦617人 神津佐211人 伊勢地134人
期待する波及効果	町民の安全安心な生活に寄与している。

【公的関与の必要性】

通学路や避難道の安全は確保する必要があるが、高齢化も進んでおり、また技術が必要であることや、緊急に実施する必要性があるため、所有者による整備は困難であると考えられる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

通学路や避難道の安全のための緊急の危険木除去であり、箇所の転用の制限等は設けずに柔軟に対応していきたいと考えている。管理体制については、町や管理者により適切に管理していく。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和4年度事業実績として効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。
広報誌掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、効果が分かりやすいように実施前と実施後の写真と併せて公開する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

地元の区長から感謝の言葉をいただいた。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町
事業名	危険木除去事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
直接費	危険木伐採工	本	188.00	15,600	2,932,800	
諸経費	共通仮設費 等	式	1.00	2,567,200	2,567,200	
消費税		%	10.00		550,000	
		合計			6,050,000	

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	2. 暮らしに身近な森林づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-----------------	-----	------	---------	----

事業名	危険木除去事業
-----	---------

7 の（１）．写真



写真1

村山 実施前



写真2

村山 実施後



写真3

神前浦 実施前



写真4

神前浦 実施後



写真5

神津佐 実施前



写真6

神津佐 実施後

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり			市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名						
2	森林環境教育事業						
事 業 費	642,950 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他		
			641,000		1,950		

1. 事業の目的

森林や緑を大切に思い育む人づくりや、森林への理解を深めるため、小学生を対象に、森林の働きや木材について学びふれあう機会となる森林環境教育を実施する。

2. 事業実績概要

【事業内容】

町内の小学生を対象に、樹木や木製品について学びふれあうことを目的とした物品調達を実施する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

南伊勢町（委託契約先：いせしま森林組合）

【実施個所及び箇所数】

3 箇所（南島西小学校・南島東小学校・南勢小学校）

【事業量】

南勢小学校：5年生23名
南島西小学校：1～2年生18名
南島東小学校：1～2年生18名 計59名 及び学校関係者

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

森林や木材にふれあう機会が少ない現代の子どもたちにおいて、木や緑とふれあう貴重な機会であり、森林に興味を持ってもらえることを期待している。
樹木について興味を持ってもらえることや、木製品を身近に使用することで森や緑について考えてもらうきっかけづくりとなっている。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

森のせんせいに授業をしてもらうことで、森林の働きや仕組みを知ってもらうことに効果を期待できた。また、木にふれたり自分で作る達成感を感じてもらった。

【新たな対策・視点及び改善点】

事業実施の時期について、学校の意向に沿いながらも新型コロナウイルスの流行が低下している時期で実施した。

令和4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
2	森林環境教育事業				
事 業 費	642,950 円	(財源内訳)	当年度交付金 641,000	市町基金	その他 1,950

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び 補助対象者等	③補助率・ 負担率等	④補助の上限及び 定額補助の額	備考
委託事業	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

物品調達については、実績のあるいせしま森林組合を町の規定に基づき、随意契約を行なった。
森林教育の講師は県民税を活用して設立されたみえ森づくりサポートセンターに森のせんせいとして登録がある方を選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	南勢小23名、南島西小18名、南島東小18名及び学校関係者に対して実施。
期待する波及効果	森や緑を大切に考える子どもの育成

【公的関与の必要性】

通常の授業のほか、総合的な学習として森林環境教育を実施することは、これからの地域を支える子どもたちにとって非常に重要である。また森林環境教育を校外の先生が行うことは、子どもたちの関心が格段に高まるなどの効果が期待できる。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

森林環境教育事業であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和4年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

小学校では、樹木カードを持って校内の木を見て回ったとのことで、事業の実施効果があったと考えている。

第 11 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町
------	-------------	-----	------

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
講師料	1クラス2限	クラス	3.00	18,000	54,000	3クラス分
準備費	事前打合せ 等	式	3.00	72,000	216,000	3クラス分
資材費	樹木カード、木製湯玉 (1人5個)、スマホスタンド、木工用材料	式	1.00	216,000	216,000	3クラス分
交通費		式	1.00	3,539	3,539	各学校（2名分）
管理費	間接経費	%以内	20.0		94,961	
		小計			584,500	
		消費税及び地方税相当額			58,450	10%
		合計			642,950	

対策区分	3. 森を育む人づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------	-----	------	---------	----

事業名	森林環境教育事業
-----	----------

7の(1). 写真



写真1

南島東小学校



写真2

南島東小学校



写真3

南島東小学校



写真4

南島西小学校



写真5

南島西小学校



写真6

南勢小学校



災害廃棄物図上訓練

2月11日、地域連携棟と南伊勢ワークスペースで、災害廃棄物処理の図上訓練が行われました。

発災4日目からの対応を想定し、三重県や自衛隊、船越区のみなさんなどが訓練に参加されました。

町が策定した初動対応マニュアルを基に、状況付与シートに書き込まれた支援要請や確認事項などに関係機関が対応し、それぞれの役割や連携体制、初動対応の手順などを確かめました。



バスの乗り方教室

2月14日に南島東小学校の1、2年生を対象に「バスの乗り方教室」が行われました。

三重交通による行き先確認などの乗り方の説明があり、その後、実際に整理券を取ってバスに乗車し、降車ボタンや運賃の支払いなどを体験しました。バスについての質問コーナーでは、多くの意見があり、楽しく学んでいました。



木育教室

1月31日に南島東小学校、2月6日に南島西小学校で、それぞれ1、2年生を対象に、2月16日に南勢小学校の5年生を対象に木育教室が開催されました。

この日は『みえ森と緑の県民税』を活用し、いせしま森林組合の職員が講師として、森のはたらきについてお話いただきました。その後、南島東・西小学校では木のマグネットを、南勢小学校では木の箸を制作し、子どもたちからは「森のことがよくわかった。」との声が聞かれました。



徳田さん交通安全寄附

徳田健吉さんより、ヒノキで手作りされた交通安全のお守りをご寄附いただきました。

役場両庁舎玄関付近に置いてありますので、役場にお立ち寄りの際は、ぜひお持ち帰りください。



第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
番 号	事 業 名				
3	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業				
事 業 費	6,523,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,523,000		

1. 事業の目的

子どもや町民が森林や木材についてふれあいながら学ぶことができる場づくりなど、町民が将来にわたって安全安心に過ごしながら森や緑と関わる機会を創出することを目的とする。

2. 事業実績概要

【事業内容】

保育園と図書室に三重県産木材を使用した木製備品を導入する。

【実施主体（補助事業の場合は補助事業実施主体）】

南伊勢町（契約先：いせしま森林組合）

【実施個所及び箇所数】

2 箇所（おひさま保育園、みなみいせ図書室）

【事業量】

テーブル4台、園児テーブル44台、園児チェア90脚、乳児テーブルチェア10台、絵本棚1台、閲覧テーブル2台、椅子5脚、スツール5脚、看板2枚

3. 有効性【2つの基本方針である「災害に強い森林づくり」「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めるうえで有効な取組であるか。】

【事業実施により期待される効果】

保育園及び図書室は日常利用される場である。日常的に緑と関わる機会を創出することで、木材のぬくもりを感じてもらい、心身の健康面での効果が期待される。

【効果を発揮させるための工夫・取組】

日常的に利用されるような備品について導入することで、木材のぬくもりを感じてもらえるように工夫した。今後は、保育園では、年長（年中）クラスを対象に、木材を用いた木工教室の開催。図書室では、森林や緑に関する絵本の読み聞かせを実施し、木育の場として活用したい。

【新たな対策・視点及び改善点】

今後は未導入の保育園等にも利用していきたい。

令和 4 年度みえ森と緑の県民税市町交付金（基本枠、加算枠）事業 事業別実績書

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

番 号	事 業 名				
3	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業				
事 業 費	6,523,000 円	(財源内訳)	当年度交付金	市町基金	その他
			6,523,000		

4. 効率性【事業目的を達成するため、事業実施に必要な経費が、効率的に活用されたか。】

【実施方法（委託（請負）先、補助対象者及びその選定理由）】

①実施方法	②主な委託先及び補助対象者等	③補助率・負担率等	④補助の上限及び定額補助の額	備考
物品購入	森林組合	補助事業ではない		

【委託先及び補助対象者等の選定理由】

町の規定に基づき、松阪以南に本店または営業所を有し、事務用品、保育教材に登録のある業者から、指名競争入札で選定した。

【主な経費内訳】

(別紙のとおり)

5. 公益性【事業実施により、幅広い県民が受益を受けることができたか。また多くの県民に受益があるような工夫がされているか。】

【受益者及び、期待する波及効果】

受益者	利用者数 90名
期待する波及効果	木材や森林を身近に感じながら木製備品を利用できる

【公的関与の必要性】

町が管理する施設であるため。子どもから高齢者まで広く木材に触れながら活用していただくことを目的に、公的な整備が必要であった。

【実施後の管理体制及び転用、目的外使用の規制等】

公共施設の整備であるため、転用等が想定されず、該当しない。

6. 情報発信度【みえ森と緑の県民税の事業成果や事業効果を広く県民に周知することで、「災害に強い森林づくり」や「社会全体で森林を支える社会づくり」への県民の理解が深められたか。】

【情報発信の内容】

手段	時期	情報発信の場所・対象・内容など（自由記載）
HP掲載	今後	みえ森と緑の県民税の説明とともに、令和4年度事業実績として効果が分かりやすいように公開する。
標識・標柱等設置	実施中	みえ森と緑の県民税を活用したことがわかる看板を設置した。

7. 写真及びその他資料

別紙のとおり

8. その他特記事項（受益者の反応等）

利用者より、木材のぬくもりを感じることができると感謝の声が上がってきている。

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町
事業名	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業		

4. 効率性：主な経費内訳

区分	仕 様	単位	数量	単価	金額	備 考
会議室テーブル		台	4.00	79,500	318,000	保育園
園児用スタッキング グテーブル		台	15.00	65,000	975,000	
園児用スタッキング グテーブル		台	29.00	65,000	1,885,000	
園児用スタッキング グチェア（0～3		脚	32.00	12,500	400,000	
園児用スタッキング グチェア（4～5		脚	58.00	14,500	841,000	
木製乳幼児用テ-		台	10.00	27,500	275,000	
ブルチェア						
絵本棚		台	1.00	148,000	148,000	図書室
閲覧テーブル		台	2.00	165,000	330,000	
背もたれ椅子		脚	5.00	44,000	220,000	
角スツール		脚	5.00	44,000	220,000	
看板		枚	2.00	18,000	36,000	
諸経費	運搬費含む	式	1.00	282,000	282,000	
		小計			5,930,000	
		消費税及び地方税相当額			593,000	10%
		合計			6,523,000	

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業
-----	----------------------

7 の（１）．写真



写真1

会議室テーブル



写真2

園児用スタッキングテーブル



写真3

園児用スタッキングテーブル



写真4

園児用スタッキングチェア（0～3歳）



写真5

園児用スタッキングチェア（4～5歳）



写真6

木製乳幼児用テーブルチェア

第 1 1 号様式（その 2）（評価委員会資料）

対策区分	4. 森と人をつなぐ学びの場づくり	市町名	南伊勢町	新規・継続の別	継続
------	-------------------	-----	------	---------	----

事業名	南勢保育園・南伊勢図書室木製備品購入事業
-----	----------------------

7 の（1）．写真



写真7

絵本棚



写真8

閲覧テーブル



写真9

背もたれ椅子



写真10

角スツール



写真11

看板



写真12

看板

